

凌 泳

表紙題字 藤井正太郎 先生

野田会長メッセージ	3	月見の宴	21
得丸副会長メッセージ	5	関東支部総会	22
平成19年度凌泳会活動報告	7	関東支部忘年会	24
(長谷川幹事長)		関西支部忘年会	25
平成20年度 役員・運営委員	9		
当番世代チーム分けと初代幹事案	10		
		【リレーエッセー 第2回】	26
現役部員寄稿 I	11	平成卒代表① 森 宣幸(平 16)	27
主将 北野 達也	11	平成卒代表② 羽瀬智文(平 2)	28
水球主任 井上 陽介	12	女性代表① 河原あや(平 17)	29
競泳主任 榎尾 晋	13	女性代表② 川本典子(昭 51)	31
主務 飛田 陽祐	14	みずむし会代表	
		本間正信(海事科学部教員)	32
		昭和卒代表① 島崎昌彦(昭 62)	33
		昭和卒代表② 野田浩志(昭 36)	34
		【寄稿】	35
追悼	15	萩原 武(昭 37)	35
故・岸 樽夫氏を偲んで	15	安茂 弘(昭 39)	37
(ご家族からの手紙紹介)	17	【マスターズ活動記録】	38
故・永野一彦氏を偲んで	18	(07年1月～12月)	
		■会員からのお便り	44
勸学文/みずむし会のいわれ	19	凌泳会総会	44
新部旗について	20	月見の宴	48
		(インターネットを活用しよう!)	54

卒部の辞	55	【歴代記録】	109
現役部員寄稿Ⅱ	69	歴代10傑(競泳男子)	109
		歴代5傑(競泳女子)	112
		水球歴代戦績	114
		平成19年度 凌泳会総会報告	116
		平成18年度 凌泳会会計報告	120
現役部員紹介		平成18年度 神戸大学体育会	121
4回生	69	水泳部会計報告	
3回生	73	■編集後記	123
2回生	75		
【平成18年度 水泳部活動報告】	80		
■年間競技カレンダー	80		
水中忘年会	81		
関西学生春季短水路公認記録会	81		
京都夏季室内選手権	82		
オープンリーグ	83		
兵庫学生選手権水泳競技大会	84		
関西学生水球春季戦	88		
関西国公立大学選手権	89		
関西学生選手権競技大会	92		
(原稿募集)	95		
全国国公立大学選手権	96		
西日本選手権水球競技大会	99		
旧三商大戦	100		
近畿地区国公立大学体育大会	102		
関西学生水球秋季戦	105		
大阪市立大学神戸大学定期戦	107		

体育会系運動部の伝統と未来のために

凌泳会会長 野田 浩志・昭36



Photo 野田会長（平成19年度凌泳会総会にて）

いよいよ平成も20年に突入し、今年はオリンピック・イヤーでもあります。

スポーツには、オリンピックのように極限を追い求めるものもあれば、ウェルネス面での活用、教育的役割、親睦等々、さまざまな側面があります。わが国のスポーツは学校スポーツを基盤に形成された歴史があり、体育会系運動部、我々神戸大学体育会水泳部もその中に在ります。

昨日今日始まった課題ではありませんが、少子化対策で私学のスポーツへの注力がエスカレートし、クラブ・スポーツも盛んな昨今、国公立大学における体育会活

動は、立ち位置が難しいものです。政策的にスカウティングされたわけではなく、自らの意思で入学し、縁あって一つのクラブに集うことになった仲間が、ある意味、手づくりのクラブ運営をしなくてはならない……。しかし、我々OBもずっとそのような環境下で試行錯誤しながらやってきたのです。

現役諸君！ 恵まれた環境とは言い難いが、知恵を出し合って、神戸大学体育会水泳部を発展させてください。

会員の皆さん！ 凌泳会はそんな手づくり運営をバックアップするために先輩諸氏が創り上げ、受け継がれてきたものだったのだと、つくづく思うのです。

■会費納入にご協力ください

部の強化のためには？と考えた時、出来ることなら、現有プールの温水化や50mプールの建設など大きな事業ができればいいのですが、凌泳会の足元の財政状況に鑑みれば荒唐無稽の感を免れません。年々卒業する新会員の増加にも拘らず毎年納入される会費の額は横ばいの傾向にあり、水泳部への援助金額を増額することが困難になっているからです。

当然ながら、納入された会費はこの「凌

泳誌」をはじめ会員間の交流・親睦のためにも充当されていますが、ここでは会費収入の半分強を占める水泳部への援助金に的を絞って、会員諸氏に会費を納入して頂かねばならない事情を説明しご理解得たいと思います。

育友会からの支援と部員負担の部費だけで活動資金を賄えないことは、所得水準の低かった頃も、豊かになった今も変わりなく、水泳部に限らず不足分を先輩からの援助に依存している他の体育会系運動部にも共通しているようです。

このことは現役部員が卒部？にあたって先輩からの支援に感謝し、以後の支援を表明してくれている事にも伺えます。

それにも拘らず、卒業後の会費の納入状況は上述の通り捗捗しくありません。社会の中堅として日々の仕事が忙しく、つい忘れ勝ちになっている事もあるでしょう。又、「会費を払っても見返りが無い」という声も有るようです。しかし私は会費の中から水泳部への援助金に充当される部分は現役時代に受けた支援へのお返しだと思っていますが、皆さんは如何でしょうか？

分かり易くするために、簡単な数字で示しましょう。水泳部への援助金を年90万円、部員数45人を一定とした場合、部員一人当たりの援助金は年2万円で4年間の通算では8万円になります。これは現行8千円

の年会費の10年分に相当します。

毎年お届けしている「凌泳」誌や諸案内などの固有の費用を勘案すれば大雑把に言って10年の倍の20年分の会費に相当することになりますね。

何時もながら会費を納入頂いている方々、会費免除年齢への到達にも拘らず引き続き寄付を頂いている大先輩には厚くお礼を申し上げます。

未納の方々には私の思いを斟酌いただいて会費の納入にご協力くださるよう切にお願いします。

■再度、現役諸君！

先輩が現役部員の活動を支援する思いは形の上では経済的な支援ではありませんが本質は充実した学生生活を願う体育会系運動部の素晴らしい伝統なのです。

以上



Photo 海事科学部プールの飛び込み台

ご挨拶

凌泳会副会長 得丸 哲士・昭46

凌泳会の皆様こんにちは。昨年の総会にて萩原武前副会長の後を継ぐように拝命しました得丸です。会員の皆様には一年遅れのご挨拶になりましたが凌泳誌面をお借りして改めてご挨拶を申し上げます。

ながらく幹事長にご尽力なされ一昨年に副会長に就任されたばかりの萩原先輩が事情で北九州に転居されました。私は15年前に大阪へ戻って以来、これまでは凌泳会の行事・競技大会にはできるだけ参加はしたものの側面からお手伝いをする程度で大役を仰せつかるような立場ではありませんでしたが凌泳会の活性化にお役に立てればという気持ちで萩原先輩の後任をお受けいたしました。

副会長を拝命してから早くも10ヶ月が過ぎようとしています。この間に野田会長、長谷川幹事長、諸先輩に凌泳会の運営を学びながら活性化に向けての課題を整理しているところです。精一杯努めさせていただきますので、会員みなさま方のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

凌泳会の基軸を確認するため「凌泳会会則」を読み返し、第3条(目的)「本会は会員相互の連絡と親睦を図ると共に、神戸大学水泳部の発展に寄与することを目的とする」を改めて胸に刻んだ次第です。

まず「会員相互の連絡と親睦」を図るために昨年は川本典子さん(S51)が中心になって「凌泳」誌を大幅に刷新しましたが、総会や月見の宴、忘年会などの行事および三商大戦や市大戦などの競技大会へ多数のOB・OGが参加していただく状況にはまだ至っていません。出来るだけ多くの諸先輩に参加していただけるように行事の連絡や運営のあり方などに工夫を加えていくことも課題のひとつと捉えています。

今年の三商大戦は一橋大学です。関東在住のOB・OG方々には盛大な応援をお願いいたします。さらに来年(H21)は三商大戦および市大戦の当番校が神戸大学になり、なかでも伝統ある市大戦は記念すべき「第90回大会」を迎えます。先輩諸兄のご協力をいただいて意義のある大会に盛り上げるよう早めに企画の準備に掛かることも考えています。

次に「神戸大学水泳部の発展に寄与する」ための指導および援助に関わる課題は「会費の納入」水準を高めることです。会費を納入する「義務」のある会員にご協力願うことです。現役部員の活動を経済的に支援するには会員からできるだけ多くの会費および寄付金を集めることが必要です。この件は永年の課題ですが現状では「銀行

引き落とし制度」加入に優る方法が見出せず、引き続き加入をお願いするしかない状況にあります。未加入の会員の方は是非とも加入の手續きにご協力いただきたいと思ひます。会費納入義務のある正会員のうち平成卒業のOB・OGが半数を超え続ける「今後の会員 構造」のなかで何らかの対

策を施さなければ従来どおりの会費および寄付金さえも確保できなくなることが予測されます。会費および寄付金の現状を理解していただくために昨年(H18)の実績を簡単な表にまとめてみました。これが全てではありませんが傾向を知る上での参考にはなると考えます。

平成18年度 会費および寄付金の実績

卒 年	正会員	会費納入	納入率	会費・寄付金	金額構成比
S06～37	92 人	30 人	免除者	285 千円	20%
S38～63	162 人	90 人	55.6%	744 千円	52%
H01～18	167 人	75 人	44.9%	396 千円	28%
会費義務者	(329 人)	(165 人)	50.2%	(1,140 千円)	(80%)
合 計	423 人	195 人	—	1,425 千円	100%

※特別会員(5人)は含まない、夫婦会員は一人で計算、ポロインカレ寄付金(176千円)は含まない

傾向:

その①納入義務のある正会員の半数以上が平成卒に突入した。

その②平成卒の納入率が50%以下の低い水準にある。

その③会費免除正会員の寄付金が全体の20%を占める。

が要約になります。準会員(57人)においても会費の納入(10人)と納入率(18%)、会費・寄付金(5万円)は低い水準にあります。

会費免除会員のご厚意にいつまでも甘えず、納入義務ある会員の会費と寄付金で現役部員の経済的支援をおこなえる体制

になるよう野田会長、長谷川幹事長、諫山会計担当、学生と協議して諸先輩にお願いする所存です。会費と寄付金の集金システム確立にご協力をお願いします。

平成19年度活動報告

幹事長 長谷川 健・昭49

■波乱のシーズン・イン

昨シーズンは波乱のスタートとなりました。全国的に大流行となった麻疹の影響がわが神戸大学にもおよび、長期間の休校となり、学内立入り禁止、対外活動自粛の期間が続きました。このためシーズン初めの貴重な時期に泳ぎ込みが出来ず、後々まで影響を受けました、

また、台風の影響も受けてしまいました。当番校であった市大戦が、台風直撃の予報から、前夜急遽中止の決断をせざるを得ませんでした。結果的には台風直撃はなく、連絡不徹底から一部OBには来場いただく事態となってしまいました。来場いただいた皆様にはこの場を借りて改めてお詫び申し上げます。

このようなアクシデントにもかかわらず現役諸君は良く頑張りました。当番校であった全国国公立戦にも団体出場しました。ポロもインカレこそ出場とはなりませんでしたが、戦力ダウンをカバーし頑張ったと思います。詳しくは戦績等の記事をご覧ください。ただ競泳・ポロともに記録的には今ひとつの面否定できず、今シーズンでの巻き返しを期待したいと思います。

■活動を振り返って

さて、凌泳会の活動についてご報告させていただきますと思います。昨年の総会で、凌泳誌の充実、名簿の充実、当番世代制の試行の三点を重点項目として凌泳会の活性化を推進することとなりました。

第一点の凌泳誌の充実については本日お手元に届きました本誌をご覧ください。ことで昨年よりまた充実したことを実感いただけるかと存じます。更に充実をはかるべく注力してまいります。

第二点の名簿の充実については必ずしも満足な結果を出すには至りませんでした。運営委員を改選し、平成年代卒業の会員から年次毎に1名の方をお願いすることといたしました。十分に力を発揮願ったとはいえない結果に終わりました。小生の力不足と申し訳なく思っております。本年度は運営委員の皆様のご協力も賜り、充実した名簿発行が可能となるよう勤めたいと存じます。

第三点の当番世代制の試行については市大戦と三商大戦をその対象として試行することとしました。その結果、いろいろと問題点が判明しました。市大戦は台風の

ため前夜急遽中止となり、連絡不徹底でお越しいただいたOBがおられたということは上述の通りです。天候によるものとはいえご準備願った皆様にはこの場で御礼申し上げます。一方、三商大戦は日程決定が遅れた上に平日開催となつてしまい、試合応援に参集いただく趣旨からは中途半端な結果となりました。開催日時の決定が遅くなることについては、近年の試合数の増加などにより調整が難しい面があるものと思われまふ。当番世代制の本格的な実施に当たっては対象の試合(行事)の選定にも留意することが必要と思ひます。

一方、本年の月見の宴の開催日を神戸大学「ホームカミングデイ」と同日としました。その結果遠来の参加や久しぶりの参加をいただくことが出来ました。今後も継続していきたくと思ひます。また、3月に行われた追出しコンパにも、メーリングリストにより参加を募りましたところ、多数の参加をいただき盛会となりました。しかしながら、神戸開催で実施されました関西地区の忘年会は、開催時期や会費に課題を残す結果となりました。これらの結果をふまへ、当番世代制を軌道に乗せていきたくと思ひます。

最後に中止となつた市大戦について報告させていただきます。現役諸君の努力のおかげをもちまして昨年12月に無事開催することが出来ました。会場の都合からポロは別

会場での事前実施、競泳も一部短縮での実施となりましたが、熱戦がくりひろげられ当番校としての面目も立ちました。特に会場確保で多大な労を賜つた金監督に対しこの場を借り厚くお礼申し上げます。

以上が昨年度の経過報告でございます。お陰様をもちまして、試合への応援や各行事への会員の参加は、徐々にではあります。増加の傾向にあると思ひます。今シーズンも会員の皆様には横の連絡をお取りいただき、同じ時期に泳いだという旧交をプールサイドで暖めていただけたらと存じます。特に何年間も凌泳会にはご無沙汰になつてゐるという会員の皆様も、どうかお気軽にお顔をお見せ下さい。その際に会員同士お誘ひ合わせていただければ尚結構かと存じます。そのためには、幹事一同少しでもお役に立てたらと思つております。

最後になりましたが、会員の皆様には引き続きご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願ひいたします。

平成20年度 凌泳会役員

会長 野田 浩志(昭36 営)

副会長 田渕 五郎(昭30 営) 得丸 哲士(昭46 農)

監事 佐藤 一夫(昭30 法)

幹事長 長谷川 健(昭49 経)

幹事 岡村 司(昭34 法) 北村 敏(昭34 経) 萩原 武(昭37 工)

岡田 重義(昭37 営) 佐敷 定雄(昭49 農) 桑本 万理(昭55 教)

上田 剛弘(昭56 営) 吉田不二彦(昭60 営) 羽瀬 智文(平2 法)

西村 尚(平6 商船大)

コミュニケーションシステム担当 家門 秀行(平5 理)

凌泳編集担当 川本 典子(昭51 工)

現役監督担当 金 一波(昭59 経Ⅱ)

会計担当 諫山 大介(平9 発)

名誉顧問 吉野 栄(昭15 学) 石井 義章(昭27 学)

特別顧問 西田 修身(特別会員)

顧問 山口 宗樹(昭16 学) 三宅 林(昭21 学)

支部幹事

(関東) 支部長 田渕 五郎(昭30 営)

黒田 英雄(昭35 営) 林 荘八郎(昭38 経)

佐敷 定雄(昭49 農) 徳永 守(昭63 農)

成田 康修(平11 営Ⅱ)

(中部) 支部長 手嶋 忠之(昭41 理)

(中国) 支部長 今井 政一(昭24 専)

(四国) 支部長 以西 吉一(昭45 工)

(九州) 支部長 谷水 利行(昭59 法)

運営委員

守沖 敦(平元 法)	岡崎 憲之(平2 教)	當麻 尚正(平3 農)
染谷 光裕(平4 理)	藤本 克彦(平5 農)	西尾 泰紀(平6 経)
上田 純也(平7 経)	小柳 勝義(平8 農)	中村 洋平(平9 工)
中尾 順一(平10 工)	濱出 憲一郎(平11 発)	岡本 康宏(平12 経)
西村 祐作(平13 経)	久保 達也(平14 工)	川本 陽介(平15 農)
福本 守(平16 工)	西和田 靖(平17 工)	宮岡 孝和(平18)
小川 啓(平19 経)	加藤 亮二(平20 海)	

以上(平成20年4月1日現在)

当番世代チーム分けと初代幹事案(平成19年凌泳会総会で決定)

卒業年	関西圏			首都圏			その他の地域・不明 人数
	世代分け	人数	初代幹事案	世代分け	人数	初代幹事案	
昭34年卒以前	免除	33人	—	免除	15人	—	13人
昭35年～44年卒	A世代	25人	岡田 重義(昭37)	A世代	23人	林 荘八郎(昭36)	9人
昭45年～54年卒	B世代	22人	中西 康之(昭52)	B世代	14人	佐敷 定雄(昭49)	16人
昭55年～59年卒	C世代	24人	上田 剛弘(昭56)	C世代	16人	徳永 守(昭63)	17人
昭60年～平1年卒	D世代	25人	吉田不二彦(昭60)				14人
平2年～6年卒	E世代	15人	家門 秀行(平5)	D世代	32人	成田 康修(平11)	23人
平7年～11年卒	F世代	23人	諫山 大介(平9)				23人
平12年～16年卒	G世代	28人	福本 守(平16)	E世代	9人	久保 達也(平14)	11人
平17年卒～	H世代	21人	西和田 靖(平17)				8人

※人数は平成19年5月現在

【現役部員寄稿Ⅰ】新幹部決意表明

主将として

主将 北野 達也・発達3回

私が今年度主将を務めさせていただくことになりました北野達也です。水球面からの主将は何年かぶりかのことらしいですが、僕自身まだまだ未熟な面が多いです。しかし幹部の仲間や先輩、後輩と協力して懸命に頑張っていきますのでよろしくお願いいたします。



Photo 北野(右)・西澤(左)

私が主将という役職で最も重要視していると考えていることが「水球と競泳の交流」です。現在水泳部内では水球面と競泳面が分かれて練習をし、それぞれの試合に臨んでいます。ともに水泳部として活動するのは新歓、三大戦、市大戦、三商戦と全体追いコンに限られ、気持ちの上で隔絶されているように感じます。競技の特性の違いのために練習や必要な環境が異

なるのは当然のことではありますが、水球と競泳の両方がある水泳部であり、もっと交流が必要であるように感じています。

この1月からは競泳の朝練に週に数回の割合で水球面も参加させてもらい始めています。水球は球技とはいえ、基となる泳力は必要不可欠です。競泳の練習に参加し、ともに練習することで互いに刺激を与え合い、また交流が深まればと思っています。

また、互いの試合にも積極的に応援に行き、それぞれの選手の特徴や記録、そして伸びをみんなで実感出来るチームを作っていきたいと思っています。

とはいえ、競技をやっているわけですから、やはりそれぞれのレベルアップは最優先事項です。今年競泳は関カレでの2部昇格を目標に頑張っていますし、水球はインカレ出場を目標に日々練習しています。

しかし現状は決して易しいものではなく、こと水球に関しては、新歓でメンバー数を獲得するところから始めねばなりません。水球競泳ともに厳しい状況からのスタートではありますが、シーズンの終わりにはみんなで喜びを分かち合えるように日々精進していこうと思っています。

水球主任として

水球主任 井上 陽介・海事3回

本年、水球主任を務めさせていただきま
す井上です。まだまだ未熟ですが、精一杯
の努力をもってチームをまとめていこうと思
います。1年間よろしくお願い致します。

昨年はチームの主力となっていた先輩
方が抜け、人数的にも厳しい中、何とか人
数をそろえ、水球面に所属する皆がほぼ
レギュラーという状況下で関西リーグに挑
みました。結果は関西5位となり、目標とし
ていたインカレ出場はなりませんでした。

昨年の試合、一概には言えませんが、
私は自滅的なプレーが多かったように感じ
ました。自滅的プレーがチャンス潰し、また
相手のカウンターを作り出し、自分たちが
苦しい状況になっていく。また、回りをよく
見て状況を把握し、判断することが、今ひ
とつできていなかったようにも感じました。
今年の目標としては、関西国公立1位とな
り、インカレに出場するというを考えて
います。

この目標を達成するために、第一に必
要となってくるのがメンバーの確保です。
現在、チームにはプレイヤーが一人足りな
い状況で、この課題をクリアしない限り、目
標の達成はありえません。

また、チームで多くの試合経験を積み、
チーム内で各々がどのような動きをしなけ
ればならないのかを理解するという状況把

握、判断を養うためにも、今年ではでき
るだけ多くの大会に参加していきたいと考
えています。

私はチームが勝ち上がっていくためには、
チームの全員が同じ方向のベクトルを示
していることが必要だと思います。今年入っ
てくるであろう1年生を含む、チームの全
員が同じ目標に向けて、日々努力し、成
長していなければならないのです。そし
てそのために各々に目標の達成に何が
必要なのか、何が足りないのかを常に
考えて、練習に取り組んでほしいと思
います。

当たり前のことしか言えませんが、当
たり前のことを当たり前になすことも
大事なことで私は考えています。

最後になりましたが、今年もご支
援、ご協力、そして、ご声援のほど
よろしくお願い致します。



競泳主任として

競泳主任 榎尾 晋・医3回



Photo 右手前が榎尾デス！

今年度競泳主任を務めさせていただくことになりました榎尾晋です。今回水球面の北野が主将を務めることになり、競泳面でチームを引っ張る、競泳面での主将といった立場も務めることとなりました。僕自身、小さいときから水泳一筋でここまで来ましたが主任という役割であったり、チームを引っ張っていくという経験はありませんでしたが、これまでの経験を生かしてチーム全員が主役となれるようサポートし、自分の言葉や泳ぎで士気を上げていけるようにしていきますので一年よろしくをお願いします。

今年のチーム目標として「ベスト率100%」という目標をおきました。毎年は関カレでの昇格や関国での団体権を第一にしておいていましたが、そういった目標は各試合全員が絶対としている目標であり、ベストを出していくことで各試合での目標につながるという意味で「ベスト率100%」という意識目標をおきました。

しかし、6月にあります高槻では短水路として全員が目標としているインカレや全国公の標準記録であったりベストを狙い、夏には関国での団体権・関カレでの2部昇格・全国公での決勝進出とそれぞれの目標も明確化しています。

目標を達成するために、今年はとにかく個人と話し、また個人が皆の前で声を出して自分の目標をいうことによってチームで目標を共有し、各自もそれによって認識するという場を何回か設けました。3月の合宿も例年以上にハードなものをこなし、自身になったとともに部としてまとまりが出て来ていい雰囲気になってきていると感じています。

毎年の課題となっています新入生の獲得ということについても今年はMTを何度も行い、部員一人一人が意見を言い合い部のことをより考える機会となったと思います。そこで決まったこととして「練習体制を週3回に変える」ということです。週1日は全体練習をし、残りの二日を選択するといった形で行い、朝練の回数も増やして選択の幅を広げるとともに初心者の人たちへの指導も陸だけでなく選手からもやっていくという体制を作っていくつもりです。毎年、新歓行事には来るけれど入部には至らない・すぐ辞めてしまうといったことがあり、その原因の一つ一つをまとめてこういった新体制

で臨むこととなりました。新しいことを始めることは大変なことであるとは思いますが、自分がチームの幹部として関わっていくことはやりがいを感じますし、何よりそれによっ

て強い神戸大学体育会水泳部となることを想像しています。

最後になりましたが、OB・OGの方には今年も一年どうかよろしく願いいたします。

主 務 と し て

主 務 飛田 陽祐・I3回



Photo
飛田、
飛んでます！

今年度主務を務めさせていただきます飛田です。

今はまだ主務という仕事がどういう仕事なのか、自分が主務としてちゃんと仕事をこなしていくことができるのか不安です。わからないことは今からどんどん出てくるだろうし、それに対してどう対処していけばいいのかわからない状況も多々あるとは思いますが、先輩方にいろいろ聞いたりしながら徐々にこの仕事に慣れていって自分の仕事をちゃんとやり遂げたいと思います。

ですので、先輩方にはこれからもお世話になることがたくさんあると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

神戸大学体育会水泳部というこのチームをよりよいものにするため、自分にできることをいつどのようにすべきかを考えて、このチームがよくなるように役職を全うしたいと思います。

凌泳会との結びつきをもっと深いものにし、現役とOBのつながりをもっと大きなものになって、このチームがよりよいものになっていければと思っています。

これからも凌泳会の皆様のご支援の下、感謝しながらよりよい結果をだしていきたいと思います。

最後になりましたが、これからも応援よろしく願いいたします。

岸 樽夫 先生を偲んで

体育会水泳部部长 柳田 泰義

私をこの歴史有る神戸大学体育会水泳部の部長にご推挙いただいたのは、岸先生のお力です。凌泳会の皆様と親しくおつきあいさせていただき、また、若い学生達に接することができる今、心から岸先生に感謝している次第です。

私と同年である木原美智子氏が逝去したTVニュースを見た翌日、金さんから電話で岸先生のこれまた思わぬ逝去の報を受けとり、なんともやりきれない思いでした。虫の知らせか、丁度1週間ほど前に、岸先生のことが私の頭に浮かんで、お元気にされているのか機会があれば伺わなくては…。と思っていた矢先で、とても残念に感じています。

岸先生は水泳の書籍を集められ、その流れをライフワークとされており、東京神田の古本街をたびたび回っておられたと聞いています。集められた水泳関係の古書や資料は相当な数にのぼっているようですが、志なかばで他界され、さぞ無念な思い出あろうかと察します。しかしながら、これらの蔵書は天理プールの一室に保管されたようで、後人に役立てられることになったそうです。機会があれば私も天理に伺ってこようかと思っている次第です。

岸先生は大変温厚な方で、学生や教員達から沢山の人々に慕われる人柄であり



Photo 在りし日の岸先生

りました。天理大学を停年後、新設された姫路獨協大学に勤務され、学生達に野外活動の楽しみを伝えられ、登山、釣りやカーヌーなどの臨海スポーツ、そしてキャンプ活動などを通して教員生活の最後に人間教育に尽力されました。同僚の若い先生方からも大変慕われ、体育教員の筆頭者として学内外からも慕われた方でありました。そのこともあって多額の予算が体育に配分され、相当思い切った野外教育活動を展開され、全国的にも注目された教育内容でありました。

私が最後にお目にかかったのは3年前になりますか、徳島の阿南市にありますYMCAの海洋施設で、先生の大好きな魚釣りをされていて、沢山の鱈を釣ってそれを裁き、学生達に食させておられた姿であります。

私達は水泳を通して人間的に育っていくわけですが、このような大きな、立派な人生の先輩を失うことは非常に残念であります。あらためて岸先生の思いでに浸ってみたいと思っております。

岸先生のご冥福を祈ります。

合掌

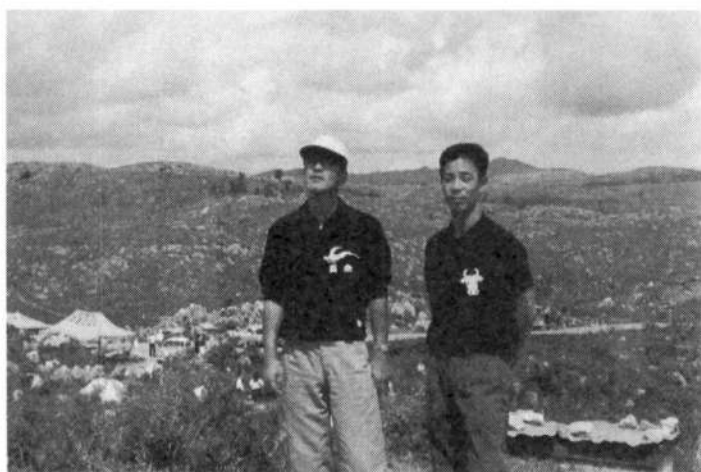


Photo
お若い頃の岸先生（左）
と山口周作さん（右）
※秋吉台にて



Photo
大会でのひとコマ
いちばん左が岸先生

※写真は、高岡 保宏さん（昭37）、木下 憲臣さん（昭63）がお世話くださいました。

故 岸 檜夫氏(特別会員)ご家族からのお手紙

故 岸 檜夫氏のご葬儀に際し、会則に則り凌泳会から供花及び弔電を差し上げましたところ、返礼としてご家族からお手紙を頂戴しましたのでご紹介いたします。

拝啓 寒冷の候、皆様にはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、先般岸檜夫葬儀に際しましては、ご懇なるご弔詞をいただき、またご丁寧なるご供物を賜りまして、ご芳志の程まことに有り難く厚く御礼申し上げます。

お陰をもちまして、満中陰に当たり近親者相集い滞りなく法要を相営みました。

故人は生前、常に「自分は良き師、先輩、同僚、友人、学生に恵まれ、多くの人々との出会いがあり、幾多の楽しい思い出を刻んだ幸せな一生であった。」と申しておりました。皆様方に送っていただき、喜んで旅立ったことと、家族一同感謝いたしております。

また、故人の蔵書も、土佐忠雄先生、山本良介先生を始め多くの方々のご尽力により、故人の愛した天理のプールの一室に収めていただく予定となっております。故人はライフワークとして、水泳書のルーツをたどりその最初とされる書物から掘り起こして、『日本水泳書解題』を著すべく古書や資料を集めておりましたが、志、半ばにして逝ってしまいました。故人の書物が、いつかどなたかのお役に立てば嬉しいことと存じます。

尚、勝手ながら皆様から賜りましたご芳志は、蔵書を整理していただく費用にお役立ていただくことに致しました。この件なにとぞご了承くださいませようお願い申し上げます。

本来ならば拝眉の上ご挨拶申し上げるべきところですが、略儀ながら書中をもって、ご挨拶申し上げます。

時節柄皆様方もどうぞお体にはご自愛の程、お祈り申し上げます。敬具

平成十九年十二月

岸 光洋

田 鶴子

追悼 永野先輩

酒井 孝栄・昭36

去年7月敬愛する永野先輩の悲報に接し、大いなる悲しみと師友とも言うべき先輩がこの様に早くに、黄泉(よみ)の国へと旅立たれたのかと、暗然たる思いが一杯になりました。先輩の病状については、予て関東在住の知人より“あまり芳しくない”旨の報を受けていたので覚悟はしていましたが、現実となると矢張り大きな衝撃でした。

先輩との出会いは姫路分校の白陵寮に入り、即水泳部に入部したのが最初でした。野田君と3人であの小さな独特の匂いのするプールで泳いだことを昨日の様に思い出します。

先輩の第一印象は、眼光鋭く一見近づき難い感を持つ人柄の様でしたが、内面はナイーブで情感たっぷりの人であることが付き合い始めて直ぐ分かりました。多分野田君も同様の思いを持ったことと思います。

付き合いは部活のみならず、奇遇にも会社も同じ三菱商事となり略(ほぼ)46年間にもなりました。この間、社会人としての心得や会社生活の云々等種々教えてもらいましたが、生来の不徳の故か此等を充分に咀嚼(そしゃく)出来ず生憎(あいにく)の後輩ではなかったかと思っています。

付き合いの中で印象的な出来事と言えば、一つは私が中小企業の経営者であった時可成り苦しい判断を為さねばならなかった折、先輩から長文の手紙にて理を説き

つつ心暖まる数々の助言を受けたことです。お陰で迷うこと無く大胆に局面打開の道を進むことが出来ました。二つめは、ある時先輩から奈良の閑静な由緒ある古寺等を拝観したいので是非ガイドをとの依頼あり早速手配し同道した折のことです。然るべき国宝級の仏像のある寺々を案内した処、先々で熱心に拝観、何かを祈る様な真剣な眼差しで仏像と対面して居られました。先輩は当時、時勢に合わなくなって来た部内の再編と再建の最高責任者の常務として余儀なきリストラの矢面(やおもて)に立ち心乱れる日々の連続ではなかったか、後刻その理由(わけ)を知り改めて先輩の人柄、情愛の豊かさを実感したことです。

最後に先輩の人となりについては独断乍ら、長い付き合いの中で先輩は“信念の人”であり“情愛の人”であったと確信しています。

私の師友、敬愛する永野先輩はもうこの世には居りません。遥か黄泉路へと旅立たれました。いつの日かあの世で再び“杯”を交せるものと信じつつ、今は心からご冥福をお祈り致します。

合掌

誌面を借りて、末尾乍ら、ご夫人より『葬儀にご参列頂いた方々、丁重な弔電を賜りました皆様方に心から厚く御礼申し上げます』との伝言ありましたことを付言致します。

勸學文 朱熹

勿謂今日不學而有來日
勿謂今年不學而有來年
日月逝矣 歲不我延
嗚呼老矣 是誰之愆

言うことなかれ、今日学はずとも来日ありと

言うことなかれ、今年学はずとも来年ありと

日月ゆきぬ、歳我とのびず

ああ老いたり、これ誰のあやまちぞや

「みずむし」のいわれ

みずむしとは…

手のひら、足のうらなどに小水疱、小膿疱、落屑(ラクセツ)等が集まってできる皮膚病。甲殻綱目ミズムシ科の節足動物。

体が茶色または黒色で、わが国各地の淡水に分布する。(広辞林)

実はこれではないので、我が神戸商船大学水泳部員は水泳の虫であるため、前後を取って水虫。漢字をひらがなにしただけのものです。

『凌泳』平成19年度号では毎年同じ内容となる会則・校歌等の掲載をやめることとし、「勸學文」も掲載いたしませんでした。部の統合に際し、会誌に「勸學文」を掲載するという約束があったことを編集担当者が把握しておらず、大変失礼をいたしました。ここにお詫び申し上げます。なお、次年度以降は別冊の『凌泳会会員名簿』の方に「勸學文」の掲載を移し、本誌には掲載しませんので、ご理解賜りますようお願い申し上げます。

新しい部旗について

前主務 芝井 隆

以前紛失してしまいそのままになってしまっていた部旗ですが、昨年全国公の主幹校であったこともあって新たに作り直しました。

部旗の作成にあたり、OBさん方には大変お世話になりました。ここで深く御礼申し上げます。

なお、部旗作成にあたり、カンパして頂いたのは次の方です。(順不同)

長谷川 健一さん(平18 海事)[2口]

伊藤 康敏さん(平18 工)

宮岡 孝和さん(平18 工)

松本 和也さん(平18 工)

小齋 一彰さん(平18 済)

上田 久美子さん(平19 営)

田中 宗親さん(平19 理)

野村 真希さん(平19 薬科)

濱本 有紀さん(平19 南女)

松本 章子さん(平19 南女)

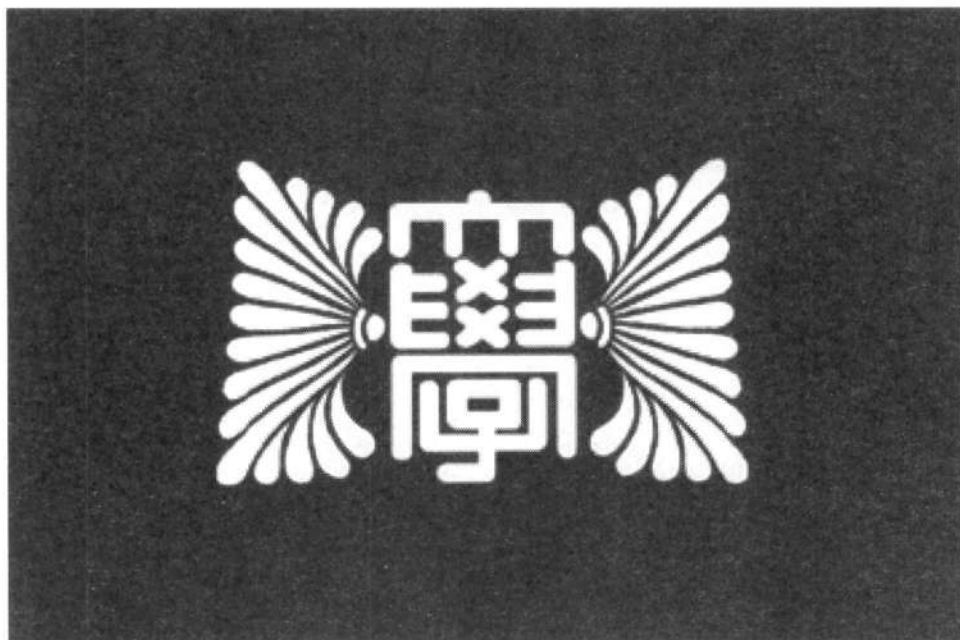
土田 絵里奈さん(平19 営)

松村 將由さん(平19 国文)

加藤 晃裕さん(平19 済)

小川 啓さん(平19 済)

ありがとうございました。



平成19年度 月見の宴

長谷川 健・昭49

今年の月見の宴は9月29日(土)に開催されました。例年は敬老の日の前々日の土曜日に開催していましたが、本年より当番世代制の試行に合わせ、「神戸大学ホームカミングデイ」と同日開催としました。

ご存じのように、ホームカミングデイは「卒業生や名誉教授の先生方に現役学生、教職員と交流を深める機会を設ける」との主旨で昨年より始まり、今年は第2回の開催でした。特定の卒業年度(今年は昭和の下一桁が7の年)の卒業生には案内状が届いていたと存じます。

その効果もあって、本年は昨年より多数のOB・OGの参加があり、遠来のご参加もいただき、賑やかなプールサイドとなりました。

恒例の競泳記録会、ポロのOB・現役対抗戦の熱戦の後、今年も得丸副会長ご提供の宮崎牛の焼肉や焼き鳥、現役諸君手作りのおでん・おにぎりに舌鼓をうち、大いに盛り上がりました。

最後に金監督より監督賞の発表と、監督の特別調達による日本水泳連盟所縁の賞品贈呈があり、出席者全員で祝福しました。また、対象から外れた部員一同は、来年こそはと、活躍を期していました。

その間、ホームカミングデイと掛け持ちとなったOB諸氏には、会場を行ったり来たりと忙しい一日になってしまいましたが、充実

した一日であったとも存じます。

ホームカミングデイとの同時開催は今後も続けていきたいと思ひます。来年も多数の皆様参加をお願いいたします。

(出席者) 敬称略

柳田 正義(部長)
石井 義章(昭27) 佐藤 一夫(昭30)
北村 敏(昭34) 岡村 司(昭34)
野田 浩志(昭36) 酒井 孝栄(昭36)
井上 隆史(昭37) 岡田 重義(昭37)
高岡 保宏(昭37) 得丸 哲士(昭46)
大橋 進(昭46) 佐敷 定雄(昭49)
長谷川 健(昭49) 桑本 万理(昭55)
上田 剛弘(昭56) 金 一波(昭58)
川原田 貢(昭60) 日比 勝己(昭62)
西村 美和(平 1) 家門 秀行(平 5)
古谷 洋之(平16) 福本 守(平16)
岡田 大(平16) 米田 晃士(平17)
岡 一成(平18) 井口 靖之(平19)
泉口 将人(平19)

(お詫び)当日のご出席者の記名簿が行方不明になるという事態が発生しました。したがって筆者の記憶にてお名前を掲載しています。特に若手のOB・OGを中心に、お名前の記載漏れがあります。誠に申し訳ございません。失礼の段なにとぞご容赦のほどよろしくお願ひいたします。

“ザ・プレミアム・凌泳会”

田淵 五郎・昭 30

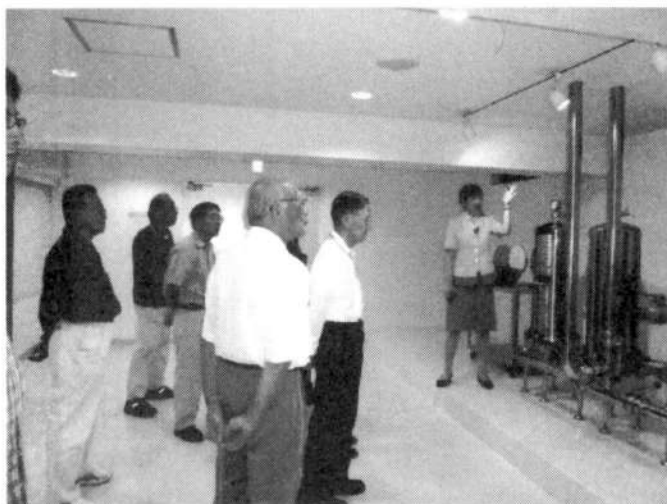


Photo 工場見学風景

平成19年の関東支部の夏季総会は、以前からの中崎大先輩(昭24)のお誘いもあり、サントリー(株)武蔵野ビール工場の見学会形式で開催した。

いつも多数の見学者で賑わう工場側の都合を勘案して日時を設定した。その見学前の行事として、工場にほぼ隣接している府中市郷土の森公園での軽食会もオプションとして加えた。

お陰で成田幹事(平11)は現地地下検分した上に、諸先輩への呼びかけ方について頭を痛め、4月には平成卒の若手有志6~7人を招集して準備会議まで開いて忙しかったことと思う。

6月23日当日は写真のとおり、神戸からは野田会長(昭36)・佐藤監事(昭30)も参加され、和気藹々のうちに、できたての「ザ・プレミアム・モルツ」を賞味することができた。



Photo 軽食会

この製造現場で日夜精進しておられる林君(平12)(写真後列右から2人目)の名解説を聞くと、「ザ・プレミアム・モルツ」がモンドセレクションで最高金賞を3年連続受賞された喜びを一同共感する思いであった。当日の設営・段取りについて無理を聞いて頂いた林君に改めて御礼申し上げます。

なお、写真には写って居られないが、見学前の軽食会には武政氏(昭39)夫妻も出席されました。

(出席者)敬称略

中崎日出男(昭24) 佐藤 一夫(昭30)
田渕 五郎(昭30) 岡見 晴児(昭33)
上村 久治(昭35) 野田 浩志(昭36)
井上 隆史(昭37) 丸山 卓也(昭38)
林 荘八郎(昭38) 鈴木 正弥(昭39)
佐敷 定雄(昭49)夫妻
成田 康修(平11) 林 輝彦(平12)
篠原 康彦(平16) 信田 泰弘(平17)
加藤 晃裕(平19)



Photo ご出席の皆様

凌泳会東京支部忘年会

山田貴彦・昭37



11月26日、東京 KUC クラブで凌泳会東京支部忘年会が開かれ、田淵五郎(昭30)支部長他 22 名が集い、楽しい一時を過ごしました。

今年物故された永野一彦(昭35)先輩のお姿がなかったのは大変寂しく思いましたが、山口宗樹(昭16)大先輩がお元気な姿を見せて「百歳までは頑張ります」と仰られたことに、一同感激し大変元気を頂きました。

今日の幹事をお引受け頂き、楽しい会を作って下さった成田康修(平11)さん、加藤晃裕(平19)さんにお礼申し上げます。

(参加者)敬称略

山口 宗樹(昭16)	田淵 五郎(昭30)
岡見 晴児(昭33)	榊原 修造(昭33)
細田 忠雄(昭33)	上村 久治(昭35)
井上 隆史(昭37)	山田 貴彦(昭37)
荒井 康之(昭38)	鈴木 剛広(昭38)
丸山 卓也(昭38)	林 荘 八郎(昭38)
鈴木 正弥(昭39)	滝沢 章三(昭39)
前田 和秀(昭40)	熊岡 禎二(昭44)
佐敷 定雄(昭49)	藤田 弥門(昭57)
呉竹 正人(昭59)	日比 勝己(昭62)
徳永 守(昭63)	成田 康修(平11)
加藤 晃裕(平19)	

平成19年度関西地区忘年会

長谷川 健・昭49

今年の関西地区忘年会は恒例により神戸地区の開催年にあたり、神戸は元町の本館牡丹園にて11月28日(水)に開催されました。例年12月の開催でしたが、12月になるとどうしても仕事上の忘年会と重複することがありがちであり。本年は思い切って11月の最終水曜日の開催と致しました。

現役からは恒例により新幹部と卒業(部)を控えた4回生の出席を招待し、中華料理に舌鼓をうちながら歓談し大いに盛り上がりました。

しかしながらOB側の出席者は10名とやや寂しいものとなりました。それがメーリングリストでご指摘いただきましたように会費によるものか、また会場が神戸となり在阪OBには足の便が悪かったのか、開催日が11月では早すぎたのか、いずれにしても今後への課題を残す結果にもなりました。

最後に、当日残念ながら欠席となりましたが会費不足の一助にとご寄付賜りました佐藤先輩、幹事として準備を担当頂きながら当日急用で欠席となった家門君に、この場を借りまして厚く御礼申し上げます。

(出席者)敬称略

石井 義章(昭27) 岡村 司(昭34)
北村 敏(昭34) 野田浩志(昭36)
酒井 孝栄(昭36) 丸山 昱也(昭40)
得丸 哲士(昭46) 長谷川 健(昭49)
金 一波(昭58) 川原田 貢(昭60)

浦谷 正史(4回) 田染茉莉子(4回)
中村 友彦(4回) 北野 達也(新幹)
槇尾 晋(新幹)

「リレーエッセー(第2回)」

平成19年度号からめでたくスタートいたしました“リレーエッセー”の第2回です。できるだけ多くの会員諸氏に誌面を通じて参加していただくという主旨で、4名からスタート(都合で実際は3名)いたしましたが、それでは一巡するのに100年かかるという初歩的な企画ミスをしていたため、今回から人数の倍増をこころみました。

少しずつ人数を増やしていけたらと考えておりますので、皆様、どうぞよろしくご協力ください。自薦で新スレド?を始めるのも歓迎します。

覚えのために、リレー表を記しておきます。(敬称略)

スレド	第1回(平成19年度号)	第2回(今号)
平成卒世代男性		(新) 森 宣幸(平16)
	甲野 賢(平 1)	→ 羽瀬 智文(平 1) ※守沖 敦(平 1) 予定のところ連絡つかず
女性		(新) 河原 あや(平17)
	小笠原陽子(昭50)	→ 川本 典子(昭51)
商船大OB・OG 「みずむし会」	西村 尚 ※多忙のため未掲載	※今号も残念ながら未掲載
		(新) 本間 正信(海事科学部教員)
昭和卒世代男性		(新) 島崎 昌彦(昭62)
	石井 義章(昭27)	→ 野田 浩志(昭36)

【編集戦記】

それはいいアイデアだ！と始めてはみたものの、原稿依頼から投稿して頂くまでは結構大変です。

凌泳会全体の課題にもなっている名簿問題があり、ご本人への連絡が一筋縄では行きません。依頼の手紙が「行き所不明」で返って来るし、念押し of 電話をしてみたなら本人はそこには住んでおられないとか。

たった1ページ of 原稿もイザとなると書くのが難しいことはよくわかります(ご協力くださいました出筆者の皆様、有難うございました)。しかし、締め切り日までに届いた原稿は一つもありませんでした。

人数を増やしていくという計画は即ち編集委員が自分で自分の首を絞めることです…が頑張ります。

(編集委員 記)

メタボ注意報

森 宣幸・平16

社会人になったばかりの頃は、メタボリックシンドロームになった典型的なサラリーマンなどにはなりたくなく、30代になっても、お腹の引き締まった姿を目指して、近くのプールにも通ったりもしましたが、暫くすると通わなくなってしまう。そのうちにお腹の出っ張りが気になりはじめると、泳ぎに行き、仕事が忙しくなったりすると、プールに通うのを辞めてしまう、といったことを繰り返しています。最近、体調を崩して医者に行った際には、「運動不足が原因です」と言われる始末で、またプールに通う決心をしました。大学卒業後そんなこんなの水泳遍歴を辿っていますが、現役生の中にも今後東京に出てこられる人もいるかと思いますので、幾つか都内の公営プールを紹介していきます。

・中央区総合スポーツセンター(浜町)

浜町のプールには社会人1年目の頃に通っていました。営業時間は9時から21時30分までなので、残業などがあると行けなくなりますが、社会人1年目でかつ研修中であつたので、利用することができました。今の職場にも近い場所にあるのですが、21時30分までではなかなか通い辛いものがあります。但し、4月から午前7時からの営業がはじまるので、仕事前には通えそう

なのですが……。

・上井草スポーツセンター(上井草)

今の自宅に最も近いのでよく利用しています。公営といっても、運営を某フィットネスクラブに委託しているため、設備も非常にきれいです。また、平日の午後11時まで営業しているため、仕事を終えた後にも行くことができるメリットがあります。しかし、こちらは自宅から自転車で15分ほどのところにあるため、冬になるとどうしても足が遠のきます。

・東京体育館屋内プール(千駄ヶ谷)

このプールでは50mプールがあります。25mプールの場合、大学まで水泳を行っていた人間と健康のために泳ぎ始めた普通人とではレベル差がかなりあるため、途中で追いつくことが多く、スピードを落とすか、追い抜くかしなければならなくなります。また、平泳ぎを泳がれると、一般の方は蹴脚が横に流れることが多いため、追い抜く際に蹴られないように注意が必要です。しかし、50mプールの場合には水の深さや距離から必然と上級者向けになり、中でもコース分けされているので、非常に泳ぎやすいです。

最後に、イケメンだったとある先輩に卒業後久しぶりにお会いした際、見事お腹

になっていたのは少々ショックでした(変わらずイケメンではあったのですが)。現役生の方は卒業後のお話ですが、社会人の初めのころはフィットネスクラブなど高すぎて、なかなか利用することができないかと思

ますので、上記のような公営施設を利用して、そうならぬようご注意ください。

それでは次号は信田泰弘さん(平17)にリレーします。よろしく願います。

凌泳会費とは？

羽瀬 智文・平 2

昨年からはまったこのリレーエッセーだが、甲野先輩から、守沖先輩へバトンタッチのはずが、守沖先輩の連絡先がわからず、急速、私が引き継ぐこととなった。第一泳者からいきなり第三泳者への引継ぎで、競泳の試合であれば、失格である。この先を考えると思いやられる(ほんとに続くのか?)。

こんなことを言いながらも、本稿を書いているところが、なんだか面白い。

私は、現在、大阪市北区で司法書士事務所を営んでいる。小さな事務所で経営は厳しいが、お陰様で元気に仕事を続けさせていただいている。仕事の内容は、会社を作ったり、不動産の登記をしたり、裁判をしたり、成年後見人になったりと、まあ、さまざまである。最近では、長引く不況の影響で、多額の借金を抱えてしまい、多重債務に陥って相談に来られる方が増えている。新卒採用が空前の売り手市場となっている反面、中高年の中途採用は、依然

厳しく、この国はどうなってしまうのだろうと先々に不安を感じる今日このごろである。

これは、我が凌泳会においても同様である。平成卒の水泳部OBの多くが、凌泳会の会費を未納であるとのこと。これは数年前から繰り返し問題にされてきたが、一向に改善されないようである。なぜこうなってしまったのであろうか。

会費未納のOBのうち、何名かは転勤等に伴う異動で、一時的に連絡が取れなくなったと考えられるが、それ以外は、意図的に会費を納めていないのが現状であろう。会費支払い意思のないOBに支払いを求めるのは困難である。自主的に会費の納入を促す以外にないのであるが、これをするために、各世代につき1名を選び出し、この人に同世代の人間に連絡を取らせ、会費の納入を促そうという意見が出ている。

しかし、この連絡係に選ばれた人にとってはいい迷惑であろう。自ら会費を納めるだけでなく、会費未納のOBの個人情報

調べ、管理し、さらに連絡をつけて、会費を納めさせなければならない。仕事をしながらでは大変な負担となる。凌泳会は多くの会員を抱える“組織”ではあるが、基本は水泳部のOB会である。あくまで自主的な参加が基本となるべきであろう。凌泳会は会費を集金するための組織になっては

ならない。そのためには、各会員が神戸大学体育会水泳部を応援する意味をかみしめながら、会費を納入していただきたいと思う。他の会員にケツを拭かせるのは御免こうむりたい。

次は、平成3年卒の当麻君に引き継いでもらいたい。

神戸市消防局に勤めて

河原 あや・平17

私は今、神戸市消防局で働いています。こう言うとほとんどの人に「じゃあ、火災現場に行って火を消したりしてるの!？」と聞かれます。「もちろん!」と言いたいところですが、残念ながら神戸市消防局では、火災現場で女性が活動したことはありません。私は、市役所内にある消防局本部の予防課というところで、火災予防広報を担当しています。

神戸市消防局といえば、1995年の阪神淡路大震災なしには語れないでしょう。私は当時は小学6年生、しかも神戸市民ではなかったので、実際に消防士の働く姿は見たことがありません。しかし、採用されて最初の半年間入校した消防学校で、すべての教官が最初の授業の自己紹介で、「震災のときは…」と震災の話をしました。また、先輩や上司からも、1週間以上家にも帰らず、ほとんど睡眠も取らず活動したこ

とを聞きました。その時私は、どれだけ震災が神戸市消防局に大きな影響を与えたのかを感じました。あれから13年、ついに小学生はみんな、震災を知らない世代になってしまいました。それでも、震災を忘れない、その教訓を今後に生かす、そのために、私達は子供達に対する防災教育をすすめています。さらに、震災で、消防力の限界を目の当たりにし、「自分の命は自分で守る」ということをモットーに、火災予防広報をしたり、大災害があった時のための訓練を市内各地で行ったりしています。

震災の時、小学6年生だったと言っても3ヵ月後の4月からは六甲にある中学校に通いだした私にとっても、震災後の神戸の姿は決して忘れることができません。それ以上に、発達でのプール練習のあと、六甲台横の坂道を下りながら見える、復興した神戸の街の夜景を忘れることができません。

あの夜景を見るたびに、神戸が好きだなあと感じていました。

そんな私の好きな神戸市が職場にもなった今、「私は神戸とは切っても切れない関係なんだな」と思っています。そして、神戸市役所水泳部に所属しており、「水泳とも切っても切れない関係なんだな」とも思っています。部員まとまったの練習は無く、年2回の試合でしか集まらないので、なんとなく物足りない気もしますが、だからこそ、大学時代に部活最優先で生活していた頃がとても充実した日々だったんだなあとつくづく感じます。今の神戸大学の水泳部は、

応援に行ったり、ホームページを見たりしていると、みんなの士気が高く、それぞれに一生懸命なのが伝わってきます。社会人になってしまえば、こんなにも水泳に没頭できることはありません。だから、現役のみなさんには、結果がどうであれ、その時その時を全力で過ごしていただきたいです。

さて、自分の職場の話ばかりしてしまいましたが…先日、予防広報の一環で「おはよう朝日です」に出演した時に、すぐにメールをくれた、美穂、そのお礼をこめて、記事のリレーバトンを渡します！よろしく！



Photo 競泳チームが練習に使用している海事科学部プール

感動できる人物に会いたい！

川本 典子・昭 51

小笠原陽子さん(昭50)からご指名賜りました川本です。何を書いていいやら難しい。

私は凌泳会員としては劣等生で、会費も納めたり納めなかったり、催しにも殆ど参加せず、こうして会誌に寄稿するのも卒業してから初めてです。

水泳選手としては素人で、中高はバスケットボールでしんどい目をしたので、大学では楽しく泳ごうという不純な動機で水泳部に入部。それでも良き先輩・後輩に恵まれ、理系の学部なのに4年間まともにクラブ活動もし、時々一般の部のバスケットの試合にも出、ギリギリ4年で卒業できたのだから、まあ良しとしなければならぬでしょう。

卒業生としてあまり熱心でなかったのにはいろいろワケがあって、後ろを振り返って懐かしむということを良しとしなかったとか、女性が社会で戦っていくのが結構大変だったり、私はダブルスクールもしたし転職もしましたから、先輩の男性諸氏とは随分違うと思います。大学に対するロイヤリティはあまりない方ですが、六甲台のプールは好きですね。何故なんだろう。今もあまり変わっていないのが嬉しいです。

話は変わりますが、皆さん！ 胸がバクバクするほどの感動とか感激って最近何時感じましたか？ 私、二十六七の頃、東京から帰る新幹線で興奮のあまり居ても立ってもい

られず、親しい人にその感動を伝えるべく電話をしたことがあります。以来それ以上の興奮を覚えたことはありません。その時の興奮のワケは・・・

当時私は初めてマイコンを搭載したオープンレンジのデビューの仕事をしていました。コンピュータを搭載したからって売れるものじゃないってことで、著名な料理人に使い方を開発してもらおうべく商品の使い方を説明しに東京へ出かけたのです。私をそこまで感動させてくれたのは陳建民さん……テレビ番組「料理の鉄人」で有名になった陳健一氏の実父でした。当時、電子レンジなどというものはキワモノ扱いで、そんなモノで美味しい料理なんぞ出来ないと豪語する堅物も多い中、陳建民氏は少しの説明を聞いただけで見事にそのマシーンを使いこなし、素晴らしい料理を作って見せたのです。

その素早さ、発想の素晴らしさ、柔軟さに、プロというのはこういう人の事を言うのだという強烈なカウンターパンチを打ち込まれたのでした。

以来、それ以上の感動に遭遇したことはありません。もし、あの人に会えばきっと感動するよ！ という心当たりがあればご紹介いただきたい。

けったいな内容になってしまいましたが、次は星合正子さん(昭53)、お願いします。

私が水泳を始めたきっかけと水泳の魅力

本間 正信(海事科学部教員)

私は今で言うスイミングクラブ(当時はそのような名前ではありませんでした)に入ったのは小学校4年の冬でした。すぐに選手コースに入り、1年後、突然しかも急激にタイムが伸び出して、以来大学卒業まで競泳選手をやることになりました。大学卒業後も泳ぎの技術に関する研究をしたり、指導をしたりと、現在まで水泳に関わって来ています。今回、このリレーエッセイを書く機会をいただいたので、「私はなぜ水泳を始めたのか」ということを思い出してみようと思いました。

私は幼稚園時代、水泳の授業(といっても丸いビニールプールでの水遊びだったと思いますが)後に、1人残されて、保母さんがわざわざ呼んで来た園長先生を始め何人かの保母さん達の前で泳がされた記憶があります。他の子供よりも水を怖がらず、泳ぎが上手だったからだと思いますが、若干の才能があったのかもしれませんが(ただこれも、高校、大学時代になるにつれ、平凡な才能であったと気づかされましたが)。それに加え、子供の頃は病気がちで身体が弱かったこと、父親が水泳好きだった関係で、海やプールでたくさん遊んだ記憶がありますので、単に水に慣れていただけのかもしれませんが。ただ、その遊んだ時期が幼稚園の頃もあったのか記憶が定か

ではありません。「なぜ水泳を始めたか」という問いの結論は、「遊び」からであったということになりますが、海やプールの近くに住んでいて、連れて行ってもらえる環境にあったということも幸運であったと思います。

では、前述したように途中で才能のなさ気づきながら、なぜ未だに水泳を続けてきたのでしょうか。一つの理由として、評価がタイムよるもので非常にシンプルである、ということがあります。もちろん、レースの駆け引き、プールコンディションなどの要素も評価に関係してきますが、結局はタイムに行き着くことです。審判のいる競技や採点競技のように、人間の判断が結果に入る余地がほとんどない、すっきりとした競技特性が私の感性には合っていたのだと思います。その一方、評価はシンプルでありながら、タイムを縮める要素は非常に奥が深く、「これが出来れば速くなるのでは」という淡い期待と挑戦が、水泳にのめり込んでいったもう一つの理由ではないかと思っています。

以上、まとまりのない話になってしまいましたが、エッセイということでお許しください。

今回は、「みずむし会」会長の沖浦征治さん(11N)にお渡ししたいと思います。よろしくお願ひします。

クリエイティブであること

島崎 昌彦・昭62

私も不惑を過ぎ、昔を懐かしむことが多くなり、これまでの人生の中間点である大学生時代のこともよく思い返します。勉学は疎かでしたが、水泳部員だったことで得たものは本当にたくさんあり、それを思い出しては仕事や生活に活かすようにしています。

そのうちのひとつ、失敗から学んだ教訓が、「クリエイティブであること」を大切にすべきだということです。

私は、専門の自短では結局卒業まで高校時代のベストを更新できませんでした。

中学から高校までは、比較的順調にタイムが伸びました。本などで基本も勉強しましたが、それを元に自分でいろいろと工夫をしました。フォームでいえばストロークが短くピッチが速い、やや変則的なものでした。

大学に入って、さらにタイムを伸ばすには、もっとオーソドックスなフォームに改良する必要があると考えました。1年上の川原田先輩の泳ぎを見習いたいと思いました。しかし、後から考えれば失敗だったようです。

オーソドックスなやり方で届くレベルは基本的な才能ではほぼ決まり、それを越えるには個性に応じた工夫が必要だと思います。私の競泳の才能は高くないですが、高校時代は工夫ができていたと思います。大学では、才能の高い先輩を見て、身の程を

越えてオーソドックスにこだわりすぎたと思います。

水球は特にヘタでしたが、これは競泳以上に才能がないのにオーソドックスなやり方を理解しようとして、わけがわからなくなり右往左往していただけだったように感じます。競泳は、自分を信じてさらにクリエイティブに自分なりのやり方を探るべきだったし、水球は、もっと「習う」より「創る」ことを重視すれば良かったと思っています。

古い話ですが相撲の舞の海は小柄な体で「技のデパート」と呼ばれました。また、プロサッカーの超一流選手は型にはまらないクリエイティブな技を見せてくれます。競泳では、自由な工夫をする余地が比較的少ないですが、それでも個性に応じて最適なやり方は様々で、柔軟な発想が必要だと思います。

何事においても、力を十二分に発揮するためには、押さえるべき基本は押さえながらも、自分を信じて個性を活かしクリエイティブであることが大切だと思います、そう心がけているところです。失敗から学んだ教訓ですが、4年間で得た大切な財産のひとつです。

ということで、リレーはこの財産を得るきっかけのひとつであった川原田貢先輩(昭61)に引き継ぎたいと思います。

釣 り 余 談

野田 浩志・昭36

私は釣りについて一文をものにするようなマニアではありませんが釣り糸を垂れてジッと魚の掛かるまで待っている、その間合いが普段の生活と違って苦にならないのです。海と言わず川と言わず水に囲まれた雰囲気が好きなところは水泳と相通ずるものがあるからでしょうか。ここでは釣りにかわる余談をいくつか紹介しましょう。

その1:グリーンピースで魚が釣れる。

ロスアンジェルスから南に下った郊外に住んでいた頃よく釣りに出かけた。日本での魚を買う位に高い餌代に比べて、この地域の魚はなんとグリーンピースで釣れるのだから驚きでした。このあたりはメキシコ暖流が流れていて魚ものんびりしているからでしょうか。このグリーンピースの餌はなんと日本人の発案ですから更なる驚きですね。

その2:トロが捨てられている

メキシコはバハ・カリフォルニア半島の南端ロス・カボスヘスポーツフィッシングに行った時のこと。カジキマグロが掛かった時には船側に手繰り寄せるまでに30分以上もかけて魚と格闘します。その過程で何度も全身を宙に舞い上がってくれる躍動感映像で見るとは違った迫力が有りました。そのカジキと違って一日一人当たり3尾まで持ち帰りの出来る小づくりの青マグロを釣果に帰港すると、漁師たちが身を捌いて

くれます。そこでは内臓を包む胸の部分が切り捨てられ海鳥の餌になっているのを見た私は仲間のアメリカ人と交渉してフィレの部分と引き換えに胸の部分を全部引き取ることになりました。その昔、カナダで捨てられていた鮭の卵(イクラ)を日本に持ち込んだ人の成功話が頭を過ぎったのです。しかし、寿司が流行り、トロがもてはやされる時代にそんなに旨い話が有る筈もなく持ち帰った脂気の無い大量の仮想トロの部分の処分に苦労したものです。

その3:ケルプサッカー

バンクーバーでの1週間のサケ釣りを終えて打ち上げの酒盛りをした時の余興のこと。その地域の海には直径6-7センチ肉厚1センチ長さ10数メートルの消防ホースのような海藻が林立している。漁師たちの習慣では切り取ったホース(海藻)の先端を二階から垂直に下ろし、階下でホースの下端に口を宛がって待ち受けている相棒の胃袋にビールを流し込む。1-2秒の「イッキ」遊びだった。酔いに任せて参加した私の胃の底にも3メートルも上のビールの塊が何の抵抗もなく落ち込んできた。中ジョッキですら一気に飲み込めないのに！である。

この次は昭和38年卒(11回)の林荘八郎さんにバトンを渡します。

昨年六月に神戸の地を離れ、九州勤務時代の古巣に都落ちしました。一年を迎えようとしている今、凌泳との距離が遠くなりポッカリと空いた穴をつくづく実感しています。

長いあいだ幹事長の任に在りながら席を汚しただけで、会長はじめ本部幹事の皆様にはご心配とご苦労をおかけしただけの役立たずに終始し、責任を果たし得なかった無能力と無責任を恥じています。支えてくださった幹事諸氏と運営委員はじめ多くの会員の皆様には、この紙面を借りてあらためて厚く御礼申し上げます。

思えば卒業以来45年、六甲台のプールと凌泳の集いはいつも身近な存在であり神戸の町や六甲の山並みとともに私にとってかけがえのない安らぎの場でありました。九州に転勤になったときも、自分の帰る場所は神戸という潜在意識が常にあってこれが支えになっていました。

しかし今回の転居はすこし趣を異にしています。終の棲家としての居を定めたという心のふっきれが、神戸そして六甲のプールと凌泳を遠いものにしてしまいました。わが内なる凌泳から、離れた凌泳へと変わってしまった訳です。さみしさがこみ上げてくるのを禁じえません。

同時に、離れて見る故郷としての凌泳に対してこれまで以上にその**確固たる存在を**

願う気持が強くなったように思います。

水泳部も凌泳会も80年を超える栄枯盛衰の歴史の中で、多くの危機を乗り越えて今に至っています。そのつど当事者の部員や会員の献身的な努力、そして時の会長以下幹事の皆様の積極果敢な施策の賜物です。

今また水泳部は部員の確保とステイタスの維持向上に困難な課題をかかえ、凌泳会は若手会員の求心力確保に向けて革新的な施策を求められています。また「みずむし会」との一体化も課題のひとつだと思います。常に課題に立ち向かうことこそ組織の活力の源と考えることもできます。両者は荒波に揉まれながらも、必ずや活路を拓き歴史の糸をしっかりと紡いでいくものと信じています。

価値観の多様化や、規律と自己規制への忌避から当今は体育会系クラブが敬遠される風潮が強いようですが、私は自身の青春時代の情熱をプールが受け止めてくれたことに心から感謝しています。何よりもわが身の健康と人の情けを得たことは何物にも代えがたい一生の宝物です。

一人でも多くの後輩たちが同じ僥倖を手に入れてくれますよう心から願ってやみません。現役諸君は魅力ある水泳部づくりと新入生を引きつける情報発信へ向けて知

恵を絞ってください。また若手凌泳会員には組織の担い手になって下さることを期待します。

凌泳会の柱は20代、30代の若手でなければならないと思います。総会が若手会員

で溢れる事を夢んでいます。敬老会だけの凌泳会になってしまわないよう、若手会員は自らの知恵と手で自分たちのための凌泳会を創ってください。

(編集部より)

長年にわたり凌泳会の役員を勤めてくださり、大変熱心にお世話くださいました萩原さん。本当にありがとうございました。

九州支部の活動を萩原さんのお力で活性化して欲しいとのお話が、送別会の

折にも出ておりましたが、落ち着かれてからで結構ですので、是非ともよろしく願いたいと存じます。

ご寄稿ありがとうございました。



Photo
平成19年5月19日に開催された、萩原さんの送別会にて
萩原さん(左)
右は、安茂さん(昭39)

【寄稿 2】 2006FINAワールドトップ10ランキング

安茂 弘・昭 39

『2006FINAワールドトップ10ランキング』が日本マスターズ水泳協会のホームページ、出版物のお知らせに載っていた。

国際水泳連盟(FINA)加盟国から提出された2006年1月～12月に開催された協議会の記録を長・短水路別、男女別、年齢区分別、種目別に集計し、上位10位までを掲載したランキング集である。

今まで気にもしていなかったが、今回は少し興味があったので購入してみた。

同年の全国ランキング 65歳区分で、200M平泳ぎ(長水路)3分22秒台と200Mバタフライ(短水路)3分30秒台で両種目共3位だったので、世界ランクとどれだけ差があるのかみてみたかった。また、マスターズ登録者数ではアメリカを抜いて日本が首位になったこともあり、あわよくば日本の3位は世界の10位以内に入っていないかとも思った。

結果はだめだった。世界ランク10位の記録は200平が3分20秒台、200バタが3分27秒台で、いずれも2秒程届いていなかった。しかし世界のトップ10が身近になっているのに驚いた。

このまま健康で元気に泳げたら70歳区分では世界トップ10の可能性も夢ではなさそうだ。まさに「継続は力なり」を再確認したところである。参考にランク表の一部を抜粋した。

凌泳会関係者が載っていないか調べてみた。

田淵さん(昭30)が70歳区分200M背泳ぎ(短水路)3分24秒台で10位にランクされていた。さすがである。この種目では日本は強く、3人がトップ10に入っていた。国内ではトップクラスの佐敷さん(昭49)も調べてみた。この年代(55歳区分)では競技人口が多く、あと少し届かなかった。

2006年マスターズスイミング・ランキング

	種目	[65歳区分] 全国ランク・タイム		[65歳区分] 世界ランク10位 タイム	タイム差	参考[70歳区分] 世界ランク 10位タイム
		⑦	1' 29" 18	1' 26" 78		1' 32" 82
短水路	100M 平泳ぎ	⑦	1' 29" 18	1' 26" 78	2" 40	1' 32" 82
	200M 平泳ぎ	⑥	3' 19" 17	3' 15" 77	3" 40	3' 29" 94
	100M 蝶泳	⑨	1' 30" 44	1' 18" 88	11" 56	1' 34" 01
	200M 蝶泳	③	3' 30" 08	3' 27" 89	2" 19	3' 46" 86
長水路	100M 平泳ぎ	④	1' 31" 72	1' 29" 30	2" 42	1' 34" 37
	200M 平泳ぎ	③	3' 22" 82	3' 20" 02	2" 80	3' 28" 84
	100M 蝶泳	⑫	1' 35" 06	1' 19" 81	15" 25	1' 33" 00
	200M 蝶泳	⑤	3' 42" 53	3' 25" 27	17" 26	3' 51" 97

マスターズ活動記録(2007年1月～12月)

※表は氏名、年齢区分、種目、順位、タイムの順(以下同様)

2007 新春マスターズ大阪

(1月13日～14日 なみはやドーム)

小南裕明	35	100M・蝶	②	1'03"58
小南裕明	35	200M・蝶	①	2'25"08

2007 新春マスターズ東京

(2月10日～11日 辰巳国際水泳場)

今年のマスターズの開幕戦が辰巳で2月10日～11日開催されました。

最初の試合での無事完泳出来るかなという緊張感は幾つになっても気持ちの良いものです。今年は前田さんが初参加しましたが、常連の佐敷さん、去年出場の浦野さん、濱出さんに会えなかったのは一寸寂しかったですね。

試合は2日間で、各自の試合時間が相当違いますので、昼食時間にプールサイドにいる人がコーヒーショップで歓談するのが慣わしになっております。

今年も、榊原さんが25バタで優勝しました。蛙足でのバタフライは何時見ても芸術品ですね！！

また、初参加の前田さんが200バックで3.39.15で銅メダルを確保しました。あの田

淵さんに6秒差と肉薄した記録には驚嘆します。(井上 隆史・昭37)

榊原修造	75	25M・蝶	①	18"68
田淵五郎	70	200M・背	③	3'33"78
岡見晴児	70	50M・背	⑤	46"08
岡見晴児	70	100M・背	⑤	1'46"43
井上隆史	65	25M・背	④	19"29
井上隆史	65	50M・背	③	43"18
井上隆史	65	100M・個メ	⑥	1'30"09
井上隆史	65	200M・個メ	⑥	3'33"53
武政英幸	65	25M・蝶	④	16"69
武政英幸	65	100M・個メ	③	1'28"88
前田和秀	65	25M・背	⑤	21"20
前田和秀	65	200M・背	③	3'39"15

第7回町田市マスターズ

(2月25日 町田市室内立プール)

町田市は東京都町田市ですが、周りは全て神奈川県ですので、なんとなくホームゲームの感覚です。今年は常連の田淵さん、岡見さん、細田さんがご欠席で一寸淋しい大会でしたが、浦野さんが参加され、濱出君、前田君が最後に金メダルを取り大いに実力を発揮した大会でした。

大会後は浦野、濱出は仲間と別の場所で納会をやりましたが、前田、井上は淵野辺駅前の小料理「あやめ」を開拓して、借り切って女将さんと一緒になって、前田君のゴールドメダル奪取のお祝いをしました。欠席した神奈川飲み組連のメンバーの残

念がる顔を想像しながら、来年も元気で
再会を女将と約束して散会しました。

(井上 隆史・昭37)

井上隆史	65	400M・自	③	7'30"77
井上隆史	65	100M・背	④	1'41"28
前田和秀	65	100M・背	⑤	1'42"23
前田和秀	65	200M・背	①	3'47"17
浦野敏明	45	400M・自	⑤	5'50"54
濱出憲一郎	30	50M・自	⑥	27"27
濱出憲一郎	30	200M・自	①	2'17"74

FIAマスターズ2007

(3月3日～4日 千葉県国際水泳場)

井上隆史	65	50M・背	⑤	45"69
井上隆史	65	200M・個メ	④	3'40"98
安茂 弘	65	50M・平	⑥	42"66
安茂 弘	65	100M・平	⑤	1'34"80
安茂 弘	65	200M・平	③	3'30"09

第11回神奈川マスターズ短水路大会

(3月4日 さかみはらグリーンプール)

前田和秀	65	50M・背	⑥	46"67
前田和秀	65	100M・背	④	1'40"89

2007年度 日本マスターズ水泳短水路大会

本大会は、(社)日本マスターズ水泳協会が主催する公式大会で、全国各地で開催され、
全国大会はありません。

■全国20傑に入られた方の記録

榊原修造	75	25M・背	⑩	21"28
"	75	25M・蝶	⑦	19"02
田淵五郎	70	25M・背	⑩	18"84
"	70	50M・背	⑧	41"33
"	70	100M・背	⑫	1'35"87
"	70	200M・背	④	3'34"44
安茂 弘	65	25M・平	⑮	18"66
"	65	50M・平	⑮	40"92
"	65	100M・平	⑨	1'29"96
"	65	200M・平	⑩	3'24"50

安茂 弘	65	100M・蝶	⑪	1'30"54
安茂 弘	65	100M・個メ	⑮	1'28"42
"	65	200M・個メ	⑮	3'26"72
岩切 博	55	400M・個メ	⑦	7'02"24
佐敷定雄	55	200M・自	⑥	2'28"86
"	55	50M・蝶	③	31"05
"	55	100M・蝶	③	1'12"16
山野和則	45	200M・平	⑭	3'08"19
小南裕明	35	100M・蝶	⑲	1'04"50
"	35	200M・蝶	②	2'26"53

■各会場での戦記と成績

明石会場

(4月8日 コナミスポーツクラブ明石)

安茂 弘	65	50M・蝶	③	40"31
安茂 弘	65	100M・個メ	①	1'28"42
山野和則	45	100M・自	③	1'12"16
山野和則	45	50M・平	②	38"26
小南裕明	35	50M・蝶	④	30"21
小南裕明	35	100M・蝶	①	1'04"50

相模原会場

(4月8日 さかみはらグリーンプール)

田渕五郎	70	25M・背	②	18"84
田渕五郎	70	50M・背	②	41"33
岡見晴児	70	50M・背	④	45"64
岡見晴児	70	100M・背	③	1'45"54
井上隆史	65	100M・背	③	1'40"65
井上隆史	65	100M・個メ	⑤	1'33"26

習志野会場

(4月21日・22日 千葉国際総合水泳場)

榊原修造	75	25M・背	②	21"28
榊原修造	75	25M・蝶	①	19"02
田渕五郎	70	200M・背	③	3'34"44
岩切 博	55	100M・蝶	④	1'31"00
岩切 博	55	200M・個メ	⑦	3'16"96
佐敷定雄	55	200M・自	②	2'28"86
佐敷定雄	55	50M・蝶	①	31"05
佐敷定雄	55	100M・蝶	①	1'12"16

神戸会場

(4月22日 エス・パディオスポーツクラブ)

安茂 弘	65	100M・平	②	1'29"96
安茂 弘	65	200M・個メ	①	3'26"72
山野和則	45	100M・平	②	1'23"46
山野和則	45	200M・平	②	3'08"19
小南裕明	35	25M・蝶	①	13"67
小南裕明	35	200M・蝶	①	2'26"53

海老名会場

(4月29日 神奈川県海老名プール)



海老名は JR、相鉄線、小田急線の3線の交錯する神奈川県西部にある街です。例年横浜組が参加しているこの日も大変な出来事がありました。

前日の28日9時頃にクラブへ電話する。「コースから競技時間表が届かないので、FAXで送って頂きたい」

受電した人は担当ではないので、マスターズの担当者は2時にしか来ないのでそれから電話して欲しいと返事あり。クラブに来てレッスンがあるというので、連絡が取れなくなると時間ばかりかかるので、FAXで用件を依頼する。

FAXを見て、「クラブの代表者に送ってある」との電話がありました。

一瞬呉竹さんの方に送っているかと思いながらも、私が代表で申し込みしていて書類が届いてないから、郵便局がご配達してい

るでしょう。時間表のFAX依頼をして、出掛ける。

競技時間表と参加賞引換証がFAXで届いたので、前田さん、細田さんに電話で連絡をした。

翌29日25M背泳が10.41から始まるので、前田さんが念のため自分のコースを調べると、「無い！名前が無い」

丁度私が家を出る前でしたので、申込書とエントリーの振込み書を大騒ぎで探しFAXをして、特別に空きのコースでの参加が認められました。

教訓として、前日の確認の時に申込書が届いていることを確認する必要があった。

そんなわけで、1組の1コースで皆入れてもらいましたが、+65の100M BACKだけはコースに空きが無くフルエントリー、また、棄権者なしでしたので、1組増やして前田さんが一人でレースをした次第です。プログラムに載っていない組と人でみなさん唾然としていましたね。

岡見さんは25Bのほかに混メと混合リレーに出場されご活躍でした。

例によって、アフタースイムは近くに居酒屋で、12時30分頃から始まり、私がレース後再び駆けつけ5時半ごろ散会しました。細田さんのフィリピンのショートステイの話で盛り上がりましたが、焼酎は1本に押さえました。(井上 隆史・昭 37)

細田忠雄	70	25M・自	⑩	18"35
岡見晴児	70	25M・背	③	20"06
井上隆史	65	200M・個メ	①	3'38"89
井上隆史	65	50M・背	④	45"07
前田和秀	65	25M・背	①	20"74
前田和秀	65	100M・背	①	1'41"87

江東会場

(4月29日 東京辰巳国際水泳場)

田淵五郎	70	100M・背	②	1'35"87
浦野敏明	45	100M・蝶	②	1'15"37
濱出憲一郎	30	50M・自	⑧	26"38
濱出憲一郎	30	100M・自	③	57"68

安城会場

(4月29日 安城市スポーツセンター)

手嶋忠之	60	50M・自	④	33"53
手嶋忠之	60	100M・個メ	③	1'32"19

新座会場

(5月5日 コナミスポーツクラブ新座)

武政英幸	65	100M・個メ	①	1'32"03
武政英幸	65	100M・背	①	1'39"08

門真会場

(5月12日～13日 なみはやドーム)

安茂 弘	65	25M・平	⑤	18"66
安茂 弘	65	100M・蝶	③	1'30"54
岩切 博	55	400M・個メ	③	7'02"24

京都会場

(5月27日 京都アクアリーナ)

安茂 弘	65	50M・平	③	40"92
安茂 弘	65	200M・平	③	3'24"50

2007年度 日本マスターズ

水泳短水路大会(以上)

第2回コナミスポートクラブマスターズ

西日本大会

(6月3日 コナミスポートクラブ西宮)

安茂 弘	65	25M・平	②	18"74
〃	65	100M・平	①	1'30"85

ジャパンマスターズ2007

(7月13日～16日 東京辰巳国際水泳場)

ジャパンマスターズに行ってきました。

15日は台風の接近で、新幹線が止まったり、また16日は新潟県中越沖地震の影響で飛び込みプールの水があふれ出す(金魚ばち現象)等大変な参加でした。

参加人数はやく6,700名で、3,000人近くが参加した50m自由形は4時間半かかりました。(安茂 弘・昭39)

岡見晴児	70	50M・背	⑫	45"45
岡見晴児	70	100M・背	⑧	1'49"86
井上隆史	65	50M・自	31	35"33
井上隆史	65	400M・自	26	7'28"28
井上隆史	65	50M・背	⑩	42"96
井上隆史	65	100M・背	⑫	1'39"95
武政英幸	65	50M・蝶	⑫	39"20
武政英幸	65	200M・個メ	⑬	3'31"22
安茂 弘	65	50M・平	⑪	42"24
安茂 弘	65	100M・平	⑥	1'32"86
安茂 弘	65	200M・平	⑦	3'30"15
安茂 弘	65	100M・蝶	⑪	1'38"41
岩切 博	55	200M・背	⑪	3'28"15
岩切 博	55	200M・蝶	④	3'32"18
佐敷定雄	55	200M・自	③	2'35"09
佐敷定雄	55	50M・蝶	①	30"96
佐敷定雄	55	100M・蝶	①	1'11"88
小南裕明	35	50M・蝶	22	30"23
小南裕明	35	100M・蝶	⑪	1'06"31
小南裕明	35	200M・蝶	②	2'32"88

第7回兵庫県マスターズ

(8月19日 神戸ポートアイランド

スポーツセンター)

安茂 弘	65	50M・平	①	41"90
〃	65	100M・平	①	1'34"07

第15回神奈川マスターズ長水路

(9月1日～2日 横浜国際プール)

第15回大会今年も横浜国際プールで9月1日(土)2日(日)と行われました。

この大会の初期の頃は平塚のプールで開催されており、小山先輩も良く参加されておりました。平塚の駅からプールまで40分位かけて歩いて、着いたら直ぐレースでくたびれてしまったとおっしゃっていたことを思い出しました。

今回は初日は健闘すれどもメダル無し。2日目はレース運に恵まれて、メダルラッシュでした。前田さんは銀と銅、岡見さんは銀、私は金と銀でした。

私も小さな大会でも金が取れることは殆ど無いので、勝利の余韻に浸っております。今年は車でプールまで来た人が毎日おりましたので、何時もの祝勝会は取りやめ、次回のさくらマスターズは電車で行こうよと決めて解散しました。(井上 隆史・昭37)

田淵五郎	70	50M・背	⑥	42"90
岡見晴児	70	50M・背	⑦	47"75
岡見晴児	70	100M・背	⑥	1'51"99
岡見晴児	70	200M・背	②	4'22"82
井上隆史	65	400M・自	⑤	7'23"93
井上隆史	65	50M・背	⑤	43"46

井上隆史	65	100M・背	②	1'41"40
井上隆史	65	200M・個メ	①	3'42"50
前田和秀	65	100M・背	③	1'44"63
前田和秀	65	200M・背	②	3'50"33

2007 スポーツ報知マスターズ

(9月17日 大阪プール)

安茂 弘	65	50M・平	⑤	42"49
安茂 弘	65	100M・平	③	1'35"00

2007 レインボーカップマスターズ

(9月22日～24日 日本ガイシアリーナ)

安茂 弘	65	50M・平	⑨	42"53
安茂 弘	65	100M・平	⑤	1'34"91
安茂 弘	65	100M・蝶	⑤	1'44"30
手嶋忠之	60	50M・自	⑳	33"99
手嶋忠之	60	100M・自	⑦	1'17"60
手嶋忠之	60	50M・蝶	⑭	42"12
小南裕明	35	200M・蝶	①	2'33"32

第14回サクラマスターズ

(10月28日 横浜国際プール)

今回で14回目となる伝統のあるさくらマスターズに出場しました。

最近では横浜国際プールで開催されており、参加者が段々と増えております。

この大会の100M 平泳ぎの80/85の大会記録は故小山賢之助先輩が2.41.52でお

持ちです。その年代まで健康で泳げればと祈念する大会です。

凌泳スイマーが揃う今年最後の試合なので、納会を開催する予定でしたが、終了時間がバラバラでしたので全員の飲み会は11月26日の忘年会の楽しみにして、散会をしました。(前田、井上は昼飯前でしたので、遅い昼食とビールの反省会でした)

岡見さんとは永年一緒に大会に出場しておりますが、今まで見たことも無いピッチ泳法で25M バックで見事に20秒を切りました。まだまだ進化していると賞賛と驚愕の一日でした。小生も100個メで1分30秒が切れ、今年の有終の美を飾れたと満足しております。(井上 隆史・昭37)

岡見晴児	70	25M・背	③	19"83
岡見晴児	70	50M・背	②	45"70
井上隆史	65	100M・個メ	②	1'29"14
井上隆史	65	200M・個メ	②	3'34"55
前田和秀	65	25M・背	①	21"05
前田和秀	65	100M・背	②	1'43"34

第9回オールマスターズ

スイミングフェスティバル

(11月17日～18日 鈴鹿スポーツガーデン)

安茂 弘	65	25M・平	②	18"97
安茂 弘	65	50M・平	②	40"63
安茂 弘	65	100M・平	②	1'30"14
安茂 弘	65	200M・平	②	3'23"59

会員からのお便り

【凌泳会総会】

山口 宗樹(昭16)

凌泳会の活動の活躍と会員皆様のご健康を祈ります。私90歳ともなり老化進行中です。何とか元気に毎日を過ごしております。現役の皆様も頑張ってください。今後ともよろしく。

萩野 茂希(昭18)

一応元気にしています。昨今は足腰が衰え、外に出ることも少なくなりました。凌泳会の今後の発展をお祈りしています。

富中 暁(昭18)

旧制学部13回の凌泳会員は現在萩野兄、古川兄、と私の3人で、亡くなった池田、印藤、上田の諸兄を加えた6人は、1941年4月入学、43年9月末卒業、在学わずかに2年でしたが…。卒業直後の10月2日「学徒動員令」公布！

宮部 高博(昭20)

久しく六甲台のプールに顔を出すことなくもう60歳をとっくに過ぎました。人生の締めくくりの仕事に専念しています。現役諸君のご活躍も気になりますし、一方、世界水泳などでは、テレビにかじりつき状態です。もう少し働いていくつもりです。ご出席の方によりしくお伝えください。

中崎 日出男(昭24)

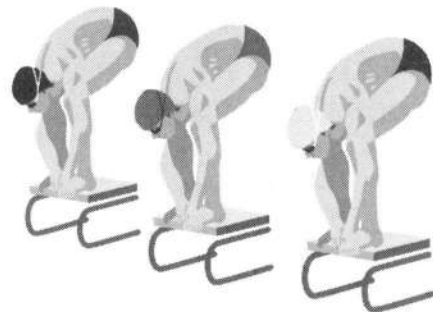
凌泳会関東支部会は6月23日サントリ一武蔵工場で工場見学を兼ねて14時より実施の予定です。小生11回の林莊八郎君と48回生の林輝男君で田淵さんをバックアップ致します。よいことに林輝男君は現在工場に勤務しております。

石井 義章(昭27)

数年で80になり昔ながら永生したのと思いますが、今のところ元気です。昨年は初めてのホールインワンをやり、まだまだいけると目下85歳でエージシュートを目指して頑張っています。

山本 幸雄(昭27)

右足腰から足首にかけての筋肉痛で1ヶ月あまり苦しみましたが、やっと痛みがとれホッとしております。年相応に体力の衰えを感じておりますが、まあ元気ですごしております。ご盛会と会員諸君のご健康をお祈りいたします。



今枝 一(昭28卒)

1930年生まれ、15歳で軍団少年に別れを告げ、30歳で独身に別れを告げ、45歳で丸ノ内生活に別れを告げ、60歳で会社人間に別れを告げ、先年75歳で普通の生活(孫の顔を見、両親を見送り、妻と海外旅行を楽しむ)にも別れを告げ、さて最後の15年は私の後丁書でも書いてみますか。皆様よろしく。

田淵 五郎(昭30)

マスターズは4月に3大会が集中して疲れました。記録はジリ貧でくじけることもあります。一方、肺気腫にもめげずに酸素ボンベを携行して泳いでいる榊原君の姿を見ると贅沢は言えず、励まされ、又練習を続けています。

橋本 力(昭30)

現役諸君の活躍を期待しています。

高橋 靖周(昭33)

今年72歳の年男になりましたが、おかげで元気にやっております。機会があれば、同期の細田、万本、阿部、岡兄の4君と一同に会したいと切望しております。総会のご盛會と凌泳会のご発展をお祈りいたします。

細田 忠雄(昭33)

“れん…不妻をなす”をなんとか断ち切るべく、フィリピンにロングステイを計画中で先日下見に行ってきました。6月には1ヶ月程度を考えています。水泳マスターズのほうはあと3年75歳区分までお

休みです。こちらの皆さんとの酒盛りを楽しんでいます。

原 謙三(昭35)

満70歳になりました。三年ほど前から神戸大学への留学生の面倒を見ております(1対1交流のボランティア活動)。この関係でよく六甲台に来ております。経済経営法学部のある辺りの樹木の大きくなったのに驚いています。元気にいたしております。

黒田 英雄(昭35)

東京の凌泳会やそのゴルフコンペにはなるべく顔を出しています。関西の皆様によろしく。

岡田 重義(昭37)

私立大学に関係した現在の仕事から7月末に離れますので、再度神戸大学とご縁ができます。永らくご無沙汰しました。が会の発展に少しでもお役に立てればと思っています。

米田 啓祐(昭37)

皆様のご健闘を祈ります。

井上 隆史(昭37)

東京の凌泳会もアクティブ会員が増えて、4月4日の凌霜ゴルフ会の保上ヶ谷C.C.の石井光次郎杯に前田和秀さんが優勝され、凌泳会の名をあげました。

藤岡 治男(昭38)

最近再々就職し、日々多忙です。

荒井 康之(昭38)

毎日の練習ご苦労様です。いよいよシーズンですが、今年も充実したシーズンを送ってください。会員諸君の今年のご健闘をお祈りしています。

丸山 卓也(昭38)

週二回はプールにて遊泳しております。ご盛会お祈りしております。

滝沢 章三(昭39)

1964年東京オリンピックでした。ちょうど大学を卒業した年です。先日東京都知事選挙があり、私も投票しました。石原氏には必ずしもOKではなかったのですが、オリンピックを再び東京でやろうと言う。43年前のことは鮮明に思い出します。できれば東京オリンピックをやりたいですね。若い人のためにも。

安茂 弘(昭39)

昨年10月に腰を痛め、3ヶ月くらい泳ぐことができずでしたが、ようやく回復してきたところです。今年は200mバタは諦めました。

武政 英幸(昭39)

隣町の坂戸水連の一員としてジュニア競技の競技役員を昨年より務めるとともに、近隣の小中学校で水泳指導を7、8月に行っています。

鈴木 正弥(昭39)

凌泳会の運営には関西在のOBの方々には、大変お世話になりいつも感謝しているものです。盛會を祈念します。

前田 和秀(昭40)

暴飲がたたり胃の調子が悪く、連休明けに検査します。異常なければと思っています。ゴルフ、水泳、マージャン、釣り、旅行に仕事と日々多忙な生活を送っております。今年の現役諸君の活躍と盛會を願っています。

手嶋 忠之(昭41)

いつも失礼ばかりで申し訳ありません。現在も仕事を続けておまして忙しくしております。週に1、2回程度のプール通いをしており、4月29日には短水路マスターズ水泳大会(愛知会場)に出場の予定でおります。皆様のご健勝をお祈りいたします。

日野 康(昭41)

マレーシア勤務となり、元気に仕事を致しております。

中畑 勝明(昭41)

仕事から離れてまもなく1年がたちます。現在はボランティアや神社、お寺の世話役などおおせつかり、元気に活動しております。

玉置 明(昭45)

こちらは元気でやっています。小生は今年還暦を迎えます。早いものですね。減益の皆様は今年も頑張ってください。

得丸 哲士(昭46)

娘家族の引越し手伝いで腰を痛めて好きな水泳ができない状態です。腰痛治療のよい情報があれば教えてください。

小林 育夫(昭46)

水泳のほうは、コナミ西宮で休日に練習していますが、近頃は本当の意味での“遊泳”になっています。

井上 与志男(昭47)

昨年12月還暦を迎えました。現役引退など考えたこともなく、いまま相変わらず元気に仕事を続けています。関西を離れてはや19年、ときどき出張などで大阪・神戸に行ったとき、その食べ物の味や、話す言葉に懐かしさと歓びを大いに感じ、いつかこちらに帰ってきて住みたい、そして甲子園球場へ足を運びたいと思います。また、神大のプールへも是非行きたいと思います。みなさまにどうぞよろしくお伝えください。

佐敷 定雄(昭49)

今年は皆様(現役組)の一段の活躍を期待しております。一橋大の関根総監督と先日飲んだとき、一橋も来年は「？」と言ってました。やっつけましょう！！出席の皆様によろしくお伝えください。

金 一波(昭56)

2007 メルボルン世界水泳に韓国ナショナルチーム(チームディレクター)として参加。韓国水泳史上初 400m 自由形でハケットを負かして金メダル、200m 自由形でもフェルプス、フォーヘンバンドを相手に3位と世界を驚かせました！信ず

れば道は必ず開く！神大も常に上を向いて、信じて努力すれば夢は叶うよ！

Dreams come true!

谷水 利行(昭59)

福岡に移って間も無く20年ですが月に1度は京都に帰っていますので、今年は六高台をのぞいてみたいと思います。

山野 和則(昭59)

体重を3キロ落としスリムになったものの、今年のマスターズは結果が出せませんでした。4月から2時間を越す通勤となり疲れているのかスタミナがなくなったのやら…。今回にこりずにまた泳ぎ続けます。

南谷 昌宏(昭60)

諸先輩方にもご無沙汰しております。皆様のご健勝をお祈り致します。

吉田 不二彦(昭60)

立ち上げから関わりました神戸情報大学院大学も完成年度を迎え、本格稼働体制です。

渡辺 久美子(昭61)

ごぶさたしております。先日、大阪の帝国ホテルでプレゼンテーションがあり、日帰り出張しました。ほんとうは一泊して水泳部の人たちを呼び出して飲みに行きたかったのですが…。残念でした！私は元気にやっております。今日はエステでリフレッシュしました。

日比 勝己(昭62)

コーチをしている水球チームがジュニアオリンピックで夏春と連続メダルを取りました。4月からは OG で新チームを作って監督をやらされています。

西和田 靖(平16)

社会人1年生頑張ってます。お互い頑張りましょう。

【月見の宴】

山口 宗樹(昭16)

私は90歳になりましたがますます元気で過ごしております。昭和16年卒ですので軍人として中国に3年、捕虜としてソ連に3年居ましたが年に数回どこかで泳ぎました。ソ連捕虜としてカスピ海から帰国の途中の30日くらい、ロシアの兵隊と一緒に数回泳いだこともあります。ボチボチ終わりですかね。旧商大皆様によろしく。

三宅 林(昭16)

この盛夏以来体力急に落ち込みました。最近歩行も困難となり困っております。ちょっと距離のあるところへは車椅子で家族の付き添いを要します。この状況のため不義理を続けております。お許し下さい。凌泳の将来についてもご意見申し上げることは出来ません。石井会長にお任せ致す外はありません。盛会をお祈り致します。

荻野 茂希(昭18)

毎日一応元気に過ごしています。一緒に六甲台で泳いだ方々が次々と他界され心寂しく思います。現役の諸君の奮闘をお祈りします。

富中 暁(昭18)

例年通り7月下旬から9月上旬まで信州の高地で暮らし快い夏でしたが、体力は大分低下しました。

湯山 正三(昭19)

いつも丁寧な案内状を戴き恐縮です。87歳の齢となり凌泳会の発展を祈るのみです。(香川県から植松(神戸大教育)がこの夏の参議院選で圧倒的多数表で民主党から参議院に当選しました。香川学友会の〇〇でした。)

北野 誠良(昭25)

平素のお世話に感謝申し上げます。

豊嶋 良宏(昭27)

いつもお世話になり有り難うございます。

石井 義章(昭27)

我々27年卒はホームカミングデーの特定年度として指定を受けているのでこちらへも出席せねばならず、更に前日は卒業55周年のクラス会があり大忙しです。何とか時間を作って月見の宴にも顔を出したいと思っております。

山本 幸雄(昭27)

6月より腰痛にかかり現在は多少痛みも取れてきましたが、一時期90度近く腰を曲げないと足腰の筋肉が痛んで歩行困難でどうなるかと心配しました。腰以外の体調はますますです。

岡澤 幹夫(昭29)

週2～3回のプール通いをしています。

田淵 五郎(昭30)

凌泳編集幹事の皆さん及び本部役員の方々の努力で「凌泳」もフレッシュになりましたね。当方マンネリの練習ではマスターズ記録も低下の一方でなかなか「再チャレンジ」とは行きません。

佐藤 一夫(昭30)

若い現役諸君のエネルギーを浴びるため対外試合の「オッカケ」で過ごした1年でした。自分でも驚くほど元気です。

堂本 直正(昭30)

足腰が萎えてきまして残念ながら欠席します。

高橋 靖周(昭33)

東京大阪には時々出掛けますが神戸へはなかなか有りません。しかし来年春は卒業50周年になるので是非母校訪問をしたいと考えております。ビジネスでも長生きでも健康第一、その健康作りは体力作りがベースだと考え、ここ8～9年、年間100km泳いでおりましたが、今年からこれに加え年間徒歩(散策)500kmを始め励行しています。只「急がず休まず」「やりすぎないように」をモットーにやっております。

岡見 晴児(昭33)

関東でもマスターズに凌泳スイマーが常時数名出ています。田淵さん始め背泳陣が元気です。来年は若手が増えそうなので楽しみです。

北村 敏(昭34)

昨年一昨年と体調不良に悩まされていましたが最近元気を取り戻しています。仕事はしていません。元勤務先のOB会の世話役をしたり同会のクラブ活動に参加したり、下手な絵を描いたり自適しています。

河村 雍彦(昭34)

皆様によろしく。またご盛会をお祈りしています。

上村 久治(昭35)

相変わらず撮影と囲碁中心の生活です。花火撮影には諏訪湖、大曲等の遠方を含め7回行きました。暑い中昼過ぎから待機し、終了後はバスで数時間かけてホテルに移動するので体力勝負ですが幸い水泳部で鍛えられたお陰で耐え切れております。盛会を祈ります。

原 謙三(昭35)

今年の夏は気のせいかわずの外暑い日が続いている様に思います。暑さに弱い私にとってはうんざりの毎日ですが、今のところ何とか元気に過ごしております。卒業して早45年、年月の移ろいの早いのを実感しております。今年6~7月、国際協力科の公開講座を受講。その節プールを見てきました。

野田 浩志(昭36)

来シーズンに向けて戦力作りに取り組んで下さい。

岡田 重義(昭37)

大学の立ち上げを済ませ、この春から非常勤になる予定でしたが附属幼稚園に問題が発生したので常勤ではありませんが当分の間幼稚園の運営に当たります。ひ弱な若者が目立つ中、将来の日本をリードする心身を鍛えるため教室や研究室だけでなくプールで過ごす時間を減らさないように。

井上 隆史(昭37)

卒業45年を迎え、ホームカミングデーの当日全学部の合同パーティーがありません。久しぶりに月見の宴にも出席出来ません。楽しみにしております。

山田 貴彦(昭37)

今年5月に心筋梗塞で倒れてから医師より水泳を止められており、とても残念です。皆様のご健康と現役諸君のご活躍をお祈りしています。

竹本 忠彬(昭37)

小学生相手のボランティア活動をやっています。残念ながら当日参加出来ません。ご出席の皆様によろしくお伝え下さい。

丸山 卓也(昭38)

皆様ごぶさにしています。私の方は週4日は区立の温水プールにて50Mインターバルを最低5本は引っ張っています。といってもタイムは取りませんしマイペースのインターバルですから気楽なものです。しかしインターバルをしているといつも六甲・冷水プールが頭の中によみがえります。皆様のご健闘を祈っています。

林 莊八郎(昭38)

盛会祈ります。各大会の戦績が報告メールのお陰で遠方に在住しているにも拘わらず良く分かるようになりました。関係者のご努力に感謝します。

荒井 康之(昭38)

現役の皆様、シーズンが終わりホッと一息の所だと思います。高校の先輩でもあります永野一彦先輩がお亡くなりになり残念です。皆様もお身体にはくれぐれもご留意下さいませよう。

鈴木 正弥(昭39)

遠路のため今年も欠席します。水泳部の活動状況はメールで常時知らされるので、OBになってからも水泳部とのつながりは密接で大変結構なことと喜んでいます。最近は大極拳を毎日1~2時間森の中で楽しんでいます。激しくないのが健康維持には最適のようです。

武政 英幸(昭39)

月見の宴にはごぶさたばかりです。今夏は近隣の小中学校で水泳指導のボランティアを行いました。

前田 和秀(昭40)

ゴルフ・酒・麻雀・旅行に仕事と多忙な生活を送っています。

手嶋 忠之(昭41)

ご無沙汰ばかりで申し訳ありません。現在も大学で仕事しております。今年も名古屋で開かれます「レインボーカップマスターズ」に参加致します。安茂さん(昭39)、佐敷さん(昭49)に会えるのを楽しみにしております。

中畑 勝明(昭41)

今年の夏は例年にない暑さで、たまたまプール通いを再開しました。週1回ペースで1000~1500Mをのんびりと泳いでいます。月見の宴のご盛会をお祈りします。

阿部 洋三(昭42)

今年は父が2月に倒れ、4月4日に死亡と大変な年になりました。練習不足でJapan Mastersもパスしました。来年に向けて練習方法を検討しています。

宮部 高博(昭42)

私ももう64歳になってしまいました。もう少し仕事は続けようと思っています。ご出席の皆様によくお伝え下さい。

玉置 明(昭45)

現在はメタルワン/三菱商事の関連会社に出向しています。元気でやっています。凌泳会行事には出来るだけ出席するつもりでいます。

得丸 哲士(昭46)

還暦を迎へ、記念に3000米に挑戦したら1時間(正式には59分)もかかってしまいました。腰痛と闘いながら泳ぐのはやはり辛いですネ!

小林 育夫(昭46)

現役の皆様のご活躍、配信されているメールで拝見しています。来年も頑張ってください。団塊の世代の我々も還暦近くになりましたが、今後も休みの日には水泳をつづけていきたいと思っています。

井上 与志男(昭47)

関東へ転勤して今年で20年となり、その間六甲台のプールへ足を運んだことがありません。「月見の宴」が今年もあのプールサイドで開かれるのがとても懐かしく、出席したいのは山々ですが仕事の有る身ですから残念ですが欠席します。ご出席の皆様にはどうぞよろしくお伝え下さい。小生は水泳のお陰で未だに元気はつつに頑張っています。

藤井 元洋(昭48)

六甲台の緑のプールで泳いでいたことは夢のようだ。教員を28年間やっていたことも夢のようだ。今高知でこんな暮らしをしていることも夢のようだ。今度は四万十楽舎に応援に行くことになった。私の好きな仕事だ。楽しみだ。皆さんも遊びに来て下さい。

佐敷 定雄(昭49)

今年は「はしか」の蔓延で試合・練習の日程が大幅に狂いましたね。全国国公立の幹事校として真剣に裏方に徹していた諸君に感動しました。来年は良いことが舞い込んでくるよ。きっと。今シーズンはご苦労様でした。

木下 修一(昭53)

健康のためにジョギングは続けておりますが泳ぐことは殆どありません。子ども3人はスイミングに通っています。長男(11歳)はやっとバタフライで25M泳げるようになり、本人の自信になっているようです。

大林 良和(昭55、昭53と同期)

9/29は「認知症」に関する研究会と神戸市全区正副会長会のため出席出来ません。ご盛会となるようお祈り致します。

桑元(旧姓清水)万里(昭55)

中高年の健康作りや特定高齢者の介護予防の運動指導などをやっています。現役時代10年間水に親しんだ経験が水中運動の指導に役立っています。70歳を超えてから初めてプールに入られた人達の楽しそうな笑顔がとても励みになっています。

慈幸 弘樹(昭55)

ご出席の皆さんによりしくお伝え下さい。50歳超えて体力の衰えを感じます。この10年で50M平泳ぎ3秒タイムが落ちて38秒台がやっとなです。筋肉が脂肪になったのでしょうか。

中尾 稔(昭55)

今春異動となり初めての首都圏勤務を楽しんでいます。当日は仕事の都合で出席出来ません。ご盛會を祈念しています。

土井 祐二(昭55)、紀子(昭57)

29日には末っ子の体育祭なので欠席します。泳ぐことの大切さを今頃痛感しています。膝への負担が少なくリハビリ感覚で泳いでいます。ご出席の皆様によりしくお伝え下さい。

上田 剛弘(昭56)

ご無沙汰しております。今年の市大戦が思いもしないことから中止となったのは大変残念でした。私が現役の時も六甲台プールの水がプール病に感染したとのことで三商大戦が流れかけましたが9月に何とか開催にこぎ着けたことを思い出しました。今年の月見の宴ですが毎週土曜に酒井正人先輩(昭53卒)主催のフレンズクラブの水泳教室がありますので終わってからの参加となります。

山本 隆(昭56)

今年1月に異動しました。神戸ハーバーランドで仕事をしています。

金 一波(昭58)

本年は3月にオーストラリア、メルボルンで世界水泳、8月のジャパンナショナルチームの韓国合宿、千葉の世界水泳とビッグイベントが重なり神大水泳部をあまり視ることが出来ず申し訳なく思っています。来年は北京でオリンピックです。神大水泳部も夢を持って日々精進して下さい。

杉野 誓(昭58)

この夏に転職しました。大阪にて仕事をしています。

呉竹 正人(昭59)

東京転勤に伴い家族で転居しました。

吉田 不二彦(昭60)

酒井正人先輩(現在は北京在住)主催の「フレンズクラブ」でボランティアの水泳指導をした後に参加します。

渡辺(旧姓太田)久美子(昭61)

今年は夏休みにパラオに行ってきました。とてもきれいな海で、ウミガメやナポレオンフィッシュやコバンザメと一緒に泳ぎ(潜り)ました。日焼けで背中や腕がかゆいです！今は'08年3月1日日本公開の映画「ライラの冒険 黄金の羅針盤」の仕事をしています。

日々 勝己(昭62)

当日は僕がコーチをしている水球クラブの選手を連れて行きますのでよろしくお願ひします。水球OB戦に混ぜて頂けると幸いです。

三好 岳(昭62)

当日は子どもの運動会のため出席出来ません。申し訳ありません。ご盛会をお祈り申し上げます。

加地 恵(昭63)

現役の皆さんのご活躍の様子をMLにて楽しみに拝見させて頂いております。長女が1歳になりました。忙しいながらも日々の変化を楽しんでいます。まだまだ遠出は出来ませんが京都にお越しの際はお声がけ下さい。ご盛会をお祈り致します。

近藤 直明 えり(昭63)

息子の小学校の水泳検定に備えて特訓を試みましたがどうしてもブレを合格させることが出来ず苦勞しています。

奥村 直樹(平元)

現役の皆さんお疲れ様でした。当日は所用があり伺うことが出来ません。盛会をお祈り申し上げます。最近よく泳いでいます。マスターズにでも出ようかな?と思っています。

甲野 賢(平元)

凌泳会、水泳部共にご無沙汰しております。今年の月見の宴は久しぶりに出席させていただきます。

小南(旧姓寺井)美穂子(平7)

8月末に第2子を出産しました。しばらくは家に籠もって子育て三昧の日々になりそうです。当日は参加出来ず申し訳ありませんが、ご盛会をお祈りしております。

恵美 裕(平9)

現在、スウェーデンにて留学中です。今年10月頃に帰国予定ですのでまたよろしく願います。 内

成田 康修(平11)

気合いを入れて練習し、インカレ出場を目指して下さい。

岡部 達也(平12)

現在大阪市立高等学校で水泳部の指導をしています。なかなか皆さんにお会い出来ませんがお元気ですか?

西和田 靖(平17)

本人は9月14日まで入社研修中でまだ配属先が決定しておりません。勤務先が決定したらご連絡すると思います。
(母)

河原 あや(平17)

先日全国実業団体会に出場しましたが体力の衰えは早いなあと身をもって実感しました。でも久々の緊張感はなかなか良いものですね。今後の神戸大学水泳部のご活躍をお祈りしています。

石田 達朗(平18)

アメリカメイン州にある大学に留学しています。

インターネットを活用しましょう!

■凌泳会メーリングリストのお申込

<http://groups.yahoo.co.jp/group/ryoei-kai/>
Yahoo!等で「凌泳会」で検索してください。

■OB・OG掲示板

<http://6119.teacup.com/kobeswim/bbs>
Yahoo!等で「神戸大学 水泳部」で検索してください。
神戸大学水泳部 Web サイトの中にあります。

【卒部の辞】

加藤 亮二 海事・Fly

この原稿を書いているのは卒業を間近に控えた3月の下旬なのですが、時間が経つのは早いものでこの前ラストシーズンが終わったと思っていたらもう今シーズンのレースが本格的に始まってきています。そして自分はとうとう神大水泳部 OB になった事はいまだに信じられません。

今はすごくさみしい気持ちでいっぱいです。みんな言ってると思いますが僕もそうで、僕の大学生活は神大水泳部なしには語れません。

もう水泳をやめてちょうど半年になります。自分がいろんな意味で塩素くさくなくなってきたことがさみしいです。幼稚園の頃からついこの前までずっと水泳をやっていたので、塩素くさい体が僕の本来の体やと思ってました。戻れるのならまたもう一度おもいっきり水泳をしたいです。趣味程度で泳ぐことはできても、もう現役時代のように全てをつぎ込んで水泳に打ち込むことはもうできません。

今は後輩の泳ぎを見るために、できる限り時間をつくってプールに足を運ぶようにしています。朝練に行くために早起きして、あくびしながらチャリンコこいで、更衣室に入ってジャージに着替えてプールサイドに入ったら、あの塩素の混じったむっとした空気が僕を包みます。主任からのメニュー

説明があつて、選手たちがマネの「よーいゴッ」の声と同時に水の中に飛び込んでいくのを見ているとほっとするし、ゾクゾクします。そのたびにやっぱり自分のいるべき場所はここなんやな〜と実感します。

なので自分が塩素くさくなくなっていくのがなにか嫌です。これから長い人生を送っていく中で、もっとつらいことはあるんでしょうが、あのときのように心拍数を限界まであげて肉体的にも精神的にも自分を追い込んでいくようなことはもうずっとないと思います。

最後の一年間は、ほんまに人生をかけて望ませてもらいました。目標は100Flyでインカレ突破。そのためにやれることはとんとんやろうと決めました。

まず3年生の12月から近くのスイミングスクールの選手コースに入れてもらって部活の朝練とは別に夕方練習をするようにしました。自分よりも速い選手もいる。練習もいままでも自分のまわるサークルよりも数段階速いサークルでまわられる。そのときは気付かなかったけど体にはすごい疲れたまっていたみたいで、月一回必ず風邪をひいていました。

またお金と時間を贅沢に使うようにしました。一人暮らしだったのでご飯は自分で作ったのですが、食にも気を遣い安く済ませようとせずに贅沢に買い物をするようにし

ました。バイトもやる時間がなくなったのでやめました。

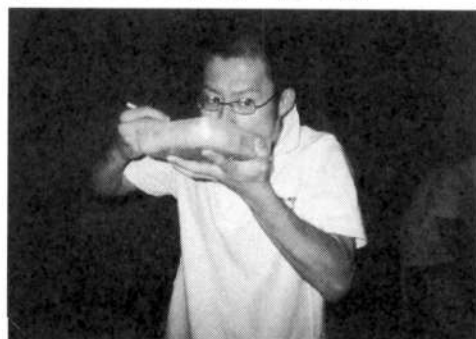
そのおかげで徐々にですが練習には強くなっていきました。サークルは格段に速いサークルで回れるようになりました。練習が終わってから1時間はストレッチと陸トレを行うようにしていたことも効いて、体は誰の目にも変化がわかるぐらい変わっていきました。

それなのに本格的にシーズンに入ってレースが始まるようになったころ、なかなか結果が出なくて真剣にあせりました。結局ずっとタイムの出ないレースがその後も続いて、関西国公立の一週間前までだったらと時間が過ぎていきました。

関西国公立の一週間前に京都で短水路の試合がありました。そこで100Flyを泳いだらベストプラス4秒ぐらいのタイムでした。冬の練習を考えたら確実にベストは出るはずなのにこのタイム。このあと200Flyが残ってましたが、主任に言って棄権させてもらいました。冬場あれだけやったのに、という気持ちもあったのでこのときはほんまに水泳をやめようかと思いました。精神的にもけっこうやられていたのかもしれない。主任にもう水泳をやめたいと伝えたら、今の水泳部には俺が必要なんやって涙ながらに言ってくれました。このときの主任の言葉でさあ頑張ろうと気持ちが変わることはなかったですが、それ以来こいつのことは心から信用するようになりました。一週間後

に関西国公立を控えてましたが、主任をはじめとした幹部の勧めでその二日前まで練習を休みました。

関カレでも結果は出ませんでした。100Flyでベストプラス1秒。200Flyで1秒だけベスト。200Flyでベスト出たからよかったやんという声もありましたが、僕は今の自分はベストが出て当然だと春ごろからずっと思っていたので悔しかったです。



そんな中迎えた全国国公立は神大水泳部のホームである神戸でありました。1日目、結果は200Flyで3秒ベストでした。泳ぎ終わった時それほどしんどくなくて、これはひょっとしたら明日のレースもいけるんじゃないかと思い、気持ちも盛り上がってきました。そのレースが終わって水から上がってきたときにプールサイドで水泳部のメンバーがめっちゃ喜んでるのを見て、ずっと自分のことを気にしてくれてたんやと思ひほんまにうれしかったです。

二日目100Fly。大学水泳生活のラストシーズン、ずっとこのレースの為にここまでやってきたようなものでした。うまくいけば決勝もいけた、といったら言い過ぎかもし

れませんがこれはいけるんじゃないか、と思いました。でもレースを終えると2年前僕が2年生のときに出したタイムと100分の1秒まで同タイムでした。やっと全部終わったと思ってほっとして、俺の水泳人生はこんなしょもない形で終わるんやなと思って情けなくなりました。そのあと同期の友彦が400Frで見事ベスト、そして決勝進出をしてました。

レースが終わってから控え場所に戻った地元神戸開催ということもあってOBさん方がたくさん来て下さっていました。そのなかの自分と年齢の近いK先輩の所に行って結果報告しました。そしたら「ようがんばった」と言って肩をポンとたたかれました。その瞬間めっちゃ涙が出てきました。みんなに見られるのが嫌やと思って、走って会場の門出て思いっきり泣きました。ここまであほみたいに金かけて時間かけて体力つかって人生かけてやってきたのはなんやったんやろうと思うと悔しくてたまらなかったです。

その試合後の飲み会で同期の友彦にもうこれで俺の水泳人生は終わりやわと言ったら、絶対にここで終わるなと言ってきました。レース後こいつの話を聞くまでは完全にあきらめきってましたが、話を聞き終わったらもう一回やらなあかんと考えが変わりました。

その2週間後に近畿国立が和歌山の秋葉山プールでありました。全国公で全部出

し切って終わるつもりやったので、このレースに照準を合わせるつもりは当初全くありませんでした。でももうやるしかなかったのもう一度テーパーをしっかりと行って望みました。全国国公立までは自分はレース前でもしっかりと泳いだ方がいいと思ってたのでレース前でも頑張って泳いでましたが、本間先生や水泳部のメンバーのすすめでこの時のテーパーではほとんど泳がないようにしました。

1日目100Flyはまたまたベストタイ。でもこのときはあまり落ちこまなかったです。それくらいリラックスできていて、心にも余裕があったのだと思います。

2日目200Fly、もうやるしかないと思いました。隣に京都大学の1年生で自分よりもベストが5秒ぐらい速いやつがいましたが、こいつに勝てば表彰台にのぼれるという状況でした。レースがスタートして50mまではその選手には負けてましたが、100mではほぼ同着でそこから引き離して勝ってゴールタッチ。タッチした瞬間タイムは絶対出たと感じたので、電光掲示板を見るよりも前に観客席の仲間に向かってガッツポーズしました。結果はベストを2秒更新、しかも三位入賞で表彰台。もうめっちゃめっちゃ気持ちよかったです。それまで大学入って表彰台にのったことがなかったこともあってよけいにうれしかったです。

以上が大学水泳生活最後の一年間での僕の経験です。長々と書きましたが、結局

ぼくが後輩に伝えたいのは、簡単に速くならうとするなということです。スポーツを真剣にするためには、真剣にしようと思えばするほどお金もかかるし時間も使うし体力も使います。それに加えて神大水泳部はかなり本気の部活なので生活が水泳一色になるかもしれないし、ひょっとしたら遊ぶ時間も少なくなるかもしれません。水泳部で経験したことが将来すぐに役立つかはわかりません。でも長い目でみて、何十年か経ったときに絶対「ああ、大学で思いっきり水泳しててよかったなあ」と思うようになります。その気持ちは現役の時に真剣にやっていたらやっている分だけ強くなります。どうか水泳と真正面から向き合って、こつこ

つ練習し、速くなってください。

神大水泳部に入って最後まであきらめずに続けることができて、本当によかったです。

最後になりましたが、今まで僕たちの水泳生活を支えてくださった凌泳会の OB・OG 諸先輩方々、金一波監督、柳田泰義先生、本当にありがとうございました。そして忙しい中時間をさいて毎日練習、試合に足を運んで御指導していただいた本間正信先生、先生にはいくら感謝をしても尽くせません。ありがとうございました。そして最高の水泳生活を一緒に過ごしてくれた神大水泳部のみんな、ありがとう！

宮崎 仁志 経済・Polo

いよいよ4年間お疲れ様でしたと身に余る言葉を言われることになり、1回生からの自分を振り返ることが多くなります。

思い起こせば1回生の時に比べると六甲台プールの水が大分、おいしくいただけるようになりました。時々、緑色に濁っても「うんうん、抹茶抹茶。」と思えましたし、落ち葉が浮かびまくっても「うんうん、ハーブティーハーブティー。」と思い込みましたし、沢山の蟻が浮かんでいても「うんうん、キャビアキャビア。」と論破しました。さすが六甲のおいしい水。蟻も自然比1.5倍に育

つはずです。

このように様々な状況を楽しむという域に達することができたのは、水泳部というチームにいたからだと思います。もっと言えば私自身の力というよりは周りの力が大きかったでしょう。

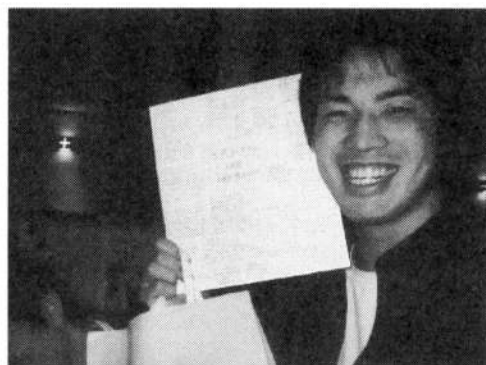
例えば試合開始の合図を間違えてフライングした上に、審判にも「俺のジャッジに文句があるのか。」という間違った認識をされた私をフォローしてくれたことや、特に主任を任された年は特に面白みも趣もない練習に文句を言いながらついてきてくれた

こと、たどたどしいミーティングを聞いてくれたことなど挙げれば古今東西ピンからキリがないほど先輩から果ては後輩にまでお世話になったと私、自信から確信に変わっております。こんなこと言うと当の本人達から「お前のためじゃねえ！」とブーイングをくらうでしょうが、この気持ちはプライスレス。お金で買えない価値がある。今では、努力というのは使い古された言葉のようになっていますが、私みたいな凡才はそれにすがるしかありませんでした。主任としての力を求め、またインカレに行こうとして、もがきながら4年間を泳いできたと思います。そんな私を哀れに思ったのか、仕方がないと思ったのか知りませんが、周りの仲間を支えてもらったおかげで、浮き沈みしながらも今こうして地に足つけて立っていられるのです。プライスレス。

私は良い仲間にも恵まれた4年間に感謝しています。また主任をやらせていただき

たおかげで、身体は元から大きかったのですが、器の方も心ばかり大きくなったと言えそうです。

色々ご迷惑をおかけしてきた私ですが、これでもう卒部ですので後輩の皆さんは安心して練習に取り組んで下さい。そしてOB・OGの方々におかれましては、この4年間に厳しくも温かいご指導をいただき誠にありがとうございます。最後に同回の皆さん、卒部おめでとう！後は私自身がこの文章を見る時に卒業できていることを祈るばかりです。



中村 友彦 法・Fr

つい先日、篠山口で行われた現役生の合宿にマネージャーとして参加してきました。セントラルは家から2分程なので頻繁に顔を出すよと言っておきながらもなかなか参加しない日々が続き、久しぶりに水泳漬けの時間を過ごしました。

私が現役だったら練習の途中、もしくは

入水前から萎えていたんじゃないかと思われるメニューに果敢に挑戦していく現役生の姿が本当に眩しく、輝いて見えました。というのも水泳部を引退してからの私にはなかなか熱くなれるものがなく、彼らのように何かひとつのことに一生懸命になるということがなかったからです。



Photo 中村(左)・加藤亮二(右)

そう思うと私の大学生生活4年間は本当に部活一色だったんだなと改めて感じました。(水泳ではなく部活です)水泳というのは個人競技ですから一人でもスポーツクラブにいけばできますし、事実高校までは部というものには所属せずそのようにして続けてきました。しかし人生で初めて所属し、大学生生活のほとんどの時間をすごした部というところでは、水泳はもちろんですが水泳以外の多くの体験をし、いろいろな人に会いました。今までしてこなかったような強度の高い練習や頭をつかうことで選手として大きく成長しましたが、それ以上に部を通じて参加した行事や出会ったあらゆる人たちとの時間が私を知らない世界へと連れていってくれ、人として成長するきっかけをあたえてくれたように思います。水泳部ですごしたすべての時間が本当に私にはかけがえのないものです。おかげさかもしれません。初めて仲間や居場所というものを得たのではないかと思います。水泳部史上練

習が一番嫌いであるだろう私が4年間続けてこられたのもそんな理由からでしょう。私という人間を理解してくれて、うまく引っ張ってくれたり付いてきてくれたりした先輩や後輩にはとても感謝しています。引退してからたまに練習に顔を出しても昔と変わらずに迎えてくれるみんなが大好きです。また、思い出つくり委員や友彦杯、企画部といった様々な言ってみれば子供じみたことを沢山やってきましたが、みなさん嫌な顔ひとつせずのってくれて本気で楽しんでくれましたね。いつかきつとまたおもしろ行事を企画するのでぜひ参加してください！そして監督や先生方、OB・OGの方にも練習や試合のたびに声をかけていただいたりと、私に力をくださったこととても感謝しています。入部して、そして無事に卒部できて本当に感動です。ありがとうございました。

と、部活動全体のよさや思い出を簡単に書いたわけですが、最後に現役生にアドバイスをしたいと思います。

このように部を通じていろんな活動をしてきましたが、私たちは水泳という競技をしているのですからなにかしらの結果を残さなくてはなりません。それはもちろん一番は自分のためでしょう。しかし仲間やOBさんなど、結果を残したら自分のことのように一緒に喜んでくれる人がたくさんいます。その人たちに応えなくてはならないとプレッシャーをかけるつもりはありません。ただ、

そんな人たちが自分の後ろで支えてくれて
いると思えば召集所からスタート台にむか
うとき、そして泳いでいるときでさえも自分
を見失わず精一杯力を出すことができるは
ずです。怖くて、そして緊張で眠れない夜
ももしかしたらリラックスしてぐっすり眠れる
かもしれません。そんな気持ちでレースに
のぞんでみてはどうでしょうか。

あの、レース前の日常では決して味
わえない心地よい緊張感と高められて
いく集中力。

スタート直前の静けさ。

泳いでいるときの真っ青な世界。

ゴールしたときの出しきったという身体
のほどよい疲労感、そして何より達成感。

生きてるって実感せずにはいられませ
ん。

これらの瞬間は私にはもう訪れることは
ないでしょうが、みなさんにはこれからまだ
まだ待っています。こんな幸せな時間を大
切にしてください。速い遅い関係なく、皆さ
ん一人一人が主役です。みなさんが満足
し、笑ってこの水泳部を去っていくことを願
ってやみません。(うまく伝わったかわかりま
せんが、まあええんちゃうん。三宮の漫画
喫茶にて

浦谷 まさし 工・IM

8月の発達科学部プールに突然現れて
入部したことを知るのはもう同回生だけ
になってしまいました。「正直、あんな時期に
ひょっこり入部した奴が最後まで続ける
とは思わなかった。」というコメントを最近
いただきました。遅れてきたことを感じさせ
ないくらい受け入れてくれた水泳部に感謝
しています。

入学してから4ヶ月、ただ授業に出て帰
ってくるだけの張りのない生活を送って
いて、しんどくはないけどつまらないと感
じていました。水泳のある生活は張りがあ
りました。十分に。7時30分からの練習
のために

大阪を出発するときには当然空は真っ暗
です。「留年率3割と言われる機械工学科
でこんな生活を続けていたらマジで留年
してしまうぞ。」と思うことが何度もあ
りました。でも、やっぱりやめられない
ですね。結果はタイムとしてはっきりと
表れる厳しいけど分かりやすい競技
です。人間苦しいことなんて誰でも嫌
なはずなのに、不思議とみんな倒れ
そうになるぐらい全力で泳いでしま
います。がんばらなければ楽になれる
ことは分かっているけれど泳ぎだすと
「やるしかない！」と思ってしまう
ます。水泳はそんな競技でした。

本間先生の言葉を借りると、大学を卒業すれば「バカみたいに泳ぐ」ことはもうありません。一年に一回は顔出してバカみたいに泳いでいたころを懐かしもうと考えています。勝手ですけど、顔出すことがお世話になった水泳部への恩返しになると考えています。あと、会費を払うことも大事な恩返しですよ、同回の皆さん。話が下手なだけです、常に短い挨拶を心がける浦谷はこの辺で卒部の辞を終わらせていただきま

す。神戸大学水泳部の人たちが今後もバカみたいに泳ぐことを期待しています。

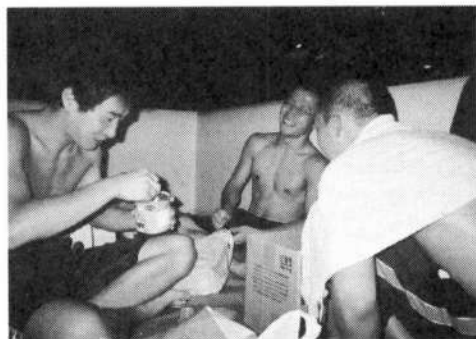


Photo 浦谷(左)・加藤亮二(中央)

柳瀬 美郁 海事・Polo

毎年、先輩方が追いコンで言っていたように4年間は本当にあつという間に終わってしまいました。それだけ充実していたということだと思います。

4年前、私が水球を始めたころは、関西の大学で水球をしている女子は少なく、他校の人やOBさんに「何で水球しようと思ったの？」とよく聞かれました。そんなに深い理由はなかったけれど、ずっと水球を試みたいと思っていたし、中学、高校と運動部に入っていたものの、いまいち一生懸命になれず、不完全燃焼だったような気がして、部活ができる最後の機会である大学では、一生懸命に何かをしてみたい、と思ったからです。神大も当時は女子のプレイヤーがおらず、男子が主体の練習についていけないことも多くて、正直しんどかつ

たこともたくさんありました。男子にしても、女子が相手ではレベルが低くて練習にならなかったこともあったと思います。それでもいつも一緒に練習をしてくれ、アドバイスしてくれたり励ましてくれたり、本当に良い意味で、女子だとは思わずに接してくれました。もちろんプレイヤーだけではなく、いつも一緒だったマネージャーも私の心の中で大きな支えでした。チーム競技が初めてだった私にとって、チームがひとつになって怒ったり、笑ったり、泣いたりすることがすごく新鮮でした。一人で感じるのとは比べ物にならないくらい大きな感動を経験することができました。最後まで部活をやり通せたのは、そんなふうに先輩方や同回生、後輩達が頼りない私を支えてきてくれたからです。本当に感謝しています。

4年間部活をして、「チャレンジする」ということ、「諦めない」ということの大切さを深く感じました。どうせ失敗するにしても何もせずに失敗すると後悔が残るだけです。チャレンジして失敗した方が絶対にその後につながっていくと思います。これから自分がどんな道を歩んでいくかはまだ分からないけれど、何をしていくにしても、この4年間で得た大切な友達と貴重な経験をずっと大事にしていきたいと思います。



Photo 畠山(左)・宮崎(中央)・柳瀬(右)

畠山 早紀 文・Polo

初めて水球を見たとき、こんなスポーツがあるのかと衝撃を受けました。

あれから4年が経ち、今こうして卒部の辞を書いていることが、とても不思議な感じがします。

入部から卒部まで、本当に様々なことを経験させてもらいました。

1回生のとき、高専と引き分け4位でインカレに行けないという悔しさと、また4回生の先輩方が引退されるというさみしさと泣いてしまったこと。

2回生のとき、初めてインカレに連れて行ってもらい、がちがちに緊張している選手のみみんなを見て自分も緊張してしまったこと。また、日体の水球を観て感動したこと。

3回生のとき、2度目のインカレで阪大に

負けそうになり、試合中に号泣してしまったこと。それでも、逆転し勝ったときとてもうれしかったこと。

4回生のとき、先輩方が引退されて戦力的にも人数的にも厳しい状態でシーズンを戦ったこと。最後の年にインカレに行けなくて悔しかったこと。

これらのことがまるで昨日のこのように思い出されます。

また、初めて水球を見たときとても速いと思っていたシュートも実は大したことがないと感じるようになったり、下手なりに審判として笛が吹けるようになったり、どこの動きが悪いかわかるようになったり、自分自身でもこの4年間で少しは成長できたかなと思っています。

辞めたいと思うこともあったけど辞めてし

まえば、負けたときの悔しさも勝ったときの喜びも、また自分自身の成長も感じられないままだったと思うと、途中で辞めずに続けられて本当に良かったと思っています。

また、すぐくわがままで生意気なマネージャーだった私を受け入れてくれた先輩方、後輩の子たち、そしてなにより同回の子たちに感謝しています。

周りの人たちに恵まれたからこそ、私は部活を続けられたと思います。

本当にありがとうございました。

もうマネージャーとしてチームを支えてい

くことはできないですが、陰ながら神大チームを応援しているのでがんばって下さい。



Photo 田染(左)・穂山(中央)・畠山(右)

田染 茉莉子 工・Br

水泳部に入って早4年。今まで水泳を続けてきて今こうして卒部の辞を書かせていただいていることに諸先輩方、後輩たちにほんとうに感謝の気持ちでいっぱいです。

ところで私はよく「なぜ水泳部に入ったのか。」という質問をされます。ほんとうによく。入部した理由はただ水泳に興味があったからです。私の中で水泳は未知のスポーツで、体育会部活動の厳しさを全く知らなかったというのも理由でしょう。私は大学に入学した勢いで水泳部にも入部していました。しかし、水泳経験はほぼなく、水泳にさほど執着がなかった私が一時期神戸大学で女子一人という状態になりながらも4年間泳ぎ続けていることは自分でも不思議に

思えます。私はその質問をされる度にちゃんとした応えをすることなく毎回違った応えをしていました。(別に適当に応えているわけではありません。)自分でもよくわかっていないからです。今までこのようにひとつのことに打ち込んだことがなかったからとか、水泳が思った以上に奥深く、魅力的なスポーツであったことはもちろん私が水泳部に居続けたひとつの理由ではあります。でも4年間その質問をされ続け、今思うことがあります。それはたとえ私が水泳を嫌になることがあってもそのつど支えてくれた水泳部の仲間がいたからです。なぜ続けられたかとういよりは、やめる必要がなかったからといった方が正しいように思います。“こう

だから”という明確なひとつの理由ではなく、1回生のときから、なんとなく水泳をやってみたくて水泳部にやってきて、きてみるとなんとなく居心地がよくて、水泳をやってみるとわりとやりがいを感じて、、、というようになことが今まで重なり、それはいつの間にか水泳部での辛かったりきつかったりすることよりも大きなものになっていてこれまで続けてこれたんだと思います。



Photo 末森(左)・山中(中央)・田染(右)

さらっと書きましたが、その積み重なりはそれはそれは濃い4年間となりました。もちろん辛かったこともあり、楽しかったのひとことでは表せないし、ひとつひとつの思い出を挙げるところでは書ききれないので省略しますが、試合の時、飲み会の席での思い出は自分が”〇秒出せた”ということよりも、”〇秒だして、先輩にこう言われた”ということや、お酒の席でわいわい騒ぐ中、まじめに語った一面など部員との関わり合いの中でもらった言葉がほとんどです。人との関わりで辛いことも楽になったり、もっと

頑張れたり、普段の生活ではなかなか経験できないことが部活動には詰まっています。1日1日のなにげない行動や会話が今後の自分に繋がっているということを心に置いて現部員はこれからの部活動に励んでほしいと思います。

最後に、さっきは入部のきっかけがよくわからないといいましたが、きっかけとって思い浮かぶ事柄があります。私が入部前始めて水泳部に見学に行った日のことですが、今でも鮮明に覚えています。朝練のため早朝に集まり、黙々と泳いで、みんなで朝ごはんとも昼ごはんともいえないブランチを食べて解散していくという姿はどこか新鮮で、だらだらしてるわけではないのだけれど、終始この集団独特のゆったりとした空気が流れていて、その場で、入部しよ！！と決めました。どこに惹かれたのかは結局不明ですが、ただ居心地のよさそうな空気を感じました。一緒に行った友達は「変わってる部活だね～」って冷やかに言っていましたが、たぶんそんな(私みたいな)人たちが集まっているんだと思います。私はそういうのってすごく大事だと思います。言葉では表せない居心地のよさや同じような空気を持った人との関わり。そんな(?)水泳部のみんなの活躍にこれからも期待しています。



Photo 加藤宏俊(左)、加藤亮二(中央)、加藤優(右).

気がつけばもう卒部の辞を書かなければいけない時期になってしまったのかと、月日が過ぎる早さを強く感じています。毎日朝から、夕方から泳いでいた自分が非常に懐かしく、羨ましくも感じます。

神戸大学水泳部での4年間は、僕の大学生活の中で多くの時間を占めており、それによって得たものはたくさんあります。共に喜びを、苦しみを、悲しみを分かち合った仲間、自分で考え実行することの重要性、先輩や後輩との関係から学ぶ人間関係、言い出せばいくつも挙げられます。それらす

べてが大切な思い出であり、また、僕自身を大きくしてくれたと思います。神戸大学水泳部ありがとう。

現役時代強く感じたことをいくつか書いていこうと思います。

まずは、共に泳ぐ仲間、ライバルは大切だということです。水泳とは個人競技である、と考えがちですがそんなことはありません。共に泳ぐ仲間、ライバルがいるからこそより速く、より強くなれます。僕が、多少なりとも速くなれたことは、そのことが大きくかかわっていると思います。また、仲間は自分の

心が弱っているときには大きな支えとなってくれます。水泳部に入ってから何度か続けることを諦め、やめてしまおうかと思ったときがありました。そんな時部活をやめないでおこう、続けようと思えたのは、仲間からの励ましなどの言葉があったからでした。

次に、考えて泳ぐことの大切さです。「なぜこの練習をしているのか」や「どのように泳いだら速くなるのか」を常に考えることです。これらを考えながら泳ぐだけで練習の効果は何倍にもなっていくと思います。また、考えたことを同じ種目の選手や、主任などと話し合い、議論することも大切です。これを行うことにより、大きく成長する

でしょう。

最後に、打ち上げ、飲み会は大切です。楽しく過ごせるようになりましょう。

皆さんも感じることはさまざまだろうし、たくさんあると思います。感じたことを大切にしている水泳部生活を精一杯送ってください。

あっ、もし飲みたいときがあればいつでも誘ってください。嫌というほど飲みましょう。

最後になりましたが、水泳部を支えてくださったOB,OGの皆様、柳田先生、本間先生、金監督、先輩方、後輩の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

畠山 秀一 済・Polo

先輩方の書かれていた卒部の辞について自分が書く年になりました。いざペンをとってみると、自分が本当に水泳部から離れていくのだということがいまさらながら実感されて、感慨深いと同時に少々寂しくもあります。

いま水泳部で過ごした4年間を振り返ってみて第一に感じるのは、周りの人々への感謝の気持ちです。ここでは書きつくすことが出来ないほどたくさんお世話になりました。卒業するに当たって「いい大学生活だった」と言えるのは、水泳部で出会った多くの人たちのおかげです。



なかでも同じ水球面の宮崎君には、特にありがとうと言わなければなりません。彼は私の大学生活のあり方をほとんど決定付けた大切な友人です。

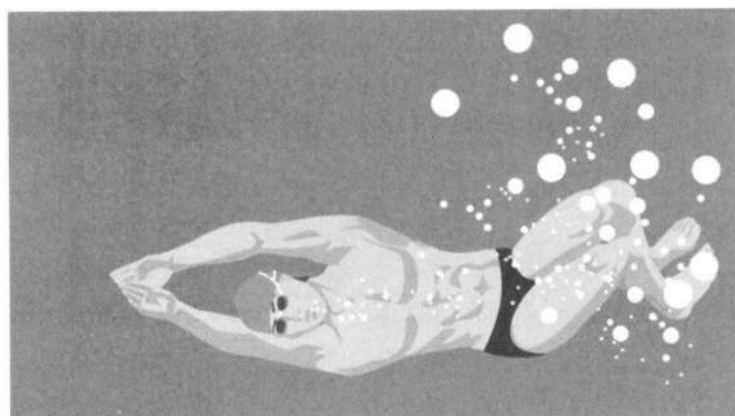
4年前、彼は私を水球の見学に誘ってく

れました。水球のすの字も頭になかった私にとって非常に意外な出来事でした。何故あの時わざわざ声をかけたのかは今でも教えてくれません。もしかしたら当時のことなんかもう忘れているかもしれません。でもほとんど惰性だけで大学に通っていた私にとって、とても大きな転機となる出来事でした。あの日彼が声をかけてくれなかったら、私の大学生活は全く別物になっていたことでしょう。

私が「もう水球は続けられない」と言った時も、彼はじっと話を聞いてくれました。そしてさんざん話を聞いたあとで、「そうか。とりあえず、明日も練習あるから来いよ」とだけ言いました。この言葉で私は本当に救われた気持ちになりました。自分が水球を辞めるかどうかで悩んでいても、彼だけは必ず

戻ってくると信じてくれている。自分がどれだけ友人に恵まれているか気付かされた瞬間でした(今から考えると話をちゃんと聞いてなかったという可能性もありますが)。

部活動を通じて得られる一番大切なものは間違いなく友人です。その点で私は本当に果報者だといえます。多くの人たちと出会い、その中からさまざまなことを学んでいく。一番基本的で大切なことですが、水泳部という場所はそんな大事な出会いをたくさん提供してくれる場所です。水泳部をつくってきた先輩方に感謝の気持ちを述べると共に、これから水泳部を支えていく後輩達にはこのすばらしさを伝えていってほしいと思います。今一度水泳部で出会えた人全てに感謝の気持ちを表し、卒部の辞とさせていただきます。



【現役部員寄稿Ⅱ】

現役部員紹介

【4回生】

司馬 達也 尼崎北・海事・水球



頑固で言葉知らんから言いたいことを伝えられてない時もあるんちゃうかなあと 생각합니다。自分に厳しくて努力できる人です。

ほんまはただ水球が大好きでみんなと良いプレーがしたいだけなのにきつい人みたいになってもとおなあと思います。

よーひとりで落ち込むし自分から言い出せへんから聞いてもらえるん待つし新しい服屋行くんいやがるし保守的などこあるからよけい頑固に思えるんですよ。

てか子供っばいわあ〜ワラ

最後の一年 後悔残さんよーに大人になってみんなと良いプレーいっぱい見せてください☆

嶋多 剛 金沢泉ヶ丘・海事・水球



お米の味の違いがわかるナイスガイです。さすが金沢っ子☆

コシヒカリはうまいらしいです。新米ならさらにうまいらしいです。

泳ぐん早いし力あるしもつと得点にからんで最後の一年フル活用して活躍してください。

古谷 祐希 春日丘・工・水球マネ



あんまり心を開いてくれません..

はちみつをプレゼントしなあかんのでしょうか..

マネージャーふたりになったので今年は仲良くなれるよおにがんばりたいと思います。

かつては選手だった古谷さん。一度水球してる姿を見たいとも思います。

西澤 翔 高知学芸・海事・水球



彼のことを一言？でいうと、全日本男子バレーのゴッツ石島がバレーボールに懸ける思い、サッカー元日本代表の中田英寿がサッカーに懸けた思い、そして野球日本代表の星野仙一監督が野球に懸ける思いよりも、強く熱い思いを水球に懸けてるガッツ

土方 了輝 洛南・経済・Fr



一年間、競泳主任として私たちに引っ張ってくださった頼もしいリョウキさん(´_`)
他大学との合同練習のとき、了輝さんの姿が見られないと、不安にもなりました。

リョウキさんといえば、なんとといってもあの鍛え上げられた身体です！！

溢れる人。

でもそんな人には必ず別の顔があるというのがこの世の定理である…そう、彼も例外ではない。彼は実は極度の世間知らずなのです。もちろんいい意味で。彼の出身地である高知とここ神戸はよほど違うようで、彼の世間知らずの由来は高知にあるようだ。

ただ、今年で四年目を迎えた彼の水球の確固たる実力はチームに欠かせないものであることは間違いない。無論、地元高知がよい所であることも言うまでもないことである。

ギザかっこよすです＝

最近、了輝さんの隠れファンの多さに気がつきました。

リョウキさんは、意外にゲーマーです！とってもゲームが得意なんです！ゲームをしてるリョウキさんも素敵です。漫画も大好き。

自分に厳しい了輝さん。でもそんな Ryoki さんには、ちょっぴりお茶目な一面も…☆色んな意味で了輝さんが羨ましいと思っている人は大勢います。

そして、ぬいぐるみが大好きという噂…笑。特にプーさん大好き！！…らしいですよ笑。

吉岡 拓磨 千里・農・Br



『お腹吹田市』で有名な吹田市を溺愛する吉岡さん。素敵なお笑顔と裏腹になかなかの腹黒さがあるとかないとか(笑)。六甲祭でみせた吉岡ダンスはほんとに素敵でした。部員数名を筋肉痛にさせるものでした。

そんな吉岡さんの専門種目はブレ。タイミングを合わせるのが難しい泳法で泳いでいます。

大川 広己 明星・発達・Fly



広己さんにはいろんな肩書きがあります
前主将、筋トレ主任、そして大阪府人会会長です。

主将のときは厳しく、優しく、そしてほどよく適当に水泳部を導いてくださいました。広己さんがしゃべるとみんなの空気はなごやかに☆しかし大事なときは心に響くことを言ってくれる、そんな主将でした。

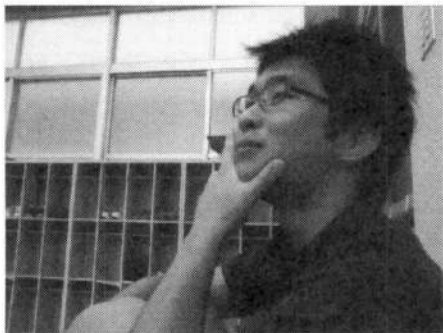
主将は引退してしまいましたが筋トレ主任は広己さんがいる限り続きます☆筋トレの

日はいつも広己さんがメニューを考えてくれます。

そして今年は念願の大阪府人会会長の座を勝ち取りました。会長という肩書きがあだ名になり、そのあだ名が板につきすぎたことで表彰されるほどだった前会長と選挙で戦い、「自分が当選したあかつきには、投票してくれた人全員に府人会Tシャツプレゼントします！！」という広己さんしかできないような太っ腹なマニフェスト(?)のおかげもあって、見事当選しました。でもまだ会長というあだ名はみんなになじんでないようですね。会長自身、前会長をとっさに呼び止めるとき「会長！！」と言ってしまってますし(笑)

こんな感じで肩書きいっぱい多忙な広己さんです。

芝井 隆 近大附属・農・Bk



芝井さんは普段一緒にふざけてくれている先輩とは思えないくらい、主務の様々な

仕事をばっちりこなしています。しかし何故かあるところでは芝井はダメだなどとけなされている事も…でもやっぱり何かあったときに頼りになるのは芝井さん。何かがあった時にはみんなから頼りにされています。しかし芝井さんが追われているものは主務の仕事だけではありません。なんと溜めているレポートにも追われているのですwこんな忙しい芝井さんですがきっと記憶も記録も残るシーズンを送ってくれるはずです。

砂留 沙季子 神戸・法・競泳マネ



関カレのプログラムのチーム紹介に書かれる程のチームの人気者の沙季子さん!!でもあの時は秘密で書いていたので、現競泳

主任は首がとぶのか、鼻が曲がってしまうのかヒヤヒヤしてました(笑)

練習中はタイムを計ったりフォームチェックをし、試合会場では選手をサポートを徹底してくれます。あの声を聞くとやる気が出る…チームではそんな声も聞かれる程です。みんなビビっているのでしょうか(笑)

今年マネージャーに転向して2年目。陸から選手をピンピン鍛えあげてくれることでしょう!!Mのみんな、覚悟して待ってなさい!!

畠山 沙穂 城星・神戸女学院・Fr



紗穂さんはとても変わった人です。変人といっても過言ではないでしょう。いや、変人というよりはむしろ変態…(笑)

また紗穂さんは選手に復帰してすぐ近国のリレー、8耐に出るというチャレンジャーです。これからもその根性で数少ない女子選手を引っ張っていつってくれることは間違いありません。

末森 香織 山口・神戸薬科・Fr



香織さんはとにかくおもしろい。関国への

カウントダウンカレンダーのばちゃぼの泣き声は爆笑必至。その他にも飲み会では持ち前の爆発力を遺憾なく発揮し、みんなを盛り上げてくれます。しかし残念な事にあまりお酒が強くなく、序盤で力尽きてしまう事が少なくありません。そんな香織さんですが練習では最後まで残って、常に努力を怠りません。そんな香織さんのラストシーズンに期待しましょう。

【3回生】

北野 達也 嵯峨野・発達・水球



二年目に競泳面から水球面に移籍した選手であり、今期大化けすることに期待のかかる選手でもある。一年目を競泳面で過ごしただけあってその泳ぎは速くて美しい。

他己紹介担当の自分の約五倍程度の速さで泳ぐ。これ半分事実。

ときには、パスがライフル回転していると酷評されるが、ライフル回転のシュートならば破壊力抜群である。

また、彼は今シーズンの神戸大学体育会水泳部主将を努める。教員免許取得を目指す彼にとってはとてもハードな一年になると思われるが、皆が彼のことを陰ながら応援しているので、それを糧にして主将という重役の任をやり遂げて欲しい。

井上 陽介 鳥羽・海事・水球



我らが誇る最後の砦。そう、我がチームの正ゴールキーパーである。彼の巻き足は強い、蹴り足もきれい、飛び付きもすごい…彼の足技はどれをとっても一級品である。しかし、水球の実力もさることながら、彼が

もつ能力はこれだけではない。そのもう一つの能力というのが事務的仕事の処理だ。彼が行なう仕事は的確かつ素早く、仕事での彼の表情は冷静かつ真面目である。事実、今シーズンは神戸大学体育会水泳部水球主任、関西学連水球委員長という二つの重役を努める。

ついに三年目を迎えた彼のキーパーとしての実力は着実についているものと思われる、今シーズンにおける彼のさらなる活躍に期待がかかる。彼のボールキープ、パスから始まるカウンター攻撃が我がチームの理想となる。

横尾 晋 土佐塾・医・Fr



我らが競泳主任の晋さん!!普段の見た目はかっこよさのかけらもありません…熊さんです。全国公の時は気合いの丸刈りにし、新渡部稲造みたいなメガネをかけると“裸の

大将”になってしまいました。お腹の中にはミツオ(脂肪)を身ごもってしまい、只今ダイエット(?)中という残念な状態です…。みんながミツオの出産を心待ちにしています(笑)

しかーし!!そんな晋さんも泳いでいる時はカッコいい!!誰よりも綺麗なFrを見せてくれます。今年は自身の躍進はもちろんのこと、競泳主任としてもチームを勝利に導いてくれるでしょう!!

いざ出産!!いざ2部昇格!!いざインカレへ!!

飛田 陽祐 小倉・工・Fr



専門が短距離の九州男児スイマーです。100mすら「長い」と感じるらしく、50mが専門です。というわけで必然的にフリー専門です。でも実ほどの種目もオールマイティ

に泳げます。

二回生として主務の仕事を実際にこなす一方で、遊ぶのが大好きで交友関係も幅広く、いろんな経験談を話してくれます。その経験の賜物なのかはわかりませんが、困ったときに相談すればなんとかして解決してくれるような気にしてくれます。

飲み会では九州男児らしいお酒の強さでみんなをひっぱります。同じ福岡出身で九州男児であるにも関わらずお酒が苦手な自分にとってはうらやましい限りです。

これからの部を支え、ひっぱってくれる存在です。しっかりとついていきたいです。

【2回生】

宮田 隼 三田祥雲館・海事・水球



皆様からの呼ばれ名は宮田…ではなく隼…でもなくジョンでございます。

その澄んだ瞳は水球面に癒やしを与えているに違いありません。

昨シーズンは水球1年目にも関わらず試合で得点もあげました。今チーム内での期待度ナンバーワンの選手です。そんなジョンを皆様よろしく！

菊地 美甫 星陵・神戸薬科・水球マネ



きっと彼女は神戸大学体育会水泳部水球面ではレアな人である。なぜなら彼女は神戸大生ではなく神戸薬科大生であるためである。

しかし、彼女は熱い、とことん熱い。水球にかける思いは計り知れないものがある。練習後に差し出される紅茶もそれなりに熱い。紅茶にかける思いもまったくもって計り知れない。ビデオの中から発せられる少々厳しいお言葉は某先輩を彷彿させるものである。このことからしても、彼女が偉大なマネージャーになることは約束されたも同然である。彼女が JAPAN ジャージを手渡される日も訪れるかもしれない。

皆が彼女に感謝している。彼女自身、マネージャーとして今以上に成長して、ぜひとも感謝感激の雨あられに打たれて欲しい。

北野 菜緒 富山中部・医・競泳マネ



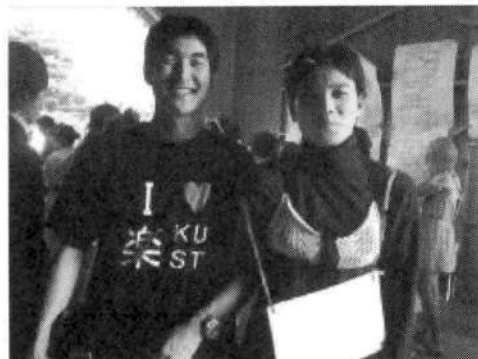
一回生唯一のマネさんです。水泳に対してとても真面目で「熱い」マネさんです。元選手なので水泳の知識もあり、上から見てアドバイスもしてくれます。OBさんがフォー

ムを教えてくださいるときや選手同士がアドバイス合っている話を聞き、頭で理解しきれなかったところは自ら泳いで理解しようとするなど、とにかく「熱い」です。

飲み会では他の一回生がつぶれているにもかかわらず、四次会までずっと笑顔で先輩方についていきます。二次会でつぶれている自分にとってはうらやましいです。

しっかり者でマネの仕事もきちっとこなす彼女ならきっとこれからも皆を支えてくれると思います。あと個人的に、最近彼女の富山弁がうつってきて、たまに富山弁を使ってしまうことに悩んでいます。

吉田 楽 大手前・工・IM



水泳部のアイドル吉田楽君は女の子よりも女の子。楽 T も作ってもらえるほどの愛されキャラ。彼の笑方はまわりのみんなも笑顔にさせてくれます。10 代最後の日は、女装デビューもしました。羨ましいくらいかわいかったです。そんな楽の種目は IM。これからは楽からは目がはなせません!!

加藤 優 初芝富田林・発達・Fr



優ちゃんといえば「笑い」かなと思います。優ちゃんはよく笑います。いつも笑ってる気がします。どんな小さなことでもいっぱい笑ってます。優ちゃんとしゃべると「もしかして自分かなり面白いんじゃないか」って思え

るかもしれません(笑)リアクションもいいですよ☆でも笑ってるだけではなく、大阪弁のするどいツッコミもとんできます。これが大阪かあってか感じます。さすが大阪府人会会員☆

しかし練習のときは一変、とても真剣な顔の優ちゃんです。今のところ唯一の神大女子選手です。2代目沙季子さんになるべく毎日がんばって練習しています。少しでも短いサークルへ、少しでもいいタイムへという気持ちが伝わってきます。

夏には水泳部内で結成されたある兄弟の仲間入りも果たして波にのり、泳ぎでも笑いでも(?)期待の星の優ちゃんです

田畑 直紀 星陵・工・Fr



田畑は出来る子です。田畑が知らないことなんてあるんでしょうか？おそらく無いでしょう。何を聞いても答えてくれます。

また田畑はお酒に関しても出来る子です。K藤H俊さんのむちゃ振りにも難無く答えます。

K藤さん:「オイ、田畑。お前男だろ、飲め。」

田畑:「え～無理ですよ…ゴク、ゴク、ゴク…」

W谷:「田畑ナイスで～す!」

そんな田畑は今年、学連・システムの仕事をこなしながら神大の自由形ショート面を引っ張っていってくれるでしょう。これからも田畑の出来る子っぷりに期待です。

段野 光宏 天王寺・発達・Br



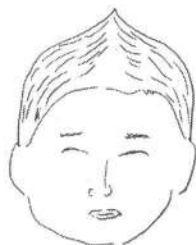
身長 188cm の大男。見た目の威圧感は満点だ。しかし実際は、意外と人見知りだったり、笑うとトトロに似ていたり、結構かわい(?)ところもあったりする。そんなだん

ちゃんの口癖は「ワッショイ!!」。ことあるごとに叫ばれるワッショイの影響力はとても強く、少しずつ周りの人間に浸透しつつある。

専門は Br。フォームに課題があるようで、よく居残り自主練をしている。実は IM も泳げるマルチプレイヤーだったりもする。さらに 8 継のメンバーでもあり、昨シーズンはえげつないフォーム(本人談)ではあるが豪快な泳ぎで、1 回生ながらチームに大きく貢献した。今シーズン、自主練の効果が現れ、美しいフォームを手に入れただんちゃんが、大爆発を起こす。はず。

Munkhtushig Javkhlan

モンゴル第11・経済・Fr



※下手な似顔絵でゴメン！

ジャーギーの本名は

Munkhtushig Javkhlan. なぜジャーギーなのか？それは謎です。こんなジャーギーはモンゴルからの国費留学生。モンゴル語・ロシア語・英語・日本語の4ヶ国語が話せて、実は未来のモンゴルの頭脳だったり…泳ぎに関してはまだまだ未知数ですが、学業同様本気を出せばすごいはず。まだ水泳を始め間もないので今後の伸びに期待です。

澄川 優美子 御影・甲南女子・Fr



めっちゃ努力家でいつも落ち着いてる子です。色白美肌でうらやましい☆酒と眼ヂカラが強いです！

松尾 友美 甲南女子・Fr



まっつんは何事にも真剣に取り組む水泳部1の頑張り屋さんです。昨年から水泳を始めたばかりですがもうすでに水泳の虜になっているようです。泳ぐのがほんとに楽しそうです。これからもまだまだ水泳の魅力にどっぷり浸かって行って欲しいと思います。

今村 可奈 大成学院大学高・甲南女子・Fr



可奈はいつも元気で笑顔がかわいいポジティブな女の子です。とにかく水泳が大好きで大好きで朝も夜も泳いでいます。昨シーズンは様々な大会に出場をしました。その中でも台湾で行われた『世界ろう者水泳世界選手権大会』では銀メダル2個・銅メダル2個を獲得しました。世界も注目する可奈選手です。

【平成19年度 水泳部活動報告】

年間競技カレンダー

4月	15日(日)	競泳	関西学生春季短水路公認記録会	奈良県営屋内プール
5月	19日(土)		★ 神戸三大学定期戦	海事科学部プール
6月	3日(日)	競泳	※関西学生夏季公認記録会	高槻市民プール
	9日(土)	郷里	※石川学生選手権	白山市松任総合運動公園 園室内プール
	16日(土) 17日(日)	水球	オープンリーグ	大阪市立大学プール
	30日(土)	競泳	兵庫県学生選手権水泳競技大会	神戸市立ポートアイランド スポーツセンター
	23日(土) 24日(日)	水球	関西学生春季リーグ	大阪市立大学プール
7月	1日(日)	競泳	京都夏季室内選手権水泳競技大会	京都アクアアリーナ
	7日(土) 8日(日)	競泳	関西国公立大学選手権 水泳競技大会	奈良県営屋外プール
	15日(日)	競泳・水球	※※大阪市立大学神戸大学定期戦	六甲台プール
	27日(金) ～29日(日)	競泳	関西学生選手権水泳競技大会	大阪プール
8月	8日(水) 9日(木)	競泳	全国国公立大学選手権 水泳競技大会	神戸市立ポートアイランド スポーツセンター
	11日(土) ～13日(月)	水球	西日本選手権	京都大学プール
	14日(火)	競泳・水球	旧三商大戦	大阪市立大学プール
	20日(月) 21日(火)	競泳	近畿地区国立大学体育大会	秋葉山公園和歌山県民 水泳場
	26日(日)	競泳	★ THE 8耐	彦根総合運動場内 スイミングセンター
	18日(土) 19日(日) 25日(土) 26日(日)	水球	関西学生水球秋季戦	大阪市立大学プール
9月	1日(土) 2日(日)			
	7日(金) ～9日(日)	競泳	日本学生選手権競泳大会	東京辰巳国際水泳場

※印の大会は、麻疹による休校措置(6/1～6/12)により出場を辞退。

※※印の市大戦は、台風により延期。12月9日(日)、薬業鳴尾浜スポーツセンターで実施。

★印の結果は未掲載

水中忘年会

■50m自由形

小川 啓 予選落ち
松村將由 予選落ち
飛田陽祐 予選落ち
吉岡拓磨 予選落ち
田中宗親 26"26

■100m自由形

芝井 隆 1'02"45
飛田陽祐 1'01"12
北野達也 1'02"29

■50m背泳ぎ

松村將由 予選落ち
芝井 隆 予選落ち
長谷川真帆 37"68

■100m背泳ぎ

井領祐介 1'38"24
芝井 隆 1'16"95
長谷川真帆 1'21"51

■50mバタフライ

井領祐介 予選落ち
大川広巳 予選落ち
北野達也 予選落ち
加藤亮二 27"05
田中宗親 27"31

■50m平泳ぎ

飛田陽祐 予選落ち
吉岡拓磨 予選落ち

■100mバタフライ

加藤亮二 1'01"49

■200mフリーリレー

神戸大学 A 1'55"90
(田中・井領・松村・小川)
神戸大学 B 1'48"39
(芝井・北野・加藤・飛田)

関西学生春季短水路公認記録会

2007年4月15日・奈良県営屋内プール

3月に行われた合宿後の最初の公式試合となった。4月ではあるがまだ外は寒さが残り、会場も十分にアップができない状態ではあったが控え場所でジョギングや歩いてのダウンなど、環境に応じてできる事をしようとした。また、照準を置いている関西夏季公認まで二ヶ月を切り、それに向けての良いスタートとなった。

■女子400m自由形

末森香織 5'27"12

■男子400m自由形

榎尾 晋 4'26"91
土方了輝 4'21"11

■男子100m平泳ぎ

吉岡拓磨 1'10"94

■女子200m自由形

末森香織 2'32"52
田染茉莉子 2'36"03

■男子200m自由形

榎尾 晋 2'06"11
土方了輝 2'00"48
中村友彦 2'05"79

■男子100m背泳ぎ

浦谷正史 1'12"96

芝井 隆 1'09"10

■男子100mバタフライ

北野達也 1'06"46

■女子100m自由形

田染茉莉子 1'11"03

■男子100m自由形

飛田陽祐 59"37

中村友彦 56"96

■女子50m自由形

末森香織 32"30

■男子50m自由形

飛田陽祐 26"40

■男子200m個人メドレー

北野達也 2'29"71

■男子200m平泳ぎ

吉岡拓磨 2'35"96

■男子200m背泳ぎ

浦谷正史 2'34"90

芝井 隆 2'31"70

京都夏季室内選手権水泳競技大会

2007年7月1日・京都アクアアリーナ

■女子50m自由形

田染茉莉子 31"70

末森香織 32"01

■男子50m自由形

飛田陽祐 26"31

■1500m自由形

土方了輝 16'58"30

■男子200m個人メドレー

—

浦谷正史 2'39"71

北野達也 2'31"22

■男子100mバタフライ

加藤亮二 59"19

■男子100m背泳ぎ

芝井 隆 1'12"25

■男子100m平泳ぎ

北野達也 1'18"60

飛田陽祐 1'17"22

吉岡拓磨 1'13"72

■女子100m自由形

末森香織 1'09"06

田染茉莉子 1'10"29

■男子100m自由形

飛田陽祐 58"54

■男子400m自由形

中村友彦 4'16"89

土方了輝 4'16"88

■男子200mバタフライ

加藤亮二 2'17"56

■男子200m背泳ぎ

浦谷正史 2'32"96

芝井 隆 2'33"66

■女子200m自由形

末森香織 2'33"15

田染茉莉子 2'35"17

■男子200m自由形

芝井 隆 2'15"22

中村友彦 2'00"27

オープンリーグ

2007年6月16日～17日 大阪市立大学プール

vs 立命館大学(6月16日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 司馬1
神大	1	1			2		
立命館	2	3			5	退水	嶋彦1

vs Choco Peppers(6月16日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1
神大	1	0			1		
CP	4	3			7	退水	西澤1

vs 名古屋大学(6月16日)

	1	2	3	4	計	得点者	司馬1
神大	1	0			1		
名大	1	2			3	退水	宮崎1

vs まちかねドンキース(6月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 嶋彦1 司馬1
神大	1	2			3		
ドンキ	0	0			0	退水	

vs 弦泳会(6月17日)

	1	2	3	4	計	得点者	北野1 西澤2 嶋彦1 司馬1
神大	2	3			5		
弦泳会	1	3			4	退水	

総合成績(全14チーム)

1位 Club Natacio Kyoto

2位 なみはやクラブ

3位 立命館大学

11位 神戸大学



兵庫学生選手権水泳競技大会

2007年6月30日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

シーズン最初の長水路でのレース。泳ぎ込みの最中にあるこの大会はこの後にある関西国公立、関西学生選手権、全国公に向けての種目に挑戦する試合となった。また、今年は関西夏季公認に出場できなかったため1年生には大学デビュー戦となり緊張感をもった試合となった。

【男子】

■男子 50m自由形

1位 脇坂勇輝(関学大)	24"22
	大会新
2位 桑本貴隆(関学大)	24"83
3位 齋藤公貴(関学大)	25"11
11位 飛田陽祐(神戸大学)	27"17
14位 田畑直紀(神戸大学)	27"31
20位 小柳 徹(神戸大学)	30"42

■男子 100m自由形

1位 赤澤 寛(関学大)	53"03
	大会新
2位 脇坂勇輝(関学大)	53"07
	大会新
3位 齋藤公貴(関学大)	53"52
12位 田畑直紀(神戸大学)	1'00"64

■男子 200m自由形

1位 赤澤寛幸(関学大)	1'56"02
2位 小禄良祐(関学大)	1'58"44
3位 水木康介(甲南大学)	2'00"16
6位 土方了輝(神戸大学)	2'05"19
7位 中村友彦(神戸大学)	2'07"13
OPEN 小柳 徹(神戸大学)	2'43"13

■男子 400m自由形

1位 水木康介(甲南大学)	4'10"75
	大会新
2位 前野拓也(甲南大学)	4'10"79
	大会新
3位 岩崎浩司(関学大)	4'14"19
8位 土方了輝(神戸大学)	4'25"77
9位 中村友彦(神戸大学)	4'29"09
10位 槇尾 晋(神戸大学)	4'34"91

■男子 1500m自由形

1位 前野拓也(甲南大学)	16'25"93
	大会新
2位 入江一気(関学大)	16'49"19
3位 前野遼二(甲南大学)	16'57"57

■男子 100m背泳

1位 多田 匠吾(関学大)	59"88
2位 後河内聖文(関学大)	1'03"24
3位 富山正幹(神戸学院大)	1'03"42
9位 吉田 楽(神戸大学)	1'10"68
11位 芝井 隆(神戸大学)	1'13"44
13位 浦谷正史(神戸大学)	1'17"02

■男子 200m背泳

- 1位 多田匠吾(関学大) 2'07"69
大会新
2位 矢野和仁(神戸学院大) 2'12"20
3位 堀口敦裕(神戸学院大) 2'15"22
8位 吉田 楽(神戸大学) 2'32"39
11位 芝井 隆(神戸大学) 2'38"50
13位 浦谷正史(神戸大学) 2'43"02

■男子 100m平泳

- 1位 和佐田勝久(関学大) 1'06"51
2位 藤井裕朗(甲南大学) 1'08"21
3位 平田直紀(関学大) 1'08"86
7位 吉岡拓磨(神戸大学) 1'14"81
10位 加藤宏俊(神戸大学) 1'17"73
15位 小柳 徹(神戸大学) 1'24"00
OPEN 段野光宏(神戸大学) 1'13"08

■男子 200m平泳

- 1位 和佐田勝久(関学大) 2'24"34
2位 浦川貴史(関学大) 2'28"18
3位 藤井裕朗(甲南大学) 2'32"63
5位 段野光宏(神戸大学) 2'38"51
9位 吉岡拓磨(神戸大学) 2'44"56
11位 加藤宏俊(神戸大学) 2'51"49

■男子 100mバタフライ

- 1位 河村拓実(関学大) 57"13
2位 山崎直樹(甲南大学) 58"13
3位 野田 健(流科大) 58"63
8位 加藤亮二(神戸大学) 1'01"16

■男子 200mバタフライ

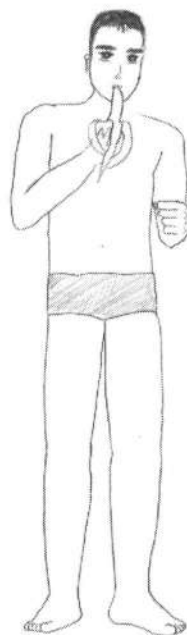
- 1位 河村拓実(関学大) 2'09"28
2位 山崎直樹(甲南大学) 2'12"46
3位 中野隆宣(流科大) 2'14"39
5位 横尾 晋(神戸大学) 2'23"30
7位 加藤亮二(神戸大学) 2'32"73

■男子 200m個人メドレー

- 1位 上原 泰祐(関学大) 2'12"25
2位 下酔尾将一(流科大) 2'19"73
3位 堀口敦裕(神戸学院大) 2'21"77
7位 段野光宏(神戸大学) 2'23"11

■男子 400m個人メドレー

- 1位 矢野和仁(神戸学院大) 4'44"97
2位 上原 泰祐(関学大) 4'45"36
3位 前野 遼二(甲南大学) 4'47"28



Illustrated by Shibai

■男子 400mリレー

1位	関西学院大学	3'43"48
2位	甲南大学	3'43"67
3位	神戸学院大学	3'47"97
6位	神戸大学	4'05"28

(土方・浦谷・加藤・田畑)

■男子 800mリレー

1位	関西学院大学	7'51"31
		大会新
2位	甲南大学	8'03"78
3位	流通科学大学	8'18"12
4位	神戸大学	8'19"36

(土方・槇尾・段野・中村)

■男子 400mメドレーリレー

1位	関西学院大学	3'57"54
		大会新
2位	甲南大学	4'05"31
3位	神戸学院大学	4'10"14
5位	神戸大学	4'26"99

(土方・吉岡・加藤・槇尾)

【女子】**■女子 50m自由形**

1位	村尾玲子(武庫川女子)	27"46
2位	伊藤鈴香(武庫川女子)	28"22
3位	八塚晶代(武庫川女子)	29"52
8位	加藤 優(神戸大学)	31"57
13位	田染茉莉子(神戸大学)	32"88
14位	末森香織(神戸薬科大)	32"97
23位	松尾友美(甲南女子大)	43"52

■女子 100m自由形

1位	垣谷真紀子(武庫川女子)	59"27
2位	村尾玲子(武庫川女子)	59"41
3位	山本みどり(武庫川女子)	1'00"00
4位	今村可奈(甲南女子大)	1'04"00
20位	澄川優美子(甲南女子大)	1'26"69
23位	東 桃子(甲南女子大)	1'44"72
OPEN	藁谷理恵(甲南女子大)	1'16"95

■女子 200m自由形

1位	竹原久美(武庫川女子)	2'06"31
2位	畑中マヤ(武庫川女子)	2'08"60
3位	垣谷真紀子(武庫川女子)	2'09"63
5位	今村可奈(甲南女子大)	2'15"58
9位	末森香織(神戸薬科大)	2'36"32

■女子 400m自由形

1位	竹原久美(武庫川女子)	4'25"38
2位	畑中マヤ(武庫川女子)	4'28"55
3位	坂上智美(関西学院大)	4'33"15

■女子 800m自由形

1位	脇岡紗也佳(武庫川女子)	9'21"97
2位	近藤亜沙美(武庫川女子)	9'26"85
3位	加藤 直(武庫川女子)	9'27"80

■女子 100m背泳

1位	中谷恵梨(武庫川女子)	1'07"40
2位	高岡幸恵(関西学院大)	1'07"47
3位	鶴川敬子(武庫川女子)	1'07"76
8位	藁谷理恵(甲南女子大)	1'25"39

■女子 200m背泳

1位	鶴川敬子(武庫川女子)	2'20"56
2位	墨 麗蘭(武庫川女子)	2'20"77
3位	中谷恵梨(武庫川女子)	2'22"04

■女子 100m平泳

- 1位 阿部 薫 (武庫川女子) 1'14"65
- 2位 中村有沙 (流通科学大) 1'24"65
- 3位 中原麻貴 (神戸学院大) 1'27"04
- 12位 澄川優美子 (甲南女子) 1'54"63
- 14位 東 桃子 (甲南女子大) 2'04"57

■女子 200m平泳

- 1位 阿部 薫 (武庫川女子) 2'40"28
- 2位 西田早織 (関西学院大) 2'46"64
- 3位 中村有沙 (流通科学大) 3'04"41

■女子 100mバタフライ

- 1位 山本みどり (武庫川女子) 1'04"29
- 2位 赤澤綾子 (武庫川女子) 1'05"01
- 3位 毛利早希 (武庫川女子) 1'06"11

■女子 200mバタフライ

- 1位 脇岡紗也佳 (武庫川女子) 2'19"44
- 2位 毛利早希 (武庫川女子) 2'23"45
- 3位 武田梨沙 (武庫川女子) 2'32"21

■女子 200m個人メドレー

- 1位 小室彩子 (武庫川女子) 2'23"41
- 2位 大塚友恵 (武庫川女子) 2'33"27
- 3位 上谷亜友美 (親和女子) 2'49"20

■女子 400m個人メドレー

- 1位 小室彩子 (武庫川女子) 5'06"44
- 2位 近藤亜沙美 (武庫川女子) 5'17"46
- 3位 倉橋志帆 (神戸市外大) 6'41"77

■女子 200mリレー

- 1位 武庫川女子大 1'47"87
- 2位 関西学院大学 1'59"87
- 3位 神戸学院大学 2'05"89

■女子 400mリレー

- 1位 武庫川女子大 3'55"65
- 2位 関西学院大学 4'09"95
- 3位 神戸学院大学 4'39"43
- 8位 甲南女子大学 5'28"63
(今村・澄川・東・藁谷)

■女子 400mメドレーリレー

- 1位 武庫川女子大 4'24"71
大会新
- 2位 関西学院大学 4'40"28
- 3位 神戸学院大学 5'14"71



Illustrated by Shiba

関西学生水球春季戦

2007年6月23日・24日・30日・7月1日 大阪市立大学プール

昨年の神大の柱とも言べき井口先輩、泉口先輩、加藤先輩が卒業し、まだ経験少ない北野、宮田を擁して挑んだ春リーグだった。初戦の相手は、オフシーズン中、一緒に練習している関学。やり慣れた試合であったが、6-8と惜しくも2点差で破れ、その後の試合の阪大戦も大敗。京大戦では畠山の活躍もあり、勝利することができた。相手のミスを自らのチャンスに変えられない詰めの甘さ、試合中に動きを修正していくことの必要性を感じた大会となった。神大は昨年より大幅に順位を落とし、総合5位となった。この結果に卒業した先輩の偉大さを感じながらも、自分たちがクリアしなければならない課題を数多く見つけることができた。

vs 関西学院大学(6月23日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤2 嶋彦1 畠山3
神大	0	3	0	3	6		
関学	2	4	1	1	8	退水	畠山1 宮崎1

vs 大阪大学(6月24日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤1 畠山2 司馬2 宮崎1
神大	3	2	1	0	6		
阪大					23	退水	井上2 畠山3 宮崎1

vs 京都大学(6月30日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤4 嶋彦1 畠山7 司馬1 宮崎1
神大	3	4	4	4	15		
京大	3	3	1	2	9	退水	北野2 西澤2 畠山2

総合成績(全6チーム)

1位 立命館大学

4位 関西学院大学

2位 大阪市立大学

5位 神戸大学

3位 大阪大学

6位 京都大学

関西国公立大学選手権水泳競技大会

2007年7月7日・8日・奈良県営屋外プール

男子は団体権獲得を揚げ、女子はリレーが組めないという状況であったが個人がチームに勢いを与えられる泳ぎをした。男子は昨年同様最後まで気を抜くことのできない得点争いが展開されたが、得点狙いのために専門種目外に出場した選手もいたり他大学の動向を調べていた甲斐もあり団体権を得ることができた。女子も、決勝進出者が出て、健闘した。

【男子】

■男子50m自由形

1位	瀧下雄大(大阪大学)	24"22
2位	久留慎太郎(大阪外大)	25"01
3位	楠田政之(大教大)	25"48
予選落ち	田畑直紀(神戸大)	27"34
予選落ち	小柳 徹(神戸大)	33"11
棄権	飛田陽祐(神戸大)	

■男子100m自由形

1位	瀧下雄大(大阪大学)	53"01
2位	久留慎太郎(大阪外大)	54"00
3位	團 秀隆(大市大)	55"94
予選落ち	飛田陽祐(神戸大)	59"75
予選落ち	田畑直紀(神戸大)	1'00"57

■男子200m自由形

1位	山本宗幸(大教大)	2'01"98
2位	中村友彦(神戸大学)	2'02"02
3位	金光良祐(京都大学)	2'02"05
8位	土方了輝(神戸大学)	2'05"44

■男子400m自由形

1位	鈴木達也(京都大学)	4'18"22
2位	山本宗幸(大教大)	4'18"38
3位	土方了輝(神戸大学)	4'19"14
7位	榎尾 晋(神戸大学)	4'32"47

■男子100m背泳

1位	染原健次郎(大教大)	58"94
2位	長尾和明(大阪大学)	1'03"45
3位	芝 崇暢(兵庫県大)	1'04"27
予選落ち	吉田 楽(神戸大)	1'10"34
予選落ち	浦谷正史(神戸大)	1'16"55

■男子200m背泳

1位	山崎陽平(大教大)	2'13"16
2位	長尾和明(大阪大学)	2'19"44
3位	浜中志郎(大阪大学)	2'19"57
6位	吉田 楽(神戸大学)	2'30"11
予選落ち	芝井 隆(神戸大)	2'39"44
予選落ち	浦谷正史(神戸大)	2'45"88

■男子100m平泳

1位	逢坂敏裕(大阪府大)	1'07"22
2位	中山 豪(大阪大学)	1'07"35
3位	高橋孝行(大阪大学)	1'07"67
予選落ち	吉岡拓磨(神戸大)	1'14"00
予選落ち	加藤宏俊(神戸大)	1'17"37
予選落ち	小柳 徹(神戸大)	1'22"69

■男子200m平泳

1位	百瀬弘祐(大教大)	2'24"92
2位	逢坂敏裕(大阪府大)	2'26"45
3位	吉田 鑑(京都大学)	2'27"32
8位	段野光宏(神戸大学)	2'33"17
予選落ち	吉岡拓磨(神戸大)	2'42"88
予選落ち	加藤宏俊(神戸大)	2'53"87

■男子100m蝶泳

1位	山崎陽平(大教大)	58"37
2位	松井勇大(奈教大)	58"56
3位	立入啓浩(京都大学)	1'00"17
8位	加藤亮二(神戸大学)	1'01"93

■男子200m蝶泳

1位	染原健次郎(大教大)	2'07"04
2位	松井勇大(奈教大)	2'13"68
3位	立入啓浩(京都大学)	2'14"36
5位	槇尾 晋(神戸大学)	2'16"71
予選落ち	加藤亮二(神戸大)	2'32"63

■男子200m個人メドレー

1位	南 勇貴(大阪大学)	2'14"92
2位	金光啓祐(京都大学)	2'19"10
3位	百瀬弘祐(大教大)	2'19"93
予選落ち	段野光宏(神戸大)	2'24"47

■男子400m個人メドレー

1位	鈴木達也(京都大学)	4'51"00
2位	柚木雅信(大阪大学)	5'00"08
3位	金光啓祐(京都大学)	5'02"22

■男子400mリレー

1位	大阪大学	3'38"12
2位	大阪教育大学	3'38"42
3位	京都大学	3'42"91
4位	神戸大学	
	土方・槇尾・段野・中村	3'48"58

■男子800mリレー

1位	大阪教育大学	8'03"08
2位	大阪大学	8'06"14
3位	京都大学	8'08"37
4位	神戸大学	
	土方・槇尾・段野・中村	8'17"46

■男子400mメドレーリレー

1位	大阪教育大学	3'59"83
2位	大阪大学	4'00"63
3位	京都大学	4'10"97
6位	神戸大学	
	土方・槇尾・段野・中村	4'21"72

【女子】**■女子50m自由形**

1位	山内 紘(大阪大学)	28"50
2位	園田玲子(大教大)	29"19
3位	倉井奈緒子(兵庫県大)	29"44
8位	加藤 優(神戸大学)	31"75
予選落ち	田染茉莉子(神戸大)	33"25

■女子100m自由形

- 1位 吉原千晶(大教学) 59"85
 2位 山内 紘(大阪大学) 1'01"59
 3位 青木真衣(奈良女子大) 1'04"49
 予選落ち 田染茉莉子(神大) 1'15"53

■女子200m自由形

- 1位 吉原千晶(大教大) 2'09"44
 2位 木本知甫(大教大) 2'12"88
 3位 青木真衣(奈良女子大) 2'20"02

■女子400m自由形

- 1位 木本知甫(大教大) 4'35"03
 2位 松原由季(京教大) 5'05"97
 3位 桑原和香子(京都大学) 5'17"24

■女子100m背泳

- 1位 上田千歳(大教大) 1'09"69
 2位 小林真弓(大教大) 1'12"92
 3位 早川友紀(神戸外大) 1'16"61

■女子200m背泳

- 1位 上田千歳(大教大) 2'30"68
 2位 小林真弓(大教大) 2'38"56
 3位 早川友紀(神戸外大) 2'45"00

■女子100m平泳

- 1位 藤藪麻友(大阪府大) 1'18"58
 2位 古川枝里子(大阪市大) 1'19"69
 3位 坂本佳奈(滋賀大学) 1'23"46

■女子200m平泳

- 1位 藤藪麻友(大阪府大) 2'49"00
 2位 坂本佳奈(滋賀大学) 2'55"47
 3位 古川枝里子(大阪市大) 2'55"53

■女子100m蝶泳

- 1位 川西英里香(大教大) 1'05"59
 2位 園田玲子(大教大) 1'07"06
 3位 川島正江(神戸外大) 1'13"25

■女子200m蝶泳

- 1位 川西英里香(大教大) 2'15"15
 2位 片山めぐみ(京工織大) 2'31"80
 3位 川島正江(神戸外大) 2'46"17

■女子200m個人メドレー

- 1位 稲森あゆみ(大教大) 2'24"84
 2位 片山めぐみ(京工織大) 2'36"35
 3位 大西裕貴(京教大) 2'40"17

■女子400m個人メドレー

- 1位 稲森あゆみ(大教大) 5'03"68
 2位 大西裕貴(京教大) 5'42"54
 3位 松原由季(京教大) 5'59"35

■女子200mリレー

- 1位 大阪教育大学 1'53"10
 2位 大阪府立大学 2'00"83
 3位 大阪大学 2'02"16

■女子400mリレー

- 1位 大阪教育大学 4'12"56
 2位 大阪府立大学 4'27"77
 3位 大阪大学 4'29"55

■女子400mメドレーリレー

- 1位 大阪教育大学 4'35"91
 2位 大阪府立大学 5'07"45
 3位 大阪市立大学 5'14"37

関西学生選手権水泳競技大会

2007年7月27日・28日・大阪プール

男子は2部で全員決勝に残り、総合5位で残留するという目標を揚げこの試合に臨んだ。学校の試験の関係で初日のレースに出場できなかった選手もいた中で初日は決勝進出者もおり得点をとることができたが、3部とは違い決勝進出者も伸びず総合8位で3部降格という結果となった。試合後のミーティングでは悔しさが残るものとなった。

【男子】

■男子50m自由形

- 1位 瀧下雄大(大阪大) 24"20
- 2位 金光良祐(京都大) 24"35
- 3位 遠山博樹(大経大) 24"97
- 予選落ち 飛田陽祐(神戸大) 26"97

■男子100m自由形

- 1位 瀧下雄大(大阪大) 52"78
- 2位 金光良祐(京都大) 53"20
- 3位 庄田亮輔(大経大) 54"24
- 予選落ち 槇尾晋(神戸大) 57"06
- 予選落ち 飛田陽祐(神戸大) 58"74
- 予選落ち 田畑直紀(神戸大) 59"42

■男子200m自由形

- 1位 庄田亮輔(大経大) 1'57"59
- 2位 石井貴之(大経大) 1'57"76
- 3位 水木康介(甲南大学) 1'58"08
- 6位 中村友彦(神戸大学) 2'01"34
- 予選落ち 槇尾 晋(神戸大) 2'05"63
- 予選落ち 小柳 徹(神戸大) 2'33"13

■男子400m自由形

- 1位 前野拓也(甲南大学) 4'07"45
- 2位 水木康介(甲南大学) 4'10"24
- 3位 森脇照人(びわこ成蹊) 4'14"77

■男子1500m自由形

- 1位 前野拓也(甲南大学) 16'18"40
- 2位 松山明憲(大経大) 16'46"74
- 3位 前野遼二(甲南大学) 16'49"16
- 4位 土方了輝(神戸大学) 17'17"57

■男子100m背泳ぎ

- 1位 遠山博樹(大経大) 58"50
- 2位 堀口敦裕(神戸学院大) 1'01"57
- 3位 富山正幹(神戸学院大) 1'02"83
- 予選落ち 吉田 楽(神戸大) 1'09"56
- 予選落ち 芝井 隆(神戸大) 1'12"64
- 予選落ち 浦谷正史(神戸大) 1'17"01

■男子200m背泳ぎ

- 1位 矢野和仁(神戸学院大) 2'12"25
- 2位 西村優一(甲南大学) 2'22"64
- 3位 吉田 楽(神戸大学) 2'27"96
- 8位 芝井 隆(神戸大学) 2'43"20
- 予選落ち 浦谷正史(神戸大) 2'41"82

■男子100m平泳ぎ

- 1位 藤井裕朗(甲南大学) 1'05"86
2位 佐藤純一郎(びわこ成蹊)1'06"08
3位 太田利記(びわこ成蹊) 1'07"11
予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)1'14"64

■男子200m平泳ぎ

- 1位 上田 啓(大阪国際大) 2'24"54
2位 吉田 鑑(京都大) 2'24"60
3位 太田利記(びわこ成蹊) 2'25"06
7位 段野光宏(神戸大学) 2'33"46
予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)2'43"62
予選落ち 加藤宏俊(神戸大)2'51"21

■男子100mバタフライ

- 1位 山崎直樹(甲南大学) 57"05
2位 柚山和樹(大経大) 58"47
3位 堀川淳司(甲南大学) 58"73
予選落ち 加藤亮二(神戸大)1'00"32

■男子200mバタフライ

- 1位 山崎直樹(甲南大学) 2'05"35
2位 立入啓浩(京都大) 2'12"87
3位 柚山和樹(大経大) 2'13"86
8位 加藤亮二(神戸大学) 2'22"05

■男子200m個人メドレー

- 1位 南 勇貴(大阪大) 2'13"79
2位 栗林洋平(大経大) 2'14"16
3位 森脇照人(びわこ成蹊) 2'16"01
8位 段野光宏(神戸大学) 2'21"91

■男子400m個人メドレー

- 1位 前野遼二(甲南大学) 4'44"25
2位 矢野和仁(神戸学院大) 4'44"38
3位 鈴木達也(京都大) 4'47"05

- 7位 土方了輝(神戸大学) 4'58"80

■男子400mフリーリレー

- 1位 大阪経済大学 3'38"08
2位 大阪大学 3'41"02
3位 甲南大学 3'41"08
5位 神戸大学 3'44"67
(土方・楨尾・段野・中村)

■男子800mフリーリレー

- 1位 甲南大学 7'56"13
2位 大阪経済大学 7'56"34
3位 大阪大学 8'03"21
6位 神戸大学 8'12"62
(土方・楨尾・段野・中村)

■男子400mメドレーリレー

- 1位 大阪大学 4'00"38
2位 大阪経済大学 4'00"62
3位 甲南大学 4'02"24
8位 神戸大学 4'14"97
(吉田・段野・加藤亮・楨尾)



Illustrated by Shibai

【女子】

■女子50m自由形

- 1位 吉神 歩(天理大) 27"11
2位 山本裕紀子(天理大) 27"84
3位 佐藤真衣(天理大) 27"87
予選落ち 加藤 優(神戸大) 31"47
予選落ち 田染茉莉子(神戸大) 32"87

■女子100m自由形

- 1位 吉神 歩(天理大) 59"19
2位 高橋朱子(天理大) 1'00"12
3位 城下知香(びわこ成蹊) 1'01"14
7位 今村可奈(甲南女子大) 1'03"01
予選落ち 末森香織(神戸薬大) 1'10"55
予選落ち 田染茉莉子(神戸大) 1'15"94
予選落ち 澄川優美子(甲南女) 1'24"78
予選落ち 東 桃子(甲南女) 1'38"48

■女子200m自由形

- 1位 片山美穂(天理大) 2'09"32
2位 木本奈甫(天理大) 2'10"77
3位 山本真由香(びわこ成蹊大) 2'11"03
6位 今村可奈(甲南女子大) 2'15"87
予選落ち 末森香織(神戸薬大) 2'32"43

■女子400m自由形

- 1位 木下麻未(天理大) 4'35"07
2位 山本真由香(びわこ成蹊) 4'35"33
3位 藤井佐知(天理大) 4'37"31

■女子800m自由形

- 1位 鈴木 香(兵庫医療大) 9'25"41
2位 藤井佐知(天理大) 9'28"97
3位 木下麻未(天理大) 9'42"17

■女子100m背泳ぎ

- 1位 田畑知実(大阪大谷大) 1'06"02
2位 佐野 典(天理大) 1'08"01
3位 三村佳名(大阪大谷大) 1'08"54
予選落ち 藁谷理恵(甲南女) 1'25"20

■女子200m背泳ぎ

- 1位 田畑知実(大阪大谷大) 2'23"23
2位 中山真理子(桃山学院) 2'26"41
3位 佐野 典(天理大) 2'27"40

■女子100m平泳ぎ

- 1位 稲垣小夜子(天理大) 1'15"06
2位 角野麻衣(天理大) 1'16"07
3位 伊谷温子(天理大) 1'17"48

■女子200m平泳ぎ

- 1位 稲垣小夜子(天理大) 2'42"81
2位 角野麻衣(天理大) 2'42"86
3位 伊谷温子(天理大) 2'44"32

■女子100mバタフライ

- 1位 梅園由貴(びわこ成蹊) 1'05"22
2位 山本裕紀子(天理大) 1'05"28
3位 斉藤貴子(天理大) 1'05"38

■女子200mバタフライ

- 1位 斉藤貴子(天理大) 2'21"44
2位 梅園由貴(びわこ成蹊) 2'24"36
3位 片山めぐみ(京都工織) 2'31"70

■女子200m個人メドレー

- 1位 片山美穂(天理大) 2'25"39
2位 金子知恵子(天理大) 2'27"97
3位 木下千裕(天理大) 2'30"08

■女子400m個人メドレー

1位	金子知恵子(天理大)	5'09"85
2位	林 彩花(びわこ成蹊大)	5'18"52
3位	木下千裕(天理大)	5'25"47

■女子200mフリーリレー

1位	天理大学	1'47"73
2位	びわこ成蹊大学	1'53"35
3位	大阪大谷大学	1'57"54

■400mフリーリレー

1位	天理大学	3'59"95
2位	びわこ成蹊大学	4'07"69
3位	大阪大谷大学	4'17"04
23位	甲南女子大学 (藁谷・東・松尾・澄川)	5'43"82

■女子400mメドレーリレー

1位	天理学	4'24"31
2位	びわこ成蹊大学	4'40"68
3位	大阪大谷大学	4'44"18

原稿募集

『凌泳』誌は会員相互の連絡と親睦を図り、あわせて現役部員とOB・OGの連携を強化するための機関誌です。本誌をより楽しいものにするため、多数の方々のご投稿をお待ちしています。

- 人名や固有名詞は正確・明瞭にお書きください。会員名が登場する場合は、卒業年を明記ください。(昭52、平14 等)
- 写真も歓迎します。
- 原稿の締切は毎年2月末、発行は5月中旬です。
- ワープロの場合： 最大40字詰め×最大100行まで。写真はjpgデータで。

(送り先) メールに添付して下記アドレスまで

kawamoto_noriko@cosmopolis.co.jp

手書きの場合： 最大400字詰め原稿用紙5枚まで。写真は紙焼きで。

(送り先) 〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2

神戸大学体育会水泳部 凌泳編集幹事宛

以上(凌泳編集幹事)

全国国公立大学選手権水泳競技大会

2007年8月8日・9日・神戸市立ポートアイランドスポーツセンター

地元神戸で行われるということもあり、例年以上に意識が高いものとなった。大会の役員や補助などに追われ、十分に集中できる環境とはいえない中でもベストを出す選手も多く見られ、男子400m自由形と男子800mリレーで決勝に進出することができ、昨年決勝進出者0のリベンジを果たした。また、全員で戦うという意味を改めて実感したとともに多くの先輩方が応援にきて下さり、感謝の気持ちも強く持たされることとなった。

【男子】

■男子 50m自由形

1位 大坂謙介(筑波大学)	23"69
2位 三木 浩(福岡教育大)	23"75
3位 加藤寛樹(東京学芸大)	24"08

■男子 100m自由形

1位 及川直樹(筑波大学)	51"44
2位 三木 浩(福岡教育大学)	52"35
3位 大坂謙介(筑波大学)	52"70

■男子 200m自由形

1位 藤田真成(筑波大学)	1'54"35
2位 高橋正繁(新潟大学)	1'55"52
3位 松下ステファン悠(東北大)	1'56"33
予選落ち 中村友彦(神戸大)	2'01"05
予選落ち 土方了輝(神戸大)	2'02"73
予選落ち 槇尾 晋(神戸大)	2'04"18

■男子 400m自由形

1位 田嶋紘一郎(筑波大学)	4'03"99
2位 原 直毅(筑波大学)	4'06"64
3位 高橋正繁(新潟大学)	4'06"80
8位 中村友彦(神戸大学)	4'20"22
予選落ち 土方了輝(神戸大)	4'24"82

予選落ち 槇尾 晋(神戸大)4'25"64

■男子 100m背泳

1位 阿由葉寛(筑波大学)	57"56
2位 福山達也(筑波大学)	58"33
3位 植木拓斗(筑波大学)	58"83

■男子 200m背泳

1位 福山達也(筑波大学)	2'03"37
2位 染原健次郎(大教大)	2'04"49
3位 阿由葉 寛(筑波大学)	2'05"24

予選落ち 吉田 楽(神戸大)2'29"20

■男子 100m平泳

1位 岡崎晃一郎(筑波大学)	1'03"10
2位 二宮和憲(筑波大学)	1'03"66
3位 瀧下雄大(大阪大学)	1'03"98

予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)1'14"39

■男子 200m平泳

1位 佐藤佑樹(筑波大学)	2'15"25
2位 岡崎晃一郎(筑波大学)	2'21"33
3位 百瀬弘祐(大教大)	2'22"22

予選落ち 段野光宏(神戸大)2'31"86

予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)2'42"63

■男子 100mバタフライ

- 1位 加藤寛樹(東京学芸大) 54"31
2位 渡辺英士(筑波大学) 55"23
3位 福田 優(岡山大学) 55"91
予選落ち 加藤亮二(神戸大) 59"52

■男子 200mバタフライ

- 1位 入江晋平(筑波大学) 2'00"95
2位 渡辺英士(筑波大学) 2'02"70
3位 高橋尚生(埼玉大学) 2'05"02
予選落ち 加藤亮二(神戸大) 2'16"78

■男子 200m個人メドレー

- 1位 佐藤佑樹(筑波大学) 2'05"95
2位 森永友貴(筑波大学) 2'07"96
3位 杉山克幸(静岡大学) 2'09"18
予選落ち 吉田 楽(神戸大) 2'27"15

■男子 400m個人メドレー

- 1位 森永友貴(筑波大学) 4'33"45
2位 内海 陽介(筑波大学) 4'36"85
3位 福田 優(岡山大学) 4'41"50

■男子 400mリレー

- 1位 筑波大学 3'27"24 大会新
2位 岡山大学 3'37"21
3位 東京学芸大学 3'37"72
予選落ち 神戸大 4'08"66

(加藤・浦谷・田畑・小柳)

■男子 800mリレー

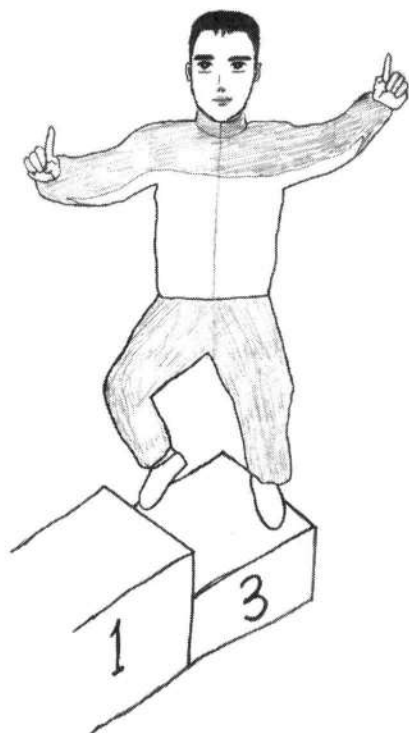
- 1位 筑波大学 7'34"04 大会新
2位 岡山大学 7'57"13
3位 新潟大学 7'59"82
予選落ち 神戸大 8'06"99

(土方・榎尾・段野・中村)

■男子 400mメドレーリレー

- 1位 筑波大学 3'47"76
2位 岡山大学 3'54"25
3位 大阪教育大学 3'55"68
予選落ち 神戸大 4'34"07

(浦谷・吉岡・芝井・飛田)



Illustrated by Shibai

【女子】

■女子 50m自由形

- 1位 水落夏海(筑波大学) 26"41
2位 植田富祐美(鹿屋体育大) 26"52
3位 湯本 杏(鹿屋体育大学) 26"58
予選落ち 加藤 優(神戸大) 31"04
予選落ち 田染茉莉子(神戸大) 33"05

■女子 100m自由形

- 1位 水落夏海(筑波大学) 57"14
2位 井上聖香(筑波大学) 58"21
3位 植田富祐美(鹿屋体育大) 58"31

■女子 200m自由形

- 1位 渡辺沙香(鹿屋体育大) 2'04"22
2位 若浪和希(鹿屋体育大) 2'04"65
3位 飯岡玉貴(鹿屋体育大) 2'07"01

■女子 400m自由形

- 1位 飯岡玉貴(鹿屋体育大) 4'22"72
2位 山崎真斗香(鹿屋体育大) 4'24"69
3位 古満彩乃(岡山大学) 4'27"09

■女子 100m背泳

- 1位 有田真紀(筑波大学) 1'03"94
2位 門脇沙緒莉(岡山大学) 1'06"65
3位 藤井 麻代(金沢大学) 1'06"85

■女子 200m背泳

- 1位 有田 真紀(筑波大) 2'17"45
2位 門脇沙緒莉(岡山大学) 2'22"89
3位 田中成美(鹿屋体育大) 2'23"06

■女子 100m平泳

- 1位 相原佳菜(筑波大学) 1'12"42
2位 菊池 葵(鹿屋体育大) 1'14"18
3位 加藤昌子(筑波大学) 1'15"87

■女子 200m平泳

- 1位 相原佳菜(筑波大学) 2'31"65
2位 加藤昌子(筑波大学) 2'34"63
3位 菊池 葵(鹿屋体育大) 2'34"96

■女子 100mバタフライ

- 1位 渡邊 梢(鹿屋体育大) 1'02"52
2位 櫻根一葉(岡山大学) 1'03"43
3位 山本さおり(筑波大学) 1'04"77

■女子 200mバタフライ

- 1位 上名主里美(鹿屋体育大) 2'16"15
2位 山本さおり(筑波大学) 2'19"05
3位 中山 唯(鹿屋体育大) 2'19"08

■女子 200m個人メドレー

- 1位 打越雅美(鹿屋体育大) 2'20"54
2位 山本雅子(鹿屋体育大) 2'20"71
3位 上野山祐季(筑波大学) 2'20"81

■女子 400m個人メドレー

- 1位 打越雅美(鹿屋体育大) 4'53"81
2位 上野山祐季(筑波大学) 4'55"86
3位 山本雅子(鹿屋体育大) 4'57"12

■女子 200mリレー

- 1位 鹿屋体育大学 1'46"41
2位 大阪教育大学 1'51"25
3位 岡山大学 1'52"49

■女子 400mリレー

- 1位 筑波大学 3'51"76
2位 鹿屋体育大学 3'53"80
3位 大阪教育大学 4'01"61

■女性 400mメドレーリレー

- 1位 筑波大学 4'15"82
2位 鹿屋体育大学 4'21"39
3位 岡山大学 4'30"66

西日本選手権水球競技大会
2007年8月11日～12日 京大プール

OBも参加できる本大会では昨年卒業した加藤先輩も参加。初戦の立命戦は、負けはしたものの、水球1年目の宮田が初得点を決めるという、春からの成長を感じさせる試合であった。開学戦では春リーグに続いて敗れることとなり、秋リーグでの勝利を誓った大会となった。

vs 立命館大学 B(8月11日)

	1	2	3	4	計	得点者	宮田1 司馬1
神大	0	1	1	0	2		
立命 B	3	2	4	2	11	退水	

vs 弦泳会(8月12日)

	1	2	3	4	計	得点者	畠山1 司馬1
神大	0	0	1	1	2		
弦泳会	2	1	1	1	5	退水	西澤1 司馬1

総合成績(全9チーム)

- 1位 Club Natacio Kyoto
- 2位 立命館大学 A
- 3位 大谷高校
- 4位 なみはやクラブ

MVP

山崎 剛(CNK)



Illustrated by Shibai

旧三商大戦

2007年8月14日・大阪市立大学プール

ピークかと思われる猛暑の中、今年も伝統の交流戦が行われた。気象庁のデータによれば、当日の最高気温は36.0℃。実はその後盆休みの頃にはさらに気温は上がり、38℃を越えるのだが、陽あたりのいい大阪市大プールは燃えていた。そんな中、平日にもかかわらず駆けつけてくださった先輩諸氏の応援にもかかわらず、すべてのカップを他校に奪取される悔しい結果となった。

【水球】

vs 一橋大学

	1	2	3	4	計	得点者	西澤4 嶋彦3 畠山9 司馬1 宮崎1
神大	5	2	2	9	18		
一橋	1	1	1	0	3	退水	

vs 大阪市立大学

	1	2	3	4	計	得点者	司馬1
神大	0	0	0	1	1		
市大	3	7	3	4	17	退水	

【競泳】

■女子200mメドレーリレー

3位 神戸大学 2'49"15

(藁谷・澄川・末森・松尾)

■男子400mメドレーリレー

3位 神戸大学 B 4'41"05

(芝井・飛田・槇尾・田畑)

5位 神戸大学 A 4'32"33

(土方・段野・加藤亮・中村)

■女子200m自由形

3位 末森 香織 2'37"60

4位 加藤 優 2'38"92

■男子400m自由形

2位 土方 了輝 4'35"27

3位 槇尾 晋 4'41"91

OPEN 中村 友彦 4'50"05

OPEN 加藤 亮二 5'16"34

■女子100m背泳

2位 藁谷 理恵 1'27"25

OPEN 飛田 陽祐 1'12"22

■男子200m背泳

4位 芝井 隆 2'43"60

OPEN 浦谷 正史 2'49"07

■女子100平泳ぎ

3位 澄川 優美子 1'57"70

4位 松尾 友美 1'58"38

■男子200m平泳ぎ

1位 段野 光宏 2'35"81

4位 吉岡 拓磨 2'46"70

OPEN 飛田 陽祐 3'04"33

■男子200mバタフライ

3位 加藤 亮二 2'26"12

4位 横尾 晋 2'34"52

■女子100m自由形

2位 加藤 優 1'11"54

5位 藁谷 理恵 1'16"01

OPEN 澄川優美子 1'27"76

OPEN 松尾 友美 1'33"36

OPEN 田畑 直紀 1'01"06

OPEN 浦谷 正史 1'04"33

■男子200m自由形

3位 土方 了輝 2'09"03

4位 中村 友彦 2'09"71

■男子200m個人メドレー

3位 段野 光宏 2'28"25

OPEN 吉岡 拓磨 2'39"67

OPEN 芝井 隆 2'43"54

OPEN 田畑 直紀 2'46"10

失格 末森 香織

■女子400リレー

3位 神戸大学 5'10"31

(加藤・藁谷・澄川・末森)

■男子800リレー

2位 神戸大学 A 8'43"10

(土方・飛田・段野・中村)

4位 神戸大学 B 9'09"79

(田畑・加藤亮・吉岡・横尾)

【順位】

●水球

1位 大阪市立大学 50点

2位 神戸大学 30点

3位 一橋大学 10点

●競泳男子

1位 一橋大学 110点

2位 神戸大学 68点

3位 大阪市立大学 39点

●競泳女子

1位 大阪市立大学 71点

2位 一橋大学 63点

3位 神戸大学 42点

■総合

優勝 一橋大学 183点

準優勝 大阪市立大学 160点

3位 神戸大学 140点

近畿地区国公立大学体育大会

2007年8月20日・21日・秋葉山公園和歌山県民水泳場

毎年近畿国立が4回生の引退レースとなっており、今年は和歌山で行われた。アップブールもなく、暑さの中でのレースであったが4回生全員が決勝に進出し笑顔で最後のレースを終えることができた。下級生はシーズン最後のレースで締めくりとなり、一年間の成果を出し切りシーズンを終えることとなった。来年は神戸で行われるためうちが主幹校として大会を運営するため、そういった面でも勉強となった。

【男子】

■男子50m自由形

1位 南 勇貴(大阪大学)	24"63
2位 金光良祐(京都大学)	24"68
3位 久留慎太郎(大外大)	25"14
予選落ち 飛田陽祐(神戸大)	27"22
予選落ち 田畑直紀(神戸大)	27"74

■男子100m自由形

1位 金光良祐(京都大学)	53"76
2位 瀧下雄大(大阪大学)	54"11
3位 久留慎太郎(大外大)	54"29
予選落ち 田畑直紀(神戸大)	1'00"25

■男子200m自由形

1位 瀧下雄大(大阪大学)	1'58"71
2位 鷺野豪介(京都大学)	2'06"46
3位 磯部雄一郎(大阪大学)	2'09"03

■男子400m自由形

1位 山本宗幸(大教大)	4'19"21
2位 高橋航大(大阪大学)	4'25"84
3位 東阪和馬(大阪大学)	4'25"87
4位 槇尾 晋(神戸大学)	4'30"40

■男子800m自由形

1位 山本宗幸(大教大)	9'04"84
2位 高橋航大(大阪大学)	9'14"82
3位 東阪和馬(大阪大学)	9'21"73

■男子200m背泳ぎ

1位 山崎陽平(大教大)	2'13"63
2位 長尾和明(大阪大学)	2'17"91
3位 浜中志郎(大阪大学)	2'18"29
8位 浦谷正史(神戸大学)	2'42"33

■男子100m背泳ぎ

1位 染原健次郎(大教大)	57"95
2位 長尾和明(大阪大学)	1'02"74
3位 浜中志郎(大阪大学)	1'04"98
7位 吉田 楽(神戸大学)	1'10"21
予選落ち 浦谷正史(神戸大)	1'16"84

■男子100m平泳ぎ

1位 坂本龍也(大教大)	1'07"19
2位 中山豪(大阪大学)	1'07"93
3位 大西弘祐(大教大)	1'08"44
8位 段野光宏(神戸大学)	1'10"34
予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)	1'15"13

■男子200m平泳ぎ

1位 百瀬弘祐(大教大)	2'25"89
2位 吉田鑑(京都大学)	2'27"42
3位 坂本龍也(大教大)	2'28"11
7位 段野光宏(神戸大学)	2'32"47
予選落ち 吉岡拓磨(神戸大)	2'43"35

■男子100mバタフライ

1位 山崎陽平(大教大)	57"88
2位 松井勇大(奈良教)	57"96
3位 加藤亮二(神戸大学)	59'64
5位 槇尾 晋(神戸大学)	1'01"08
予選落ち 芝井 隆(神戸大)	1'08"14

■男子200mバタフライ

1位 染原健次郎(大教大)	2'03"22
2位 松井勇大(奈良教)	2'12"61
3位 加藤亮二(神戸大学)	2'14"78
予選落ち 芝井 隆(神戸大)	2'39"49

■男子200m個人メドレー

1位 南 勇貴(大阪大学)	2'15"14
2位 ??尚樹(大教大)	2'18"90
3位 中村友彦(神戸大学)	2'21"01
8位 吉田楽(神戸大学)	2'26"50

■男子400m個人メドレー

1位 ??尚樹(大教大)	4'56"90
2位 立入啓浩(京都大学)	4'57"78
3位 金光啓祐(京都大学)	5'03"37

■男子200mリレー

1位 大阪教育大学	1'38"20
2位 大阪大学	1'39"09
3位 京都大学	1'41"45
6位 神戸大学	1'45"97

(飛田・段野・槇尾・田畑)

OPEN 神戸大学B	1'48"72
(芝井・吉岡・浦谷・加藤)	

■男子800mリレー

1位 大阪教育大学	8'04"46
2位 大阪大学	8'10"34
3位 京都大学	8'20"11
5位 神戸大学	8'50"61

(吉田・段野・飛田・田畑)

OPEN 神戸大学B	9'09"27
(吉岡・加藤・浦谷・芝井)	

■男子400mメドレーリレー

1位 大阪教育大学	3'58"28
2位 大阪大学	4'03"36
3位 京都大学	4'13"04
5位 神戸大学	4'22"30

(吉田・段野・加藤・槇尾)

OPEN 神戸大学B	4'40"67
(浦谷・吉岡・芝井・飛田)	

【女子】**■女子50m自由形**

1位 山内 紘(大阪大学)	28"38
2位 川西恵里香(大教大)	28"41
3位 浅田理恵(奈良女)	30"33
6位 加藤 優(神戸大学)	30"97
予選落ち 東 桃子(甲南女子)	39"79
OPEN 末森香織(神戸薬科大)	32"67

■女子100m自由形

1位 山内 紘(大阪大学)	1'02"47
---------------	---------

- 2位 園田玲子(大教大) 1'03"12
 3位 藤井奈津紀(京都大学) 1'08"79
 5位 加藤 優(神戸大学) 1'09"95
 7位 田染茉莉子(神戸大学) 1'13"72

■女子200m自由形

- 1位 吉原千晶(大教大) 2'09"15
 2位 木本知甫(大教大) 2'15"27
 3位 青木真衣(奈良女) 2'23"02
 予選落ち 田染茉莉子(神大) 2'42"78
 OPEN 末森香織(神戸薬大) 2'33"83

■女子400m自由形

- 1位 木本知甫(大教大) 4'34"88
 2位 吉原千晶(大教大) 4'37"95
 3位 大西裕貴(京教大) 4'56"52

■女子100m背泳ぎ

- 1位 上田千歳(大教大) 1'09"83
 2位 小林真弓(大教大) 1'11"93
 3位 岡 沙織(京都工繊大) 1'17"25
 OPEN 藁谷理恵(甲南女子) 1'25"02

■女子200m背泳ぎ

- 1位 上田千歳(大教大) 2'31"66
 2位 小林真弓(大教大) 2'36"32
 3位 岡 沙織(京都工繊大) 2'45"17

■女子100m平泳ぎ

- 1位 稲森あゆみ(大教大) 1'16"49
 2位 坂本佳奈(滋賀大) 1'22"59
 3位 清原温子(大外大) 1'24"31

■女子200m平泳ぎ

- 1位 坂本佳奈(滋賀大) 2'55"16
 2位 成見紗弥(大阪大学) 3'00"38
 3位 清原温子(大外大) 3'07"92

■女子100mバタフライ

- 1位 園田玲子(大教大) 1'06"39
 2位 片山めぐみ(京都工繊大) 1'09"61
 3位 松原由希(京教大) 1'13"24

■女子200mバタフライ

- 1位 川西英里香(大教大) 2'21"88
 2位 片山めぐみ(京都工繊大) 2'35"81
 3位 松原由季(京教大) 2'41"46

■女子200m個人メドレー

- 1位 稲森あゆみ(大教大) 2'27"22
 2位 大西裕貴(京教大) 2'40"11
 3位 脇本知夏(兵教大) 2'50"40

■女子200mリレー

- 1位 大阪教育大学 1'55"95
 2位 京都大学 2'02"57
 3位 大阪大学 2'02"59
 6位 神戸大学混成 2'09"00
 (加藤・藁谷・末森・田染)

■女子400mリレー

- 1位 大阪教育大学 4'11"18
 2位 京都大学 4'32"48
 3位 大阪大学 4'34"55
 8位 神戸大学混成 5'05"73
 (加藤・畠山・藁谷・田染)

■女子400mメドレーリレー

- 1位 大阪教育大学 4'44"03
 2位 大阪大学 5'15"52
 3位 京都大学 5'17"87
 9位 神戸大学混成 6'02"14
 (藁谷・田染・加藤・畠山)

関西学生水球秋季戦

2007年8月19日・25日・26日・9月1日・2日 大阪市立大学プール

当初から本大会に照準を合わせていた神大。夏の努力が報われることを信じて臨んだ。初戦の市大戦では、1, 2ピリオドを終わって2点ビハインドと逆転の可能性を残すも、それ以降、パスカットをするも得点に結びつく機会を多く作ることができず、初戦で勢いをつけることはできなかった。阪大戦では、1ピリオドと3ピリオドを0点に抑えられ、神大メンバーの多くが退水の笛を吹かれる苦しい試合であった。立命戦では大敗。気持ちを新たに臨んだ京大戦では、両者とも相手のミスからチャンスを生み出すも、活かしきることができずにいた。試合終了間際に同点とするも、相手のカウンターにより1点を奪われた。しかし、その直後、セットから宮崎がなんとかシュートをねじ込み、引き分けに持ち込んだ。最終戦となる関学戦では、出鼻をくじかれるも、その後、全員で攻め、着実に得点を積み重ねて、シーズン最後の試合を勝利で飾ることができた。しかし、インカレ出場はならず、秋リーグ、そして神大の'07シーズンは幕を閉じた。

皆の実力は着実に上がっており、個々の歯車がしっかりかみ合えば来シーズンはインカレに出場できるであろう。

vs 大阪市立大学(8月19日)

	1	2	3	4	計	得点者	畠山1 司馬3 宮崎3
神大	2	2	1	2	7		
市大	2	4	4	2	12	退水	宮田1 司馬1 宮崎2

vs 大阪大学(8月25日)

	1	2	3	4	計	得点者	畠山2 司馬3
神大	0	3	0	2	5		
阪大	3	4	4	3	14	退水	北野2 宮田1 西澤2 畠山2

vs 立命館大学(8月26日)

	1	2	3	4	計	得点者	畠山1 司馬2
神大	0	0	3	0	3		
立命館	7	6	5	11	29	退水	西澤2 畠山2

vs 京都大学(9月1日)

	1	2	3	4	計	得点者	宮田1 西澤2 畠山3 司馬1 宮崎1
神大	2	1	1	4	8		
京大	3	2	2	1	8		

vs 関西学院大学(9月2日)

	1	2	3	4	計	得点者	西澤3 嶋彦1 畠山1 司馬3 宮崎1
神大	0	4	3	2	9		
関学	2	0	0	3	5		

総合成績(全9チーム)

- 1位 立命館大学
- 2位 大阪市立大学
- 3位 大阪大学
- 4位 京都大学
- 5位 神戸大学
- 6位 関西学院大学



大阪市立大学神戸大学定期戦

2007年12月9日・薬業鳴尾浜スポーツセンター

今年は神大が幹事校の第88回大会であったが当初予定していた日程が台風で流れてしまったため、異例のこの時期の開催となった。

水球は4回生が引退し人数が足りていない状態であったため、関西学院大学プールでの合同練習・練習試合によって市大戦の代わりとした。

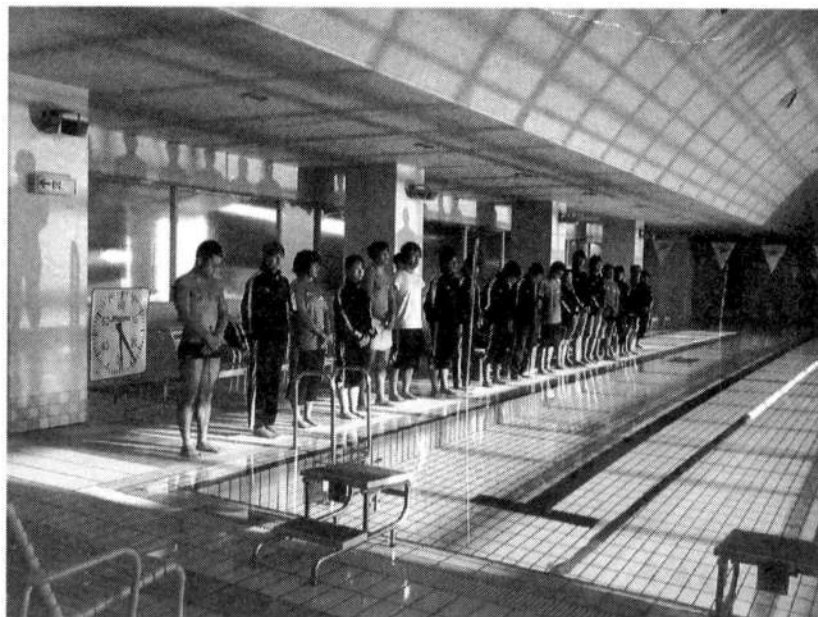


Photo プールサイドに整列した神大チーム(開会式時)

【競泳】※当校の成績のみ掲載しています

■200mメドレーリレー

2位 神戸大学 A 1'59"03

(吉田・段野・榎尾・飛田)

4位 神戸大学 B 2'11"58

(芝井・小柳・大川・加藤)

6位 神戸大学 C 2'46"84

(藁谷・東・澄川・末森)

■100m個人メドレー

2位 吉田 楽 1'07"22

3位 北野 達也 1'09"25

4位 大川 広己 1'10"59

■100m自由形

2位 飛田 陽祐 1'01"84

4位 末森 香織 1'09"93

6位 澄川 優美子 1'20"10

■100mバタフライ

1位 加藤 亮二	1'00"85
2位 榎尾 晋	1'01"27
6位 加藤 優	1'30"02

■100m背泳ぎ

1位 吉田 楽	1'06"70
4位 芝井 隆	1'10"27
5位 藁谷 理恵	1'21"04

■100m平泳ぎ

2位 段野 光宏	1'11"47
4位 小柳 徹	1'23"29
6位 東 桃子	2'07"91

■50m自由形

1位 北野 達也	27"28
4位 末森 香織	32"02
5位 加藤 優	32"28

■50mバタフライ

1位 加藤 亮二	27"43
----------	-------

3位 榎尾 晋	28"40
---------	-------

6位 澄川 優美子	42"21
-----------	-------

■50m背泳ぎ

1位 飛田 陽祐	32"03
3位 芝井 隆	33"01
5位 藁谷 理恵	37"79

■50m平泳ぎ

1位 段野 光宏	33"17
3位 小柳 徹	37"28
6位 東 桃子	58"39

■200mフリーリレー

2位 神戸大学 A	1'46"54
-----------	---------

(飛田・段野・吉田・榎尾)

3位 神戸大学 B	1'52"21
-----------	---------

(大川・芝井・小柳・加藤亮)

6位 神戸大学 C	2'15"17
-----------	---------

(末森・藁谷・澄川・加藤優)

【水球】

大阪市立大学 16-8 神戸大学

【総合成績】

競泳優勝 大阪市立大学 144点

神戸大学 141点

水球優勝 大阪市立大学

総合優勝 大阪市立大学

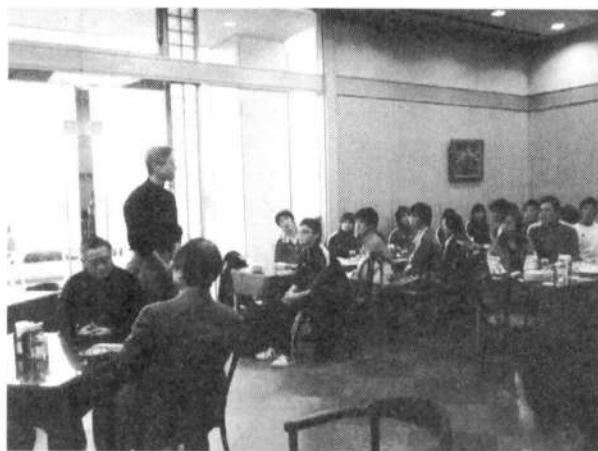


Photo 懇親会風景

歴代10傑

今号より、神戸商船大学と神戸大学の歴代10傑を統合いたしました。神戸商船大学歴代10傑は『凌泳』平成18年度号・平成19年度号に掲載されております。ご了承ください。

なお、統合に際しましては注意をはらっておりますが、間違い等のご指摘ございましたら、ご連絡ください。

【男子】 *印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです

50m自由形

1	濱出憲一郎	H10	25"21(L)
2	田中 宗親	H18	25"24(L)
3	横山 千泰	H14	25"43(L)
4	松田 有司	H14	25"77(L)
5	久保 達也	H12	26"06(L)
6	中畑 寛之	H 4	26"10(L)
6	竹田 匡志	H 6	26"10(L)
8	上田 章生	H17	26"17(L)
9	*鳥谷 賢一	H12	26"20(L)
10	宮岡 孝和	H16	26"27(L)

200m自由形

1	小斎一彰	H17	1'59"88(L)
2	中村友彦	H19	2'01"05(L)
3	宮岡孝和	H17	2'01"46(L)
4	土方了輝	H18	2'02"10(L)
5	松田有司	H15	2'03"56(L)
6	槇尾 晋	H19	2'04"18(L)
7	田中宗親	H18	2'04"78(L)
8	*松本照生	H 3	2'04"95(L)
9	横山千泰	H16	2'05"15(L)
10	濱出憲一郎	H10	2'05"34(L)

100m自由形

1	松田有司	H15	55"50(L)
2	濱出憲一郎	H10	55"59(L)
3	横山千泰	H16	56"35(L)
4	田中宗親	H18	56"37(L)
5	宮岡孝和	H17	56"38(L)
6	西田憲史	H10	56"67(L)
7	藤本真人	H11	56"81(L)
8	玉田浩介	H 9	57"05(L)
9	槇尾 晋	H19	57"06(L)
10	中村友彦	H18	57"07(L)

400m自由形

1	土方了輝	H19	4'19"14(L)
2	中村友彦	H19	4'20"22(L)
3	宮岡孝和	H17	4'22"40(L)
4	福岡達信	H 8	4'25"62(L)
5	槇尾 晋	H19	4'25"64(L)
6	*松本照生	H 3	4'26"18(L)
7	横山千泰	H16	4'28"36(L)
8	*田内俊英	H 5	4'30"06(L)
9	山田 篤	H 8	4'30"52(L)
10	高橋克哉	H13	4'32"50(L)

800m自由形

1	*田内俊英	H 4	9'20"65(L)
2	*伊藤浩史	H 3	9'28"10(L)
3	福岡達信	H 8	9'29"12(L)
4	宮岡孝和	H14	9'29"43(L)
5	*松本照生	H 1	9'30"01(L)
6	古谷拓裕	S63	9'36"80(L)
7	高橋克哉	H13	9'43"43(L)
8	山田 篤	H 7	9'44"40(L)
9	藤本博之	H 3	9'45"90(L)
10	久保田勝己	S57	9'49"00(L)

200m蝶泳

1	小斎一彰	H17	2'10"65(L)
2	加藤亮二	H19	2'14"78(L)
3	小南裕明	H 5	2'14"84(L)
4	*石塚秀一	H 6	2'15"19(L)
5	槇尾 晋	H19	2'16"71(L)
6	*串辺由宇	H16	2'17"72(L)
7	*田内俊英	H 4	2'21"40(L)
8	加藤有道	H 3	2'21"90(L)
9	西和田靖	H16	2'24"14(L)
10	當麻 尚正	H 2	2'24"20(L)

1500m自由形

1	土方了輝	H19	17'17"57(L)
2	宮岡孝和	H15	17'40"70(L)
3	福岡達信	H 9	17'49"01(L)
4	*田内俊英	H 4	17'50"10(L)
5	*伊藤浩史	H 3	18'03"20(L)
6	*松本照生	H 3	18'12"78(L)
7	中村友彦	H17	18'19"25(L)
8	古谷拓裕	S63	18'28"50(L)
9	藤本博之	H 4	18'34"00(L)
10	久保田勝己	S58	18'37"50(L)

100m背泳

1	西田憲史	H11	1'01"90(L)
2	*出口達也	H 5	1'03"78(L)
3	村上幸弘	H14	1'04"09(L)
4	*水野教良	H 6	1'04"38(L)
5	*格谷 隆	H 1	1'05"58(L)
6	生山 裕	H 9	1'05"78(L)
7	*長谷川堅一	H17	1'05"93(L)
8	小笠原朝隆	H 1	1'06"60(L)
9	松田有司	H15	1'07"24(L)
10	土方了輝	H18	1'07"30(L)

100m蝶泳

1	加藤亮二	H19	59"52(L)
2	*石塚秀一	H 7	1'00"75(L)
3	槇尾 晋	H19	1'01"08(L)
4	*串辺由宇	H16	1'01"12(L)
5	小南裕明	S63	1'01"40(L)
6	竹田匡志	H 6	1'01"99(L)
7	西和田靖	H16	1'02"18(L)
8	*斎藤勝彦	S58	1'02"72(L)
9	*伊藤浩史	H 3	1'02"74(L)
10	加藤有道	H 3	1'02"90(L)

200m背泳

1	西田憲史	H11	2'12"86(L)
2	*出口達也	H 5	2'19"36(L)
3	村上幸弘	H14	2'20"42(L)
4	*水野教良	H 6	2'20"65(L)
5	生山 裕	H10	2'23"08(L)
6	*格谷 隆	S63	2'24"28(L)
7	小笠原朝隆	S63	2'26"20(L)
8	*長谷川堅一	H16	2'26"71(L)
9	井上達彦	S63	2'26"80(L)
10	吉田 楽	H19	2'27"96(L)

100m平泳

1	*西村 尚	H 5	1'09"28(L)
2	藤尾幸平	H11	1'09"63(L)
3	段野光宏	H19	1'10"34(L)
4	後呂忠祥	S61	1'10"50(L)
5	柴田 孝	H 5	1'10"81(L)
6	西尾泰紀	H 4	1'12"60(L)
7	*鳥谷賢一	H12	1'12"80(L)
8	林 均	S62	1'12"90(L)
9	*記本貴寛	H 8	1'13"15(L)
10	吉岡拓磨	H18	1'13"67(L)

400m個人メドレー

1	小斎一彰	H 7	4'43"25(L)
2	土方了輝	H19	4'58"80(L)
3	中村友彦	H18	5'00"57(L)
4	宮岡孝和	H17	5'00"65(L)
5	*伊藤浩史	H 3	5'01"80(L)
6	*出口達也	H 5	5'04"55(L)
7	東 圭紀	S63	5'06"10(L)
8	横山千泰	H15	5'11"49(L)
9	*石塚秀一	H 5	5'12"61(L)
10	*松本照生	H 3	5'13"20(L)

200m平泳

1	藤尾幸平	H11	2'30"37(L)
2	段野光宏	H19	2'31"86(L)
3	*西村 尚	H 5	2'33"03(L)
4	柴田 孝	H 5	2'36"56(L)
5	後呂忠祥	S60	2'37"90(L)
6	*記本貴寛	H 6	2'37"91(L)
7	長崎真人	S58	2'40"50(L)
8	笠田幸介	H 2	2'41"80(L)
9	*鳥谷賢一	H12	2'42"36(L)
10	西尾泰紀	H 3	2'42"60(L)

400mメドレーリレー

1	西田・藤尾 山田・濱出	H10	4'10"69(L)
2	西田・藤尾 生山・藤本	H11	4'12"10(L)
3	西田・藤尾 生山・津田	H10	4'13"83(L)
3	長谷川・小斎 加藤・宮岡	H17	4'13"83(L)
5	西田・藤尾 田中・藤本	H11	4'14"26(L)
5	*出口・西村 石塚・伊藤	H 4	4'14"26(L)

200m個人メドレー

1	小斎一彰	H17	2'12"78(L)
2	宮岡孝和	H17	2'19"19(L)
3	東 圭紀	H 2	2'20"40(L)
4	*伊藤浩史	H 4	2'20"42(L)
5	田中宗親	H18	2'20"60(L)
6	段野光宏	H19	2'21"91(L)
7	*桶矢康太	H12	2'22"58(L)
8	*格谷 隆	S62	2'22"90(L)
9	*鳥谷賢一	H12	2'23"83(L)
10	木村一也	H 2	2'24"01(L)

400mリレー

1	松田・宮岡 小斎・横山	H15	3'42"20(L)
2	土方・榎尾 段野・中村	H19	3'44"67(L)
3	宮岡・中村 土方・小斎	H17	3'45"27(L)
4	中村・土方 榎尾・加藤	H18	3'46"13(L)
5	宮岡・小斎 横山・田中	H16	3'46"17(L)

800mリレー

1	小齋・宮岡 土方・中村	H17	8'06"43(L)
2	土方・横尾 段野・中村	H19	8'06"99(L)
3	小齋・宮岡 松田・横山	H15	8'14"65(L)
4	小齋・宮岡 横山・中村	H16	8'15"55(L)
5	土方・田中 横尾・中村	H18	8'15"76(L)

【女子】 *印は神戸商船大学歴代10傑からのランクインです

50m自由形

1	田中理恵	H 8	28"54(L)
2	砂留沙希子	H17	28"65(L)
3	多田羅美帆	H11	29"76(L)
4	河原あや	H16	29"89(L)
5	田中桂子	H13	30"21(L)

400m自由形

1	田中理恵	H10	4'57"16(L)
2	多田羅美帆	H10	5'00"01(L)
3	中山美穂香	H12	5'05"54(L)
4	河原あや	H16	5'07"46(L)
5	村山依子	H 9	5'07"96(L)

100m自由形

1	砂留沙季子	H18	1'01"69(L)
2	田中理恵	H 8	1'02"18(L)
3	多田羅美帆	H11	1'05"14(L)
4	河原あや	H16	1'05"24(L)
5	寺井美穂子	H 3	1'06"78(L)

100m蝶泳

1	寺井美穂子	H 4	1'08"02(L)
2	砂留沙季子	H17	1'08"03(L)
3	村山依子	H 8	1'09"69(L)
4	坂東美枝	S57	1'14"30(L)
5	横野恵里香	H14	1'16"71(L)

200m自由形

1	田中理恵	H10	2'16"82(L)
2	多田羅美帆	H10	2'21"06(L)
3	河原あや	H15	2'23"42(L)
4	川上景子	S62	2'26"40(L)
5	田中桂子	H14	2'29"27(L)

200m蝶泳

1	村山依子	H 8	2'30"67(L)
2	寺井美穂子	H 3	2'33"05(L)
3	坂東美枝	S57	2'44"77(L)
4	横野恵里香	H14	2'57"86(L)
5	川上景子	S60	3'00"70(L)

100m背泳

1	田中理恵	H10	1'12"68(L)
2	西川弥穂	H15	1'16"45(L)
3	村上美和	S61	1'16"80(L)
4	田中桂子	H14	1'17"44(L)
5	中山美穂香	H12	1'18"20(L)

200m背泳

1	田中理恵	H10	2'35"51(L)
2	中山美穂	H12	2'43"11(L)
3	村上美和	S63	2'48"40(L)
4	西川弥穂	H15	2'48"63(L)
5	寺井美穂子	H 6	2'49"19(L)

100m平泳

1	山本奈穂	H 8	1'21"19(L)
2	番場順子	H 8	1'26"70(L)
3	*横野由佳	H15	1'27"02(L)
4	清水めぐみ	H13	1'27"45(L)
5	宮下静子	S63	1'27"57(L)

200m平泳

1	山本奈穂	H 9	2'59"59(L)
2	清水めぐみ	H 3	3'01"97(L)
3	番場順子	H 8	3'02"17(L)
4	*原田真帆	H13	3'07"03(L)
5	西田野生子	H10	3'08"35(L)

200m個人メドレー

1	田中理恵	H10	2'34"05(L)
2	加島宏子	H 8	2'41"03(L)
3	寺井美穂子	H 3	2'43"40(L)
4	川上景子	S60	2'45"50(L)
5	番場順子	H 7	2'48"02(L)

400m個人メドレー

1	田中理恵	H11	5'32"51(L)
2	加島宏子	H 7	5'48"97(L)
3	川上景子	S62	5'53"00(L)
4	寺井美穂子	H 6	5'54"07(L)
5	番場順子	H 7	5'55"99(L)

400mメドレーリレー

1	田中・山本 村山・多田羅	H 8	4'51"27(L)
2	田中・清水 村山・多田羅	H11	4'56"04(L)
3	加島・山本 村山・田中	H 8	4'59"63(L)
4	加島・山本 田中・多田羅	H 9	5'04"15(L)
5	吉川・番場 寺井・小笠原	H 5	5'08"80(L)

200mリレー

1	田中・多田羅 山本・村山	H10	1'59"92(L)
2	田中・多田羅 山本・加島	H 9	2'00"63(L)
3	田中・多田羅 加島・村山	H 8	2'01"04(L)
4	多田羅・田中 清水・村山	H11	2'01"87(L)
5	田中・清水 河原・横野	H13	2'03"03(L)

400mリレー

1	多田羅・山本 加島・田中	H 9	4'23"03(L)
2	多田羅・村山 加島・田中	H 9	4'23"23(L)
3	多田羅・山本 村山・田中	H10	4'23"42(L)
4	多田羅・村山 清水・田中	H11	4'27"55(L)
5	河原・清水 田中・横野	H13	4'32"84(L)

水球歴代戦績

競泳に十傑があるなら水球にも十傑に相当するものがあるべきとのご意見がありました。しかし、水球はチーム競技であることから、主要な歴代戦績を記録として掲載することにしました。

- (注) ・ここに掲載するものは、『凌泳』の記載をもとに、昭和63年度以降を抜粋したものです。
- ・得点王は、春・秋リーグ戦及び日本学生選手権の試合を対象としています。
 - ・この掲載方法について異議のある方、集計上の間違いにお気づきの方は編集委員までご連絡ください。

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生 水球リーグ Jr 戦	日本学生 選手権	チーム得点王
昭和63年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 専修大)	林 均 20点
平成元年度	5位	4位	—	西島 淳一 21点
平成 2年度	2位	2位	初戦敗退 (vs 明治大)	木村 一也 44点
平成 3年度	2位	優勝	初戦敗退 (vs 日体大)	木村 一也 54点
平成 4年度	不明	不明	不明	不明
平成 5年度	優勝	5位	初戦敗退 (vs 中央大)	木村 一也 43点

	関西学生水球 リーグ戦	関西学生水球 秋季戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 6年度	1部6位	8位	—	大場 理世 13点
平成 7年度	2部優勝	6位	—	井村 大智 33点
平成 8年度	2部優勝	2回戦敗退	—	塚本 善隆 59点

	関西学生水球 春季リーグ戦	関西学生水球 秋季リーグ戦	日本学生 選手権	チーム得点王
平成 9年度	3位	3位	ベスト16 (vs 鹿児島 経済大 vs 慶応大)	塚本 善隆 58点
平成10年度	3位	2位	初戦敗退 (vs 中央大)	塚本 善隆 37点
平成11年度	1部2位	1部2位	初戦敗退 (vs 早稲田)	塚本 善隆 37点
平成12年度	1部5位	2部優勝	—	中島 太平 36点
平成13年度	4位	5位	—	中井 秀昭 28点
平成14年度	5位	7位	—	中井 秀昭 43点
平成15年度	2部優勝	6位	—	篠原 康彦 40点
平成16年度	不明	4位	—	井口 靖之 29点
平成17年度	3位	3位	初戦敗退 (vs 成蹊大)	井口 靖之 31点
平成18年度	2位	2位	ベスト16 (vs 大阪大学 vs 立命館)	井口 靖之 39点
平成19年度	5位	5位	—	畠山 秀一 17点

平成19年度凌泳総会ならびに懇親会

日時 平成19年度5月12日(土)

場所 滝川記念館

出席者(敬称略)

柳田泰義(部長)、佐藤一夫(昭30)、田淵五郎(昭30)、岡村 司(昭34)、北村 敏(昭34)、野田浩志(昭36)、岡田重義(昭37)、萩原 武(昭37)、平岡昭朗(昭38)、得丸哲士(昭46)、長谷川健(昭49)、細谷明夫(昭51)、佐敷定雄(昭49)、川本典子(昭51)、松井玲子(昭53)、金 一波(昭58)、甲野 賢(平 1)、羽瀬智文(平 2)、家門秀行(平 5)、諫山大介(平 9)、西田憲史(平12)、米田晃士(平17)、以上22名 ・・は懇親会出席
松田司朗(昭30)夫妻、田中宗親(平19)は懇親会のみ出席。

委任状出席 名

■総会の部

冒頭に凌泳会の発展に尽くされた物故会員に出席者全員で黙祷を捧げ、ご冥福を祈り議題の審議に移った。

昨年度ご逝去された会員は次のとおりです。

井川 俊夫 氏(昭20)、稲垣 信夫 氏(昭20)

<野田会長挨拶>

今年は15名の新入生が入部し大変心強く思う。また、凌泳会という組織で共に活動できることを嬉しく思う。昨年は現役が本当によく頑張ってくれた。競泳・水球共に目標を達成、特に水球での表彰が喜ばしい。会長として一年が経ち、何ができたかはまだわからないが、凌泳会を活性化するためのアンケートを川本さんのイニシアティブにより実施、会員の思いを受けて何を行えるか検討してきた。今できること、将来にわたることに仕分けして取り組みたい。また今年の予定は議案に組み込んであるので十分な審議をお願いしたい。凌泳会の歴史はもう100年近くなり、そのなかでも特に会員の約半数を占めている平成卒の年代に期待している。本来の会員との親睦を深めつつ現役の支援のため、応援・金銭面での協力を会としては行っていきたい。今年も現役の活躍を祈っている。

<柳田部長挨拶>

いつも学生のために配慮していただき有難く思っている。OBからのバックアップを感謝し現役はますます頑張ってもらいたい。近年、スポーツ活動における「教育」ということを再認識するようになってきている。単に勉強だけでなく、地道な中にも絆を持ってほしい。今自分が何をしているかをよく考え行動してもらいたい。OBの方々との交流を深め、それをきっかけとしてこれからも頑張ってもらいたい。

<昨年度経過報告>

長谷川幹事長より報告。

- ・水球のインカレ出場とそれに際しての資金援助へのお礼。
- ・水球の課外活動団体としての学校より表彰。
- ・凌泳会活性化のためのアンケート実施とこれに関しての会長はじめ幹部へのお礼。引き続き協力をお願い。

<1号議案>平成18年度決算報告および会計監査報告

まず、佐藤監事より会計監査報告がなされ、適正に会計処理がなされているとの報告があった。

諫山会計幹事より18年度の決算報告並びに19年度予算案の説明がなされた(別紙参照)。会費の納入率の低落傾向は変わっていないが、今年度はOB訪問を強化し、前年と同じく170万の収入を見込んでいる。

長谷川幹事長より凌泳誌について補足説明、今年度は名簿発行がないこと、印刷業者への発注方法の変更等で発行費用が大巾に圧縮可能となる。一方名簿発行については準備金を積み立てるとの説明あり。

岡村氏より、誤記載により払い込みを中止する方もいるので、会費納入の明細の計上には十分な注意が必要との指摘あり。

金監督より、自動振替制度未参加OBに再度参加を依頼すること、また新卒業生に手続きをさせてから卒部してもらうのどうかとの意見が出た。

野田会長より、19年度も前年と同額予算で達成には相当な努力が必要となるの。一つ一つ課題を潰して協力を得られるようにし、予算額を上回る会費収入を実現できればその部分は水泳部援助に回すこととする。

承認

<2号議案>会則改正案

野田会長より、会の活動の多様化への対応のため、特別顧問創設の提案があった。また会則27条に「春季総会」とあるのを改め「総会」とすることが提案された。

承認

<3号議案>人事

下記の提案がなされた。

●西田元副学長を特別会員に推薦の件

会則第8条2項の規定に基づき西田修身氏(元神戸大学副学長)を特別会員として本会にお迎えするものです

●関西支部の廃止の件

関西支部を廃止し、支部幹事は退任とします

●役員の改選の件(新任及び担当変更のみ)

西田 修身氏(特別会員) 特別顧問就任

得丸 哲士氏(昭46農) 副会長就任

萩原 武氏(昭37工) 副会長退任 幹事就任、

北村 敏氏(昭34経) コミュニケーション担当退任 幹事は従来どおり

川本 典子氏(昭51工) 幹事就任 凌泳編集担当を委嘱

吉田不二彦氏(昭60営) 凌泳編集担当退任 幹事は従来どおり

西村 尚氏(平6商船大) 幹事就任

運営委員 平成卒の各学年の幹部経験者(各学年一名)に委嘱します

別紙記載の皆様をお願いします

現委員は本部幹事と重複するため退任とします

(詳細は凌泳誌並びに別紙記載のとおり)

承認

<4号議案>アンケート結果をふまえた具体策の実施

まず川本 典子氏より同氏の提案により行われたアンケートの結果報告が行われた(内容は凌泳誌12頁より記載)。その結果をふまえ長谷川幹事長より下記の提案がなされた。

●凌泳誌の内容刷新

本年度の凌泳誌より実施済です。更に刷新をおこなっていきます。

●名簿の充実

新編成の運営委員により、名簿の充実をはかります

●当番世代制の採用

別紙記載のように会員を世代毎にグループ化し、グループの世話役により行事(試合)への参画を促進することで本会の活性化をはかろうとするものです

本年度は試行期間とし、関西地区よりスタートさせたい

いずれも、会長他幹部にてまず何が出来るかとの観点で検討されたもので、今回の提案にはなかったが、東京で全国大会を開催してはとの案もあがったとの報告もなされた。

承認

<その他自由議題>

○8耐について、主将・大川広己より内容説明。

4人のメンバーで8時間で泳ぐ距離を競うとのこと。

○月見の宴に関して、毎年敬老の日を基準に開催しているが、ポロ・インカレの前となり、今年より時期についても検討してはどうかとの意見。10月上旬にて検討を行うこととなった。

○新会員の勤務先について空欄が多く、名簿の充実をお願いしたいとの発言があった。新運営委員を中心に進めていきたい。

○今年の市大戦・旧三商大戦の日程について

市大戦:7月14日(土) 場所 神戸大学六甲台プール

三商戦:8月14日(火) 場所 大阪市立大学プール

に予定されていますので多数の会員方々の応援、また市大戦に関しましては幹事校であり大会運営のご協力もお願いします。

■懇親会の部

会場を1階に移し本年度から立食パーティー方式で行われた。

新入部員の自己紹介、本年度新幹部の決意表明などで大いに盛り上がり、最後に全員で「商神」を高らかに斉唱し散会した。

以上

平成18年度 凌泳会決算報告書

平成18. 4. 1～平成19. 3. 31

<収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	実績額	備考
会費	1,350,000 (170名)	1,156,000 (149名)	新入会員13名 会費免除者11名 会費納入対象者 349名
寄付金	350,000	331,000	47名
ポロ・インカレ寄付金		176,000	
小計	1,700,000	1,663,000	
雑収入	10	221	郵便局、銀行預金利息
全国大会剰余金	135,294	135,294	
		25,975	全国大会記念品(ペースクロック)代のおつり
前年度繰越金	692,636	692,636	
合計	2,527,940	2,517,126	

【参照】会員総数496名(会費免除者96、夫婦会員15、準会員55)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	750,000	587,996	総会補助(3万5千円)、案内集書代等(4万円) 「凌泳」印刷(43万円)、発送代(8万円)
月見の宴	50,000	40,000	月見の宴案内状発送
会費督促	30,000	14,880	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	7,000	6,670	支払い手数料、振込用紙代
銀行振替手数料負担	70,000	68,775	内年会費5万円、登録費、管理費
会員アンケート		7,315	用紙代、発送代
水泳部援助	900,000	900,000	4、6、8月に分けて出金(収入に占める割合約60%)
		30,000	石井先輩より市大戦の弁当代等援助
		176,000	ポロ・インカレ寄付金
全国大会積立	20,000	20,000	H18年度より再スタート(累計2万円)
その他、事務連絡、雑費	15,000	13,040	振込手数料、事務連絡通信費等
予備費	685,940	652,450	
合計	2,527,940	2,517,126	

※監査役による会計監査済みの印

平成19年4月14日

凌泳会監査役 佐藤 一夫 ㊞

平成19年度 凌泳会予算案

平成19. 4. 1～平成20. 3. 31

<収入の部>

(単位:円)

科目	予算額	対前年	備考
会費	1,350,000 (170名)	194,000	新入会員14名、会費免除者7名増 会費納入対象者356名
寄付金	350,000	19,000	
小計	1,700,000	213,000	
雑収入	100	-121	郵便局、銀行預金利息
前年度繰越金	652,450	-40,186	
合計	2,352,550	172,693	

【参照】会員総数510名(会費免除者103、夫婦会員15、準会員55)

<支出の部>

総会、凌泳誌作成発送	400,000	-187,996	総会補助、「凌泳」印刷、発送
月見の宴	50,000	10,000	月見の宴案内状発送
会費督促	30,000	15,120	督促状作成、発送
郵便振込手数料負担	7,000	330	支払い手数料
銀行振替手数料負担	70,000	1,225	内年会費5万円、登録費、管理費
水泳部援助	900,000	0	4、6月に分けて出金、OB訪問交通費補助
全国大会積立	20,000	0	H18年度より再スタート(累計4万円)
名簿発行準備積立	100,000		
その他、事務連絡、雑費	15,000	1,960	振込手数料、慶弔、事務連絡通信費等
予備費	760,550	108,100	
合計	2,352,550	-51,261	

2006 年度 神戸大学体育会水泳部決算報告書

(H. 18.4.1~H. 19.3.31)

<収入の部>

(単位:円)

科目	内訳	予算額	小計	備考
前年度繰越金		36,909	36,909	
現役部員負担	部費現役負担分	219,000	213,000	部費(選手6,000円/年マネ3,000円/年)
学校助成金	全国公遠征費(合計)	1,800,000	997,991	会場:広島 一人単価円39,919円
	合宿費(合計)	800,000	796,500	参加者:16名 一人単価49,781円
	育友会助成金	120,000	120,000	
	海事科学部体育会補助金		7,000	
	体育会費還元		15,000	
競泳会	スポーツ保険助成金	18,000		
	水泳部援助金	950,000	900,000	
	寄付(三商費補助)		30,000	石井義章氏より
	月見懇親会補助金	20,000	40,000	
みずむし会	水球インカレ補助金		176,000	
	水泳部援助金		50,000	
年間利子			18	
収入合計		3,963,909	3,382,418	

<支出の部>

科目	内訳	予算額	小計	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	132,000	124,000	日本水泳連盟選手登録費
	競泳エントリー代	600,000	375,600	出場試合↓ 春季短水路、大阪学生、夏季公認記録会 兵庫学生、石川学生、関西国公立、近畿地区国立 全国国公立、関西学生、関西選手権
	日本学生補助費	45000		
	水球エントリー代	250,000	166,000	出場試合↓ 関西選手権、オープンリーグ 春リーグ、秋リーグ 西日本選手権、インカレなど
	水球インカレ遠征費		176,000	
合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	800,000	997,991	
体育会費	合宿費	90,000	54,000	
	スポーツ保険費	12,000		
燃料費	風呂用灯油	3,000	5,847	
通信費	葉書代	50,000	49,923	
	郵送費		23,120	
会合費	OB関係行事	30,000	14,500	競泳総会・月見の宴・初泳ぎ 懇親会
	対抗戦	30,000	55,738	
	六甲祭費		29,700	
広告費	広告掲載費	50,000	20,000	
交通費		25,000	7,800	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	40,000	-	
	水球用備品	50,000	-	
	プログラム購入費	15,000	20,900	
	Tシャツ制作費		7,400	
雑費		60,000	13,164	
次年度繰越金		31,909	444,235	
支出合計		3,963,909	3,382,418	

2007 年度 神戸大学体育会水泳部予算案

(H. 19.4.1～H. 20.3.31)

＜収入の部＞

(単位:円)

科目	内訳	予算額	対前年比	備考
前年度繰越金		444,235	407,326	
現役部員負担	部費現役負担分	171,000	-42,000	部費(選手6,000円/年 マネ3,000円/年)
	合宿費(合計)	800,000	3,500	
学校助成金	育友会助成金	120,000	-	
凌泳会	凌泳会援助金	900,000	-50,000	
	月見懇親会補助金	50,000	10,000	
年間利子			-	
収入合計		2,485,235	328,826	

＜支出の部＞

科目	内訳	小計	対前年比	備考
試合出場関係費	水泳連盟登録費	120,000	-4,000	日本水泳連盟選手登録費
	競泳エントリー代	400,000	-24,400	出場予定試合↓ 春季短水路、大阪学生、夏季公認記録会 兵庫学生、石川学生、関西国公立、近畿地区国立 全国国公立、関西学生、春季室内選手権
	水球エントリー代	250,000	-	出場予定試合↓ 関西選手権、オープンリーグ 春リーグ、秋リーグ、なみはやカップ 西日本選手権、インカレなど
合宿費(合計)	宿泊費・交通費 他	800,000	-3,500	
体育会費		60,000	-6,000	
燃料費	風呂用灯油	5,000	-847	
通信費	葉書代	80,000	-23,043	初泳ぎ案内
会合費	OB関係行事	30,000	15,500	凌泳総会・月見の宴・初泳ぎ 懇親会
	対抗戦	30,000	25,738	
	六甲祭費	30,000	300	
広告費	広告掲載費	20,000	-	
交通費		25,000	17,200	大会等への交通費は各自別途支出
備品購入費	競泳用備品	40,000	40,000	
	水球用備品	50,000	50,000	
	プログラム購入費	20,000	-900	
雑費		50,000	-30,000	
次年度繰越金		475,235	31,000	
支出合計		2,485,235	87,048	

編集後記

北野 達也・発達3回生・主将・Polo

この編集後記を書いている今、新勸もいよいよラストスパート、そして練習もシーズンの幕開け間近で練習にも気合いが入ってきているという時期であります。

今回から水球競泳のそれぞれから凌泳委員が出て少し負担が軽くなっていますが、シーズンの記録や写真の管理等課題が多く見つかった年ともいえます。今号が無事に出来上がりましたのも、ご協力を戴き、同時にご迷惑をお掛けしたOBさん方のお陰であり、ここで厚く御礼申し上げます。

飛田 陽祐・工3回生・主務・Fr

これから夏が始まるので、そろそろ本番という感じがしてきました。皆いい結果を残せるよう努力しております。編集などいろいろとご迷惑をおかけしましたが、皆様のおかげで完成できてとても感謝しております。これからも水泳部の応援よろしくお願いたします。

芝井 隆・農4回生・前主務・Bk



今号のイラストレーター

川本 典子・昭51

私が『凌泳』編集の手伝いを始めて2年目。今年は現役編集委員を競泳・ポロから各1名、計2名にしてもらった。今年幹部となる3回生(昔は3年生と言っていた!)は4名しかいないので、彼ら一人ひとりの負担は重く、さぞかし大変だったろうと思う。彼らの苦勞が実り、現役の生き活きとした写真が満載で、ちょっと楽しかったと思う。私も1年目は手探りであったが、今年は少し余裕が出た。2年間やってみて、ちょっと縛りすぎたかと思う。来年は現役主導でやってもらおうつもりだ。

出筆くださいました皆々様、ワープロ入力を手伝ってくださった皆さん、原稿依頼等をお手伝いいただきました皆さんに御礼申し上げます。

平成20年5月24日発行

発行所 神戸市灘区六甲台町2
凌泳会
神戸大学体育会水泳部

原稿等送付先 〒657-0013 神戸市灘区六甲台町2
神戸大学体育会水泳部 宛

会費等振込先 郵便振替 口座番号 01110の5の11841
加入者名 神戸大学凌泳会
銀行振込 三井住友銀行 三宮南支店(店番 522)
普通預金 口座番号 952461
口座名 神戸大学凌泳会

編集責任者 川本 典子・北野 達也・飛田 陽祐
発行責任者 北野 達也・飛田 陽祐
印刷所 神戸市灘区新在家南町3丁目8-6
有限会社 高木商事
TEL 078-881-5391